

平成十一年三月 第七集

# 大阪商業大学比較地域研究所資料目録



## 凡 例

- 一 本目録は「大阪商業大学比較地域研究所資料目録」第七集として河内国讃良郡岡山村高橋家文書・河内国讃良郡岡山村山口家文書・河内国讃良郡岡山村高橋家・山口家文書・河内国讃良郡中野村上郷上村家文書・河内国志紀郡柏原村小山家文書・摂津国豊島郡野畑村城戸家文書を収めた。
- 一 史料は内容・性格に応じて大・中・小項目に分類し、小項目ごとに概ね年代順に配列した。年代未詳については、年代が明白な史料群のあとに配列した。
- 一 目録の記載欄は原則として、(一) 表題、(二) 作成者または差出人、(三) 宛名、(四) 作成年月日、(五) 数量、(六) 番号の順とした。
- 一 表題は原題のある分についてはこれを探り、原題のない分あるいは一札・覚等のように内容のわかりにくい分には適宜仮名し「」を付した。なお、変体・異体・略字などはなるべく常用漢字に改めた。
- 一 作成者または差出人および宛名が二名以上の場合は、二名の他何名と記入した。
- 一 作成者・差出人・宛名を推定した時には「」を付した。
- 一 宛名には「宛」を末尾に表示した。
- 一 作成年代は年月日・干支(干支については特別な場合を除き省略した)から適当に採用した。また推定年代には「」を付した。
- 一 表題などでの誤字や断定できない場合等は筆写要領に従った。
- 一 巻末に解題をつけた。

# 目次

凡例

〔河内国讃良郡岡山村高橋家文書目録〕

分類項目表

.....一

目録

.....三

〔河内国讃良郡岡山村山口家文書目録〕

分類項目表

.....五二

目録

.....五三

〔河内国讃良郡岡山村高橋家・山口家文書目録〕

分類項目表

.....五三

目録

.....五五

〔河内国讃良郡中野村上郷上村家文書目録〕

分類項目表

.....五五

目 録	七
-----	---

〔河内国志紀郡柏原村小山家文書目録〕

分類項目表	一〇三
-------	-----

目 録	一〇四
-----	-----

〔摂津国豊島郡野畑村城戸家文書目録〕

分類項目表	一一
-------	----

目 録	一一三
-----	-----

解 題	一二五
-----	-----

写 真	一二九
-----	-----



河内国讃良郡岡山村高橋家文書目錄





# 分類項目表

## A 支配

- 1 支配 ..... 三
- 御触、上申書、御願書、戸数人数名簿、届書、その他 ..... 三
- 2 訴訟、乍恐口上、口上、済口銀受取、乍恐返答、任状、嘆願、申聞、引合、奉納願、利銀切御改、召捕、博奕 ..... 四
- 3 五人組、送り状、暇状、引取一札、乳母奉公人、御褒美御下ヶ渡、人別台帳 ..... 五

## B 宗教

- 4 宗教 ..... 六
- 宗門帳、宗門御改帳、家数人別牛馬員数帳、法花宗門御改帳 ..... 六
- 5 寺社 ..... 七
- 寺社名、景象図、梵鐘、布施齋米、寄付類、書簡、普請、その他 ..... 七

## C 交通

- 6 交通 ..... 九
- 歩き賃、飛脚賃、上乗并飛脚賃、上乗賃、その他 ..... 九

## D 農業

- 7 田畑 ..... 二〇
- 小前、小前帳、宛米、下作米納、小作請取、小作証書、寄米、給米帳、米、反別取調帳、名寄帳、目録、田畑、夫食、肥料、菜種、木綿 ..... 二〇
- 8 山林 ..... 元
- 山林 ..... 元
- 9 年貢 ..... 元
- 年貢米上納、年貢米不足、御年貢銀、年貢皆済、年貢割賦帳、延納米不足、延納代金済、納米掛り勘定、納割受取、納米入用、三分一掛、免割、検見 ..... 元
- 10 御蔵 ..... 二
- 二條、難波 ..... 二
- 11 廻米 ..... 三
- 廻米、廻米請取、廻米入用銀請取 ..... 三
- 12 割当銀 ..... 三
- 割当銀、七月割銀請取、買納銀 ..... 三
- 13 上納金 ..... 三
- 上納金、国役金請取、上納金請取、租税 ..... 三
- 14 その他 ..... 三
- 巡見、諸入用割賦帳、米入納帳、扶持米、その他 ..... 三

## E 金融

- 15 貸借 ..... 三
- 借用証文、預り申銀子之事、借用金子之事、借金上納、借用銀請取、金子之覚、利足銀、講、蒲団借受証券、 ..... 三



# 河内国讃良郡岡山村高橋家文書目録

## 支配

### 支配

#### 御触

御布令写 六番組岡山村副戸長高橋甚八 岡島利  
平宛 明治七年五月 一冊 三〇

覚〔触書并帳面受取〕 小路村 岡山村宛 酉正  
月二日 一通 三〇

#### 上申書

上申書 河内国讃良郡甲可村大字岡山第六八番屋  
敷平民高橋甚八 大坂区裁判所知事局宛 明治二  
八年五月一九日 一冊 三〇

上申書 讃良郡岡山村戸長高橋與五郎 一冊 三〇

#### 御願書

覚〔願書御表印受取之事〕 岡山村 長堀次良兵  
衛町御年寄中宛 天保六年二月一〇日 一通 三〇

御願書 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村津鉾  
神社名代高橋与五郎・喜多徳平・他五名 堺県令税  
所篤宛 明治十一年二月二日 一冊 三〇

支配

御願書 当区当郡岡山村第六十三番地渡世維藤本  
治三郎 一冊 二〇

#### 戸数人数名簿

管轄高戸数人員書上ケ帳 河州讃良郡岡山村庄  
屋甚兵衛・年寄吉左衛門・他一名 堺県御役所宛  
明治三年六月 一冊 三〇

高井家数人数書上帳 河州讃良郡岡山村庄屋甚  
兵衛 堺県御役所宛 明治三年一〇月 一冊 三〇

五番組台名前簿 五番組長高橋与五郎・高橋和五  
郎・他二名 明治七年六月 一冊 三〇

戸数帳 岡山村 明治一〇年一月 一冊 三〇

〔第七等組名寄〕 第七等組長高橋樹太郎・平井  
鶴吉・他一三名 一通 二六

#### 届書

諸ヒカエ〔諸届書覚〕 高橋 明治九年一〇月 一冊 三〇

御届書 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村津鉾  
神社名代高橋与五郎・同喜多徳平・他六名 堺県令  
税所篤宛 明治一〇年二月二日 一冊 三〇

〔諸届書様式覚〕 高橋 一冊 三〇

#### その他

証明下附御願 河内国讃良郡甲可村大字岡山願人  
高橋甚八 甲可村長小西徳平宛 明治二三年七月  
二四日 一通 三〇

覚〔払渡し証〕 淀駅御伝馬所 岡山村御役人中  
宛 午四月 一通 三六

法

訴 訟

乍恐御訴訟 大久保加賀守殿領分河州交野郡燈野  
村願人小兵衛 御奉行宛 寛政三年二月十一日 一通 三三

乍恐訴訟〔預銀滯出入〕 永井倉三郎殿知行所河  
州茨田郡點野村願人又左衛門・久貝河内守様御知行  
所同州讃良郡北条村相手孫兵衛 東願御奉行宛  
万延元年二月一八日 一通 二九

告訴 大阪府下河内国讃良郡甲可村大字岡山第六  
七番屋敷平民告訴人高橋甚八 枚方警察署中野分  
署宛 明治二八年五月七日 一冊 三二

乍恐訴狀〔借用銀子之事〕 岡山村 小堀御役所  
宛 一通 三六

乍 恐 口 上

乍恐口上 永井飛彈守殿御預り所河州讃良郡岡山  
村庄屋甚兵衛・年寄市兵衛 東御宛 天保六年九月  
二七日 一通 三二

乍恐口上〔高掛銀多分ニ相懸ニ付御調願〕 河州讃  
良郡砂東村九兵衛・五兵衛・他二名 高槻御役所宛  
天保九年二月二四日 一通 三六

乍恐口上〔手鎖村預ケ屈〕 河州讃良郡岡山村甚  
兵衛 天保九年二月二七日 一通 三六

乍恐口上書 河州讃良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄  
伊兵衛・他二名 小堀勝太郎様御役所宛 天保一五  
年二月二〇日 一通 三九

乍恐口上〔御赦免願〕 岡山村親類惣代喜右衛門・  
改百姓油右衛門・他三名 御奉行宛 弘化二年八月  
六日 一通 三九

乍恐口上〔孫兵衛願申上之事〕 河州讃良郡砂岡  
三ヶ村庄屋・年寄・他一 弘化四年 一通 三九

乍恐口上〔跡相統之件〕 多羅尾久右衛門御代官  
所讃良郡岡山村年寄玄五郎 御奉行宛 嘉永五年  
九月一八日 一通 三九

乍恐口上〔歎願〕 河州讃良郡岡山村庄屋甚兵衛  
堺県御出張御役所宛 明治三年四月二六日 一通 三九

口 上

口上〔村役仕事之相談〕 山口伊兵衛 高橋主宛  
八月八日 一通 三〇

口上〔小路村之儀急ぎ相談〕 砂村五 高橋甚兵  
衛宛 一一月三〇日 一通 三八

済 口 銀 受 取

口書控〔済口控〕 岡山村庄屋甚兵衛 天保一〇  
年九月二七日 一冊 三七

覚〔済口銀受取〕 預願孫兵衛・武右衛門・他二  
名 岡山村甚兵衛宛 二月一八日 一通 三七

口演〔済口銀受取之事〕 三月二七日 一通 三六

乍 恐 返 答

乍恐返答 河州讃良郡岡山村甚兵衛 子正月二七  
日 一通 三八

召  
捕

覚〔被召捕人有之入用〕  
一通 八五〇四

博奕

博奕取締諸向改葺請印帳  
役所宛 慶応元年八月  
岡山村 御役知郡御  
一冊 二六

人別

五人組

五人組改帳 河州讚良郡岡山村百姓代和三郎・同  
断茂兵衛・他三名 小堀主税殿御役所宛 天保一二  
年三月 一冊 二

五人組改帳 河州讚良郡岡山村百姓代和三郎・百一冊

四年三月

五人組改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄  
伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化三年三月 一冊 三五

組頭及組内人名簿 河内國讀良郡岡山村總代高橋  
基八・村川次第郎 戸長田中長三宛 明治一九年二  
月二日 一冊 五二

〔五人組控〕 組頭四平・他四名 一通 七〇

送  
り  
状

志方屋利助 岡山 一通 三六  
 部屋伊右衛門 ぶ年送状之事  
 村甚兵衛宛 未一一月三日

送り状之事  
とくらや弥兵衛  
岡山村甚兵衛宛  
一通  
七三

口上〔寿送状〕 観誓 おりく宛 三月四日 一通 五八

暇状之事 紫嶋村甚吉 とめ宛 亥三月一四日 一通 五八

離状之事 砂東村弥三松・岡山村仲人清六 岡山 一通 二二〇  
村お志ん宛

引取一札 岡山村甚兵衛 茄子作村庄屋・年 一通 四七

引取一札之事 岡山村甚兵衛 茄子作村庄屋・年 一通 四七

乳母奉公人 岡山村甚兵衛 寛政八年五月 一通 二六

乳母奉公人請状之事 何村親誰・何村請人誰 岡 一通 二六

御褒美御下ヶ渡 河州讚良郡岡山村 一冊 二八七

御褒美御下ヶ渡シ小前割賦帳 河州讚良郡岡山村 一冊 二八七

献金御褒美銀御下渡割賦帳 河州讚良郡岡山村 一冊 二八九

人別台帳 一冊 三〇三

家数人別台帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年 一冊 三〇三  
寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化三年三月

## 宗教

### 宗 教

#### 宗 門 帳

隱墓宗門帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄 一冊 三六  
伊兵衛・他一名 高槻御役所宛 天保九年三月

宗門帳 河州讚良郡岡山村年寄市兵衛・同断伊兵 一冊 三七  
衛・他一名 高槻御役所宛 天保九年三月

#### 宗 門 御 改 帳

浄土宗門御改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・ 一冊 三六  
年寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化二年三月

浄土真宗門御改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵 一冊 三六  
衛・年寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化二年三月

浄土宗門御改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・ 一冊 三六  
年寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化三年三月

浄土宗門御改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・ 一冊 三五  
年寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化三年三月

浄土宗本末其外明細帳 河州讚良郡岡山村大正 一冊 三五  
寺常誓 明治三年八月

#### 家数人別牛馬員数帳

宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讚良 一冊 三六  
郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 小堀主  
税様御役所宛 天保二年三月

浄土宗門御改寺并家数人別牛馬員数帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 小堀主税様御役所宛 天保一三年三月 一冊 三六

浄土真宗門改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 御役所宛 天保一四年三月 一冊 三六

浄土宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 小堀勝太郎様御役所宛 天保一五年三月 一冊 三六

浄土真宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他二名 小堀勝太郎様御役所宛 天保一五年三月 一冊 三六

### 法花宗門御改帳

法花宗門御改寺請并家数人別帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 小堀主税様御役所宛 天保一二年三月 一冊 三三

法花宗門御改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化二年三月 一冊 三六

法花宗門御改帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他三名 大津御役所宛 弘化三年三月 一冊 三六

## 寺 社

### 寺 社 名

社地書上帳 河州讚良郡岡山村庄屋高橋甚兵衛 堺県御役所宛 明治三年一月 一冊 三六

村社明細書 河内国第三大区二小区讚良郡岡山村惣代高橋甚八・砂村惣代奥村七郎平・他一名 堺県令税所篤宛 明治一〇年八月二日 一冊 三六

〔寺社名〕 畑弥勒寺・龍間弥迎寺・他四寺 一通 三六

〔御寺明細帳下書〕 一冊 二六

### 景 象 図

津鉾神社式内景象図 河内国第三区讚良郡岡山村戸長高橋孫四郎 明治六年七月一三日 一通 三六

下之宮社景象図 河内国第三区讚良郡岡山村戸長高橋孫四郎 明治六年七月一三日 一通 三六

〔下之宮社之事〕 河内国讚良郡岡山村座戸長高橋孫四郎 明治六年七月 一通 三六

〔津鉾神社之事〕 河内国讚良郡岡山村座戸長高橋孫四郎 明治六年七月 一通 三六

### 梵 鐘

梵鐘之義二付書付 浄土宗京都浄花院末河州讚良郡岡山村大正寺 小堀勝太郎様御役所宛 安政三年六月 一冊 二六

梵鐘之儀二付書付 当御代官取除地浄土宗京都浄華院末河内国讚良郡岡山村大正寺 小堀勝太郎殿御役所宛 安政三年六月 一冊 二六

### 布施齋米

覚〔銀受取〕 ノサキ慈眼寺納所 岡山村甚兵衛宛 午三月朔日 一通 三六

覚〔御齋米・鳥肉請取〕 北条十念寺 岡山高橋甚兵衛宛 三月二七日 一通 三六

覚〔齋米・布施受取〕 打上明光寺 岡山村高橋甚兵衛宛 三月二七日 一通 三六

〔御齋米并御施物請取〕 中野村正法寺 岡山高橋甚兵衛宛 三月二七日 一通 三六

〔御齋米・銀三封受納〕 高橋甚兵衛宛 三月二七日	北条村瑞玄寺 岡山村	一通	五五
貴酬 誓願寺 高橋甚兵衛宛 三月二七日		一冊	五〇
〔回向料・御布施等受取〕 宛 三月二七日	専称寺 高橋甚兵衛	一通	二二五
〔御齋米・御布施受納〕 三月	光園寺 高橋甚兵衛宛	一通	五七
〔御齋米并銀壹封受納〕 甚兵衛宛 一一月八日	北条村瑞玄寺 岡山村	一通	五八
覚〔齋米他受取〕 角遍寺	高橋甚兵衛宛 一一月八日	一通	五〇
覚〔御布施・御齋米受取〕	秋玄寺 一一月八日	一通	五〇
口上〔御包・御布施受取〕 衛宛 一一月八日	称迎寺 岡山村甚兵	一通	五九
口述〔齋米・銀包・鳥肉受取〕 山甚兵衛宛 一一月八日	砂村光園寺 岡	一通	五二
書簡〔御齋米并布施受納〕 甚兵衛宛 霜月八日	中野村正法寺 高橋	一通	五三
覚〔御齋米・御布施受納〕 甚兵衛宛 一一月八日	畑 弥勒寺 岡山村	一通	五九
口演〔墓布施として銀壹包并御齋米受取〕 寺 岡山村甚兵衛宛 霜月八日	誓願	一通	五三
覚〔御齋米・金子・鳥肉受納〕 兵衛宛	光誓寺 高橋甚	一通	四六

寄 付 類

覚〔寄付金受取〕 熊野本宮御師玉置雅楽名代玉 置狭嶋 岡山村庄屋高橋甚兵衛・御役人衆中宛 三月五日		一通	六三
覚〔日御供御神米料と御寄附〕 熊野本宮御師玉 置雅楽 岡山村御役人衆中宛 巳窮月朔日		一通	二六九
〔志お礼〕 本行寺 岡山 甚兵衛宛 霜月八日		一通	五三
証〔寄進受取〕 勝光寺 高橋甚兵衛宛		一通	六三
書 簡			
〔書簡〕 砂本行寺 高橋甚兵衛宛 三月七日		一通	五八
〔書簡〕 岡山 高橋甚兵衛 茄子作西願寺宛 三 月二七日		一通	五二
〔書簡〕 明遍寺 高橋四平宛 五月八日		一通	五七
〔書簡〕 明遍寺 高橋四平宛 九月朔日		一通	五八
〔書簡〕 明遍寺 高橋甚兵衛宛 八日		一通	五五
普 請			
覚〔光誓寺普請材調〕 村仁兵衛 光誓寺檀中宛		一通	八三
覚〔光誓寺普請材調〕		一通	八五
そ の 他			
寺役わり 天明四年二月八日		一通	二七三
式内村社 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村戸 長高橋孫四郎 堺県神社取調御役所宛 明治七年 三月		一冊	五三



村社合祀御願 堺県管轄河内国讃良郡岡山村下之  
宮神社氏子名代小嶋浅五郎・砂村山村庄七・他一二  
名 堺県令税所篤宛 明治一〇年八月

一冊 三七一

〔浄華講社周施方倚頼候事〕 本山事務所 大正  
寺檀中高橋樹太郎宛 明治一二年四月二三日

一通 五二

覚〔御渡し申候之事〕 檀家村中 岡山 甚兵衛宛  
午七月四日

一通 五二

口上〔礼状〕 明遍寺 高橋四平宛 三月二九日

一通 五四

日〔御祈禱之事〕 沖井太夫 高橋四平宛 九月一

一通 一〇五

辰年大正寺出入控覚 四兵衛

一通 一九七

〔おみくじ〕 生駒宝山寺

一枚 五四

## 交通

### 交通

#### 歩き賃

覚〔歩き賃〕 善兵衛 岡山村善兵衛宛 寅三月

一通 八五

覚〔歩き賃〕 善兵衛 岡山村甚兵衛宛 寅三月

一通 八六

覚〔歩き賃〕 善兵衛 岡山村甚兵衛宛 寅三月

一通 八六

#### 飛脚賃

覚〔飛脚賃〕 過書与兵衛 岡山村庄屋甚兵衛宛  
卯二月

一通 五九

日〔飛脚賃〕 森といや 岡山 甚兵衛宛 午三月一

一通 四〇

#### 上乘并飛脚賃

覚〔上乘并飛脚賃〕 太間村過書与兵衛 岡山村御  
庄屋甚兵衛宛 午二月

一通 五七

覚〔上乘并飛脚賃の受取〕 太間村過書与兵衛  
岡山村庄屋甚兵衛宛 未三月

一通 五六

#### 上乘賃

覚〔上乘賃勘定〕 大沢又左衛門 讃良郡砂西村  
庄屋鶴右衛門宛 天保四年三月

一通 八三

覚〔上乘賃勘定〕 大沢又左衛門 讃良郡岡山村  
庄屋甚兵衛宛 天保四年三月

一通 八四

覚〔上乘賃勘定〕 大沢又左衛門 讃良郡砂東村  
庄屋七郎兵衛宛 天保四年四月

一通 八三

覚〔上乘賃勘定〕 大津又左衛門 岡山村御引受  
小路村庄屋与兵衛宛 卯二月二五日

一通 五三

覚〔上乘賃勘定〕 大沢又左衛門 岡山村高橋甚  
兵衛宛 未三月

一通 五〇

覚〔上乘入用并舟賃勘定書〕 出世忠次郎 河州  
讃良郡岡山村庄屋甚兵衛宛 未四月

一通 五五

#### その他

覚〔車引高〕 大沢又左衛門 納御惣代岡山村高  
橋甚兵衛宛 午二月三日

一通 六四

大坂丹方扣正 七月

一冊 二八

川四郎下り荷物

一通 五〇

# 農業

田 畑

小 前

亥小前 甚兵衛 子二月二八日	一通	五
子年小前 甚兵衛 子二月二七日	一通	五
子年小前 東甚兵衛 丑三月	一通	七
丑年小前 甚兵衛 丑二月二三日	一通	七
丑年小前 甚兵衛 丑二月二七日	一通	九
丑年小前 なら村九兵衛 東山下甚兵衛宛 丑二月	一通	九
辰年小前 甚兵衛 辰二月二日	一通	六
午年小前 甚兵衛 午二月	一通	六
未小前 甚兵衛 未二月	一通	三
未年小前 岡山 甚兵衛 申二月二九日	一通	三
戌年小前 四平 戌二月晦日	一通	四
戌年小前 甚兵衛 亥正月一六日	一通	五
戌歲小前 岡山 甚兵衛 亥二月一〇日	一通	七
亥年小前 四平 亥二月	一通	六
寅年小前 甚兵衛 正月二〇日	一通	六

未年小前 甚兵衛 正月	一通	六
巳小前 東甚兵衛 正月	一通	六
巳年小前 甚兵衛 二月四日	一通	二
戌年小前 四平 二月二五日	一通	六
巳年小前 東山下甚兵衛 三月五日	一通	五
亥年小前 東山下甚兵衛 三月	一通	六
申年小前 甚兵衛 三郎五郎宛 九月	一通	五
戌年小前 甚兵衛 一月一〇日	一通	五
酉年小前 甚兵衛 二月二日	一通	四
酉年小前 岡山村甚兵衛 極月二日	一通	四
酉年小前 岡甚兵衛 二月二日	一通	六
亥年小前 岡山 甚兵衛 二月二日	一通	六
午年小前 岡和三郎 二月二三日	一通	七
寅年小前 甚兵衛 二月二三日	一通	八
寅年小前 岡山村甚兵衛 極月二三日	一通	一〇
申年小前 岡山村甚兵衛 極月二三日	一通	四
丑年小前 甚兵衛 二月二三日	一通	五
酉年小前 甚兵衛 二月二三日	一通	五
午年小前 岡甚兵衛 二月二三日	一通	六
巳年小前 甚兵衛 二月二三日	一通	七

午年小前	甚兵衛	一二月二四日	一通	二六
戌年小前	甚兵衛	一二月二四日	一通	二五
亥年小前	甚兵衛	一二月二四日	一通	二四
丑年小前	甚兵衛	一二月二四日	一通	二三
酉年小前	岡山村甚兵衛	極月二四日	一通	二二
丑年小前	岡甚兵衛	極月二四日	一通	二一
辰年小前	岡山村甚兵衛	極月二四日	一通	二〇
亥小前	甚兵衛	一二月二四日	一通	一九
未年小前	岡東山下甚兵衛	極月二四日	一通	一八
巳年小前	岡山村甚兵衛	極月二四日	一通	一七
午年小前	岡山村甚兵衛	極月二四日	一通	一六
戌年前揃	甚兵衛	一二月二四日	一通	一五
申年小前	岡甚兵衛	極月二四日	一通	一四
寅年小前	岡甚兵衛	四郎宛 一二月二五日	一通	一三
子小前	甚兵衛	一二月二五日	一通	一二
亥年小前	岡山村甚兵衛	極月二五日	一通	一一
寅小前	甚兵衛	極月二五日	一通	一〇
辰年小前	東山下甚兵衛	一二月二五日	一通	〇九
辰年小前	岡山村甚兵衛	極月二五日	一通	〇八

午年小前	甚兵衛	一二月二五日	一通	二六
丑年小前	甚兵衛	一二月二五日	一通	二五
戌年小前	德太郎代甚兵衛	一二月二五日	一通	二四
寅年小前	甚兵衛	一二月二五日	一通	二三
午年小前	甚兵衛	一二月二五日	一通	二二
戌年小前	岡山村甚兵衛	極月二五日	一通	二一
丑小前	岡山村甚兵衛	一二月二五日	一通	二〇
未年小前	甚兵衛	一二月二五日	一通	一九
覚(小前不足)	砂七郎兵衛 高橋甚兵衛宛	一二月二五日	一通	一八
子年小前	甚兵衛	極月二五日	一通	一七
酉年小前	岡山甚兵衛	一二月二六日	一通	一六
子ノ小前	甚兵衛	極月二六日	一通	一五
酉年小前	甚兵衛	一二月二六日	一通	一四
卯年小前	甚兵衛	一二月二六日	一通	一三
卯年小前	岡山村甚兵衛	極月二六日	一通	一二
丑年小前	孫兵衛 甚兵衛宛	極月二六日	一通	一一
寅年小前	甚兵衛	一二月二七日	一通	一〇
卯年小前	岡山東ノ甚兵衛	極月二七日	一通	〇九
午年小前	岡山村甚兵衛	極月二七日	一通	〇八
卯年小前	甚兵衛	一二月二七日	一通	〇七

丑年小前	岡山 甚兵衛	一二月二七日	一通	三六
未年小前	甚兵衛	一二月二七日	一通	六六
覺〔小前不足〕	砂西村宇右衛門 岡山村甚兵衛	宛 一二月二七日	一通	六六
丑年小前	岡山村甚兵衛	一二月二七日	一通	六六
戌年小前	岡 甚兵衛	極月二八日	一通	七
亥年小前	甚兵衛	極月二八日	一通	二五
卯年小前	甚兵衛	一二月二八日	一通	二七
丑年小前	岡山村甚兵衛	極月二八日	一通	二六
戌年小前	甚兵衛	一二月二八日	一通	二六
辰小前	甚兵衛	一二月二八日	一通	六五
酉年小前	德太郎代甚兵衛	一二月二九日	一通	二七
酉年小前	四平	一二月二九日	一通	三六
申年小前	岡山 甚兵衛	一二月二九日	一通	六六
酉年小前	岡山 甚兵衛	一二月二九日	一通	二六
寅小前	東 甚兵衛	大晦日	一通	二六
未年小前	甚兵衛	大晦日	一通	三三
巳年小前	岡 甚兵衛	一二月晦日	一通	六六
戌年小前	甚兵衛	一二月	一通	三三
子年小前	岡山村甚兵衛	極月	一通	七九
午年小前	甚兵衛	極月	一通	八五
巳年小前	甚兵衛	一二月	一通	六六
未年小前	岡山村甚兵衛	極月	一通	六六
申年前持	甚兵衛	一二月	一通	六六
未年小前	四平	一二月	一通	六六
巳年小前	岡 甚兵衛	一二月	一通	六六
卯年小前	甚兵衛	二三日	一通	二五
亥年小前	甚兵衛	二四日	一通	二五
丑年小前	甚兵衛	二四日	一通	二六
未年小前	甚兵衛	二四日	一通	八六
亥年小前	甚兵衛	二五日	一通	二五
巳年小前	甚兵衛	二五日	一通	二五
酉年小前	甚兵衛	二五日	一通	二五
申年小前	加屋	二五日	一通	二五
寅年小前	甚兵衛	二五日	一通	四三
申年小前	甚兵衛	二五日	一通	二六
亥年小前	甚兵衛	二七日	一通	六六
午年小前	甚兵衛	二七日	一通	二五
戌年小前	甚兵衛	二八日	一通	二六
申年小前	甚兵衛	二八日	一通	二六
丑年小前	甚兵衛	二九日	一通	二六

酉小前 東甚兵衛 二九日	一通	一四
卯小前 甚兵衛 二九日	一通	一四
卯年小前 東甚兵衛 二九日	一通	二九
午歲小前 甚兵衛	一通	二九
酉年小前 甚兵衛	一通	七
申年小前 甚兵衛	一通	四
申年小前 東甚兵衛	一通	四
申年小前 八郎右衛門	一通	四
申年小前 甚兵衛	一通	四
卯年小前 東山下甚兵衛	一通	五
午年小前 甚兵衛	一通	五
巳年小前 岡山甚兵衛	一通	五
卯年小前 甚兵衛	一通	五
巳年小前 東山下八郎右衛門	一通	五
辰年小前 岡山村甚兵衛	一通	五
丑年小前 甚兵衛	一通	六
卯年小前 岡山村甚兵衛	一通	六
辰年小前 甚兵衛	一通	六
亥年小前 八郎右衛門	一通	六
巳年小前 岡甚兵衛	一通	六

戌年小前 甚兵衛	一通	九
戌年小前 甚兵衛	一通	六
〔小前〕 甚兵衛	一通	六
卯年前持 甚兵衛	一通	六
巳年小前 甚兵衛	一通	六
午年小前 甚兵衛	一通	六
丑年小前 八郎右衛門	一通	六
戌年小前 甚兵衛	一通	六
寅年小前 和三郎	一通	六
寅年小前 八郎右衛門	一通	六
寅年小前 孫兵衛	一通	六
亥年小前 甚兵衛	一通	六
戌年小前 甚兵衛	一通	六
亥年小前 岡甚兵衛	一通	七
寅年小前 岡甚兵衛	一通	七
戌年小前 岡甚兵衛	一通	七
寅年小前 甚兵衛	一通	七
辰年小前 甚兵衛	一通	七
辰年小前 岡山村甚兵衛	一通	七
辰年小前 甚兵衛	一通	七

申年小前 甚兵衛	一通	一四	酉年小前 東山下伊勢講地	一通	一四
丑前持 甚兵衛	一通	一五	卯年小前 岡山 甚兵衛	一通	一五
子年小前 岡 甚兵衛	一通	一五	寅年小前 岡山村甚兵衛	一通	一五
戌年小前 德太郎	一通	一六	卯年小前 甚兵衛	一通	一五
戌年小前 德太郎	一通	一七	寅年小前 甚兵衛	一通	一五
申年小前 甚兵衛	一通	一八	〔小前〕		
酉年小前 甚兵衛	一通	一八	卯年小前 岡山 甚兵衛	一通	一五
申小前 岡 甚兵衛	一通	一八	辰年小前 なら田 九兵衛	一通	一五
〔小前〕			巳年小前 岡 甚兵衛	一通	一五
覚〔小前〕 砂西村	一通	一八	午年小前 茂兵衛	一通	一五
覚〔小前〕 砂東村	一通	一九	戌年小前 甚兵衛	一通	一五
午歲小前 トユ 佐右衛門	一通	二〇	午年小前 和泉屋武松	一通	一五
〔小前〕			申年小前 甚兵衛	一通	一五
午年小前 砂西村庄左衛門	一通	二〇	寅年小前 甚兵衛	一通	一五
酉年小前 甚兵衛	一通	二〇	午年小前 東山下甚兵衛	一通	一五
未小前 甚兵衛	一通	二〇	戌年小前 岡山 甚兵衛	一通	一五
辰年小前 宮田	一通	二〇	辰年小前 岡 甚兵衛	一通	一五
辰年小前 庄兵衛	一通	二〇	巳年小前 甚兵衛	一通	一五
辰年小前 五兵衛	一通	二〇	子年小前 東山下四平	一通	一五
辰年小前 南山下孫兵衛	一通	二〇	卯年小前 東八郎右衛門	一通	一五

午年小前	岡山 甚兵衛	一通	六三
辰小前	甚兵衛	一通	六六
亥年小前	甚兵衛	一通	六五
卯年小前	甚兵衛	一通	六六
未小前	甚兵衛	一通	六七
戌小前	甚兵衛	一通	六八
辰年小前	甚兵衛	一通	六九
未年小前	甚兵衛	一通	七〇
子年小前	甚兵衛	一通	七一
子年小前	甚兵衛	一通	七二
亥年小前	岡山 甚兵衛七	一通	七三
う年小まへ	甚兵衛	一通	七三
亥年小前	四平	一通	七三
申年小前	岡山 甚兵衛・和三郎	一通	七三
未年小前	岡 甚兵衛	一通	七三
申歲小前	甚兵衛	一通	七三
丑年小前	甚兵衛	一通	七三
亥年小前	甚兵衛	一通	七三
未年小前	南山下孫兵衛	一通	七三
酉年小前	甚兵衛	一通	七三

申年小前	岡山 甚兵衛	一通	六五
未年小前	甚兵衛	一通	六三
午年小前	甚兵衛	一通	六三
(小前)			
寅小前	甚兵衛	一通	六八
申年小前	甚兵衛	一通	六九
申小前	甚兵衛	一通	六〇
午年小前	甚兵衛	一通	六一
巳年小前	甚兵衛	一通	六二
酉年小前	甚兵衛	一通	六三
巳年前持	甚兵衛	一通	六四
辰小前	甚兵衛	一通	六五
丑小前	甚兵衛	一通	六六
未小前	甚兵衛	一通	六七
丑年小前	甚兵衛	一通	六八
子年小前	甚兵衛	一通	六九
酉小前	甚兵衛	一通	七〇
寅年小前	甚兵衛	一通	七一
午年小前	甚兵衛	一通	七二
戌年小前	甚兵衛	一通	七三

亥前持 甚兵衛	一通	六〇七	子年小前 甚兵衛	一通	一〇五〇
酉年前持 甚兵衛	一通	六〇六	子年小前 甚兵衛	一通	一〇五二
午小前 甚兵衛	一通	六〇二	卯年小前 甚兵衛	一通	一〇五三
未小前 岡 甚兵衛	一通	六〇五	辰年小前 甚兵衛	一通	一〇五五
〔寅年小前〕 甚兵衛	一通	六〇三	辰年小前 甚兵衛	一通	一〇五五
午年小前 砂東村庄兵衛	一通	六〇六	辰年小前 甚兵衛	一通	一〇五五
亥年小前 岡山村甚兵衛	一通	六〇七	未年小前 岡 甚八	一通	一〇五七
寅年小前 甚兵衛	一通	六〇六	子年小前 甚兵衛	一通	一〇六一
申年小前 甚兵衛	一通	六〇六	子年小前 甚兵衛	一通	一〇六三
丑年小前 東山下四平	一通	六〇二	子年小前 西好兵衛	一通	一〇六五
卯年小前 岡 甚兵衛	一通	六〇三	子年小前 砂西村庄左衛門	一通	一〇六六
亥年小前 砂庄左衛門	一通	六〇五	午年小前 島ヶ池	一通	一〇六六
卯年小前 甚兵衛	一通	六〇六	午年小前 久左衛門	一通	一〇六七
丑年小前 甚兵衛	一通	六〇三	辰小前 東山下伊勢講地	一通	一〇六八
寅年小前 四平	一通	六〇五	小 前 帳		
申年小前 砂東村九兵衛	一通	六〇八	巳年免割小前帳 岡山村	一冊	三三
申年小前 砂東村藏兵衛	一通	六〇九	申歲免割小前帳 河州讚良郡岡山村	一冊	三二
午小前 甚兵衛	一通	六〇五	子年免割小前帳 岡山村	一冊	二四二
寅年小前 甚兵衛	一通	六〇六	卯年免割小前帳 岡山村	一冊	二四二
申年小前 甚兵衛	一通	六〇二	御年貢免割小前帳 万延元年一月	一冊	三八



舌代〔小前勘定之覚〕 南山下 四平宛 一二月 一通 六四  
晦日

宛 米

当下作宛米覚帳 岡山村甚兵衛 文政九年九月 一冊 二

岡山村小作方宛米定免收納控帳 嘉永四年九月 一冊 二五

田畑屋鋪本畝宛米取調帳 力永六年四月 一冊 二四

下作宛米取附帳 岡山村高橋甚平 明治二年一二月 一冊 三三

宛米取附帳 高橋甚八 明治三年一二月 一冊 三七

記〔宛米代金受取〕 岡山 山口伊平 高橋甚八宛 明治四年一二月一三日 一通 三七

覚〔宛米〕 支配人甚兵衛 武兵衛宛 西一二月 一通 三三

覚〔宛米〕 一通 五八

覚〔宛米〕 一通 五五

〔宛米書上〕 一冊 九四

下 作 米 納

覚〔下作米納〕 北山下藤兵衛 東山下甚兵衛宛 一通 七五

西一二月 砂村請兵衛 岡山村甚兵衛宛 一通 七六

覚〔下作米納〕 利右衛門 東山下甚兵衛宛 一通 七六

一月一五日 覚〔下作米納〕 一通 七六

覚〔下作米納〕 西利右衛門 東甚兵衛宛 一通 七三  
一月一九日

覚〔下作米納〕 利右衛門 東甚兵衛宛 一通 七三

小 作 請 取

下作米入帳 岡山村甚兵衛 天明五年一〇月 一冊 三

下作年貢米請取帳 甚兵衛 文化四年九月 一冊 九

当申年下作米請取帳 文化九年一〇月 一冊 二五

当酉年下作米請取帳 文化一〇年九月 一冊 二五

年貢請取帳 岡山 甚兵衛 天保五年九月 一冊 三

下作年貢請取帳 岡山村高橋甚兵衛 天保九年九月 一冊 二〇

小作取米帳 新家田中甚兵衛 明治三年一二月 一冊 二四

小作取米帳 新家田中甚三郎 明治四年一二月 一冊 二六

小 作 証 書

耕地小作証書 三大区三小区交野郡燈油村小作人 一通 五〇

岡本小平・受人坂本久平 三大区岡山村高橋與五郎 宛 明治二年四月三〇日

寄 米

覚〔小作寄米預り〕 岡山村支配人甚兵衛 平池 一通 二〇

村仙之助宛 嘉永四年一二月一五日 覚〔寄米・寄銀覚〕 一通 二六

給 米 帳

小走給米帳 第二大区二小区讀良郡岡山村 明治一〇年七月 一冊 三六

米

覚〔預ケ米〕 菜嶋村鉄次郎代重兵衛 岡山村甚兵衛宛 慶應三年六月一〇日 一通 二六

覚〔入用米〕 関金三郎 岡山村御役人中宛 子五月朔日 一通 六

覚〔御米口取〕 大沢又左衛門 岡山村高橋甚兵衛宛 未六月三日 一通 二六

覚〔米老石〕 西山下与三右衛門 東甚兵衛宛 申一二月一四日 一通 六三

口上〔米代之事〕 北条村市兵衛 岡山村甚兵衛宛 四月二二日 一通 三二

おぼへ〔米代覚〕 岡高甚 五月七日 一通 三二

〔米武拾五石〕 岡山村甚兵衛 一通 四八

覚〔取米〕 一通 五五

〔米勘定之事〕 岡山村高甚 一通 二〇四

反別取調帳 一通 二〇四

年々引高除地小前書上帳 河州讀良郡岡山村庄屋孫兵衛・年寄伊兵衛 高槻御役所宛 寛政一〇年二月 一冊 三六

河州讀良郡砂岡三ヶ村荒場反別高取調帳 百姓代伊兵衛・年寄九兵衛・他九名 高槻御役所宛 文政二年五月 一冊 五九

年々引高永荒書上帳 河州讀良郡岡山村庄屋代甚兵衛・同断九兵衛 高槻御役所宛 文政一三年三月 一冊 三六

河州國讀良郡岡山村高反別小前帳 河内國讀良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他二名 小堀勝太郎御代官所宛 天保一四年九月 一冊 八

高取調書上ヶ帳 河州讀良郡岡山村庄屋市兵衛・年寄甚兵衛 御届御役所宛 明治元年一〇月 一冊 三三

御米員数書上帳・窮民人取調書上帳 定免諸願之方・当年檢見入願之方 河州讀良郡岡山村庄屋甚兵衛 堺県御役所宛 明治三年三月 一冊 六八

段別収獲地価地〇老〇銀調帳 河内國第三大区二小区六番組岡山村全区五番組中野村持主岡辺利平 明治九年四月 一冊 二〇六

堺県官轄河内國讀良郡砂村内地所反別并収価租直取調帳 支配人高橋與五郎 中野村岡島利平持宛 明治一〇年十一月一八日 一冊 四六

〔反別取調帳〕 河内國第三大区二小区六番組讀良郡岡山村百姓惣代頼川市次郎・立会人山口伊平・他二名 堺県令稅所篤宛 一冊 七二

旧新反別取調書 河内國讀良郡岡山村壳渡人高橋甚八・同郡中野村買受人岡嶋利三郎 大阪府知事建野郷三宛 一冊 八八

名 寄 帳 一冊 八八

〔名寄帳〕 一冊 二二〇

〔名寄帳〕 一冊 二六

〔名寄帳〕 河内國第三大区二小区讀良郡岡山村四等伍長小嶋浅五郎・林仲平・他三二名 一冊 二〇九

目 録 一冊 二四

目録 高橋甚兵衛 藤井重兵衛宛 嘉永七年二月一六日 一冊 二四

午役目録帳 河内国讃良郡岡山村 明治三年二月 一冊 二六

田 畑

覚〔畑方〕 岡山村方 砂利兵衛宛 午二月二 一通 五九

六日

〔田畑之覚〕 一通 五〇

夫 食

覚〔田方畑方之事〕 一通 五三

夫喰蔵入用勘定帳 弘化三年二月一六日 一冊 三四

救助差遣ノ米金高井名所書上 河州讃良郡岡山村 一冊 三五

庄屋甚兵衛 堺県御出張御役所宛 明治三年六月 九日

肥 料

貯夫食困穀通 河州讃良郡岡山□<sup>(蔵出)</sup> 一冊 二九

覚〔屎代勘定書〕 蔀屋 伊左衛門 岡山村甚兵衛 一通 三二

宛 子九月七日

菜 種

〔たんこ代〕 長左衛門 東甚兵衛宛 酉七月一 一通 三三

一日

菜 種

覚〔小便小屋使用料〕 河浅 岡山甚兵衛宛 一通 三三

菜種売捌方ニ付示談為取替印形帳 岡山 慶応元 一冊 二六

覚〔買附菜種代金之事〕 河州讃良郡岡山村願人 一通 六二

甚兵衛・河州茨田郡三井村相手三八郎 岡山村御役 人中宛 明治三年七月二日

覚〔菜種代勘定〕 砂由兵衛 打上村請兵衛宛 一通 六九

辰五月

木 綿

覚〔菜種代金約定〕 三井村萬助・岡山村喜右衛 一通 七二

門・他一名 午六月二日

山 林

おほへ〔種米勘定〕 一通 七〇

当秋田方木綿作書上ノ帳 河州讃良郡岡山村百 一冊 七〇

姓代四平・年寄吉左衛門・他一名 堺県御役所宛 明治三年九月

山 出中諸事覚帳 文政二年正月 一冊 七四

宗座ヶ谷松茸山入用帳 弘化三年八月 一冊 七六

山林持主名前帳 第三区讃良郡岡山村 明治六年 一冊 七七

六月

年 貢

年貢米上納 北条 定衛門 岡山村庄屋宛 一通 一〇五

覚〔年貢上納覚〕 丑六月

覺〔年貢覺〕	岡山 甚兵衛	喜兵衛宛卯一二月一六日	一通	二五
覺〔年貢覺〕	甚兵衛	安右衛門宛 申二月三日	一通	五
覺〔年貢勘定調〕	村方	二月二七日	一通	六
〔年貢高覺〕	砂 諸兵衛	岡山村甚兵衛宛 一二月五日	一通	六三
〔年貢米〕	堺県管轄河内国讃良郡岡山村米主升取文左衛門・米見市兵衛・他一名		一綴	四六
戌年御年貢帳之通	鍵屋六左衛門	岡山村宛	一通	五二
〔年貢米改覺〕	御庄屋喜兵衛・同断市兵衛立合		一通	六六
覺〔年貢覺〕			一通	一〇六
年貢米不足				
下作年貢過取受取算用帳	高橋甚兵衛	天保五年六月三〇日	一冊	三〇
覺〔年貢米不足〕	伊兵衛	四平宛 一一月二三	一通	三九
〔年貢米不足分〕			一通	一七
御年貢銀				
已御年貢上納銀寄帳	岡山村	天明五年九月	一冊	三九
覺〔年貢銀納〕	御歳差配人泉屋五兵衛	岡山村御役人中宛 卯三月	一通	一〇五
已年御年貢銀之通	天満屋與治兵衛	岡山村宛	一冊	一〇六
乙未御年貢銀之通	鍵屋六左衛門	岡山村宛	一通	一〇五

年貢皆済				
定書之事〔年貢皆済延引〕	岡山村九兵衛・砂東村儀左衛門・他七名	文政三年二月	一通	八〇
覺〔皆済銀受取〕	砂東村	星田村徳太郎宛 酉一二月九日	一通	一六
覺〔皆済銀受取〕	砂西村善右衛門	岡山村甚兵衛宛 亥二二月二六日	一通	二四
年貢割賦帳				
初御年貢割賦帳	岡山村	嘉永二年一二月	一冊	二四
丑年穀種控			一通	二六
丑年苗代覺			一通	七三
延納米不足				
〔延納米不足〕	甚兵衛	徳太郎宛	一通	一六
延納代金済				
覺〔延納代金済証〕	村方	東山下四平宛 戌正月二五日	一通	一五
覺〔延納米代銀請取〕	砂東村	岡甚兵衛宛 戌正月二五日	一通	一六
覺〔延納米代銀受取〕	砂西村	甚兵衛宛 正月二三日	一通	一六
納米掛り勘定				
覺〔納米掛り勘定〕	柳屋甚七	岡山村御役人中宛 未三月	一通	三九

覚〔納米運び賃割〕 橋甚兵衛宛 未三月	大沢又左衛門 納御惣代高	一通	三三
覚〔讀良上組米運搬依頼〕 甚兵衛宛 未四月	大沢又左衛門 高橋	一通	三二
覚〔納米運び賃割〕 屋高橋甚兵衛宛 未六月	出世忠次郎 讀良郡御納庄	一通	三六
納割受取			
覚〔納銀請取〕 天明七年一〇月八日	砂東村五兵衛 岡山村甚兵衛宛	一通	三七
御上納銀請取通	砂東村 岡東山下甚兵衛宛 慶 応二年七月	一通	三六
銀納請取通	砂東村 岡山甚兵衛宛 慶 應四年七月	一通	三六
覚〔御米納入用銀請取〕 庄屋甚兵衛宛 未七月八日	砂東村七郎兵衛 岡山	一通	四六
覚〔納割受取〕 酉一〇月一〇日	砂西村字右衛門 岡山村甚兵衛	一通	三七
覚〔納銀受取〕 一〇日	砂西村 岡山村甚兵衛宛 九月	一通	二三
納米入用			
覚〔納米事入用〕 組宛 巳三月	丁金や市郎兵衛 砂・岡山村	一通	三三
覚〔納米入用之事〕 御役人中宛 巳三月	丁金屋市郎兵衛 岡山村組	一通	八三
覚〔納入米〕 申四月	柳屋甚七 讀良郡岡山御役人中宛	一通	四〇

覚〔米納之覚〕 月一四日	小兵衛 東山下甚兵衛宛 亥九	一通	四三
日〔納入之事田方分・綿方分〕	村方 一二月二三	一通	三〇
〔米納之事〕 三分一掛	徳太郎	一通	二七
覚〔御役所様三分一掛ひかへ〕 岡山甚兵衛宛 一二月二三	砂村庄右衛門	一通	四四
免割			
口上〔去々寅年免割帳差上之事〕 高橋四平宛 三月二日	山口伊兵衛	一通	二九
河内国戌年免定下書拔	讀良郡村々	一冊	二六
検見			
当辰年御検見内見合毛帳 天明四年八月	河州讀良郡岡山村	一冊	二四
申歳御検見入用割帳 八年一〇月二七日	讀良郡上組六ヶ村 天明	一冊	三三
覚〔検見入用割請取〕 卯一一月五日	砂西村 岡山村甚兵衛宛	一通	四四
御蔵			
二條			
二條御城米請取之事 甚兵衛宛 天保一二年一一月五日	交野喜太郎 岡山村庄屋	一通	三七

覚〔小堀様二條請〕 太間村過書与兵衛 岡山村 庄屋甚兵衛宛 天保一四年一月一〇日	一通	五五
覚〔小堀様二條請〕 大間村過書与兵衛 岡山村 庄屋甚兵衛宛 天保一四年一月一一日	一通	五六
覚〔二條米之事〕 部屋村伊左衛門 岡山村御庄 屋甚兵衛宛 子七月一九日	一通	六六
覚〔二條納米掛銀〕 高宮村 岡山村宛 卯一二 月二三日	一通	二〇元
覚〔二條納米掛銀〕 砂東村 岡山村宛 未七月 二日	一通	五五
〔二條御蔵請米〕 河内讃良郡岡山村庄屋・年寄 高槻役所宛 申三月朔日	一通	二〇元
口上〔二條米勘定〕 六月六日	一通	八六
粗二条納勘定 岡山村	一通	五五
割紙〔二條御蔵納〕 岡山村	一通	二〇元
難波 難波	一通	八五
難波御蔵水揚 泉屋五兵衛 巳一二月朔日	一通	八五
廻 米		
廻 米		
江戸御廻米 砂西村鵜右衛門 岡山村庄屋九兵衛 宛 午七月二日	一通	八五
〔江戸御廻米御上納之件〕 笠倉屋伝吉 高橋孫 兵衛宛 一〇月	一通	八六

〔寅卯廻米入用・飯代割〕 岡山村

廻米請取

覚〔廻米受取〕 太秦村市郎兵衛 岡山村宛 〔卯〕  
一二月一一日 一通 五三覚〔廻米受取〕 太秦村浜庄屋市郎兵衛 岡山村  
宛 卯一二月二〇日 一通 五三覚〔廻米受取〕 三箇村浜庄屋弥四郎・太秦村同  
断市郎兵衛 岡山村宛 〔卯〕一二月 一通 五三

廻米入用銀請取

覚〔廻米入用銀受取〕 うづまさ 市郎兵衛 岡山  
村御庄屋甚兵衛宛 六月二〇日 一通 五三

申年廻納米代銀受入 星田 徳太郎 二三日 一通 一五

申年廻納代銀受入 甚兵衛 二三日 一通 一四

割 当 銀

割 当 銀

覚〔神納割銀受取〕 砂西村 岡山村甚兵衛宛  
戌九月 一通 五六

〔割銀之事〕 一通 八六

覚〔割当銀〕 一冊 二八二三

七月割銀請取

覚〔七月割請取〕 岡山村孫兵衛 岡山村甚兵衛  
宛 天明七年七月五日 一通 九四

覚〔七月割受取〕 月八日	村方 東山下甚兵衛宛 寅七月	一通	六三
覚〔七月割受取〕	砂西村 甚兵衛宛 寅七月九日	一通	六八
覚〔七月割請取〕	砂西村 甚兵衛宛 卯七月	一通	六三
覚〔七月割請取〕	村方 東甚兵衛宛 卯七月	一通	六九
覚〔七月割請取〕 未七月七日	西 宇右衛門 岡甚兵衛宛	一通	六三
覚〔七月割請取〕 酉七月七日	西村宇右衛門 岡山甚兵衛宛	一通	七〇
覚〔七月割請取〕	東山下四平宛 亥七月八日	一通	一七
覚〔七月割受取之事〕 甚兵衛宛 七月六日	砂西村宇右衛門 岡山村	一通	六三
買納銀			
覚〔買納銀請取〕 三月一七日	太間 伊兵衛 東山下四平宛	一通	一七
上納金			
御国役金上納帳 勘左衛門・岡山村庄屋甚兵衛 三年七月	河州讀良郡月番深野南新田庄屋 堺県御役所宛 明治	一冊	三六
覚〔御上納金〕 戌二月一三日	岡山村庄屋・村方 東四平宛	一通	六六
〔上納金之覚〕	村々 二〇年八月一三日	一冊	二五

御蔵・廻米・割当銀・上納金

戊御上納銀通 岡山村孫兵衛 岡山村甚兵衛宛 一二月一〇日	一通	三
租 税		
嘉永貳酉年租稅書上帳 河州讚良郡岡山村百姓 代四平・年寄吉左衛門・他二名 堺県御出張御役所 宛 明治三年八月	一冊	三六
山林租税入費集帳 讚良郡岡山村 明治一四年一 〇月	一冊	二三
租税明細厘廻付帳 河州讚良郡岡山村庄屋甚兵 衛・年寄市兵衛・他一名 堺県御役所宛	一冊	三三
その他		
巡 見		
御国御巡見様御通行写 岡山村高橋甚兵衛取持 天保九年四月	一冊	五
覚〔御巡見入用割〕 鴻池新田 岡山村宛 午一 二月一八日	一通	二三
諸入用割賦帳		
亥七月組合諸入用割賦帳 河州讚良郡上郷村々 文久三年	一冊	二七
上半年分戸数割賦帳 岡山村 明治一七年八月	一冊	二四
米入納帳		
等級仕訳簿 讚良郡岡山村小嶋浅五郎・高橋甚八・ 他四名 戸長田中長三宛 明治二〇年四月	一冊	二七
〔米入納帳〕 茨田郡・渋川郡・他三郡	一冊	三六

〔石高之覚〕			一冊	二三
扶 持 米				
飢人取立帳 天明七年六月一三日	一冊	三六		
当田畑早拔二付痛毛書上帳 安政三年	一冊	二九		
御扶持米御下ケニ付割賦帳 岡山村 慶応三年三 月	一冊	二九		
その他				
武拾ヶ年届附帳 河州讚良郡何拾ヶ村 明治三年 七月	一冊	二二		
内見帳 坪刈帳 二日 写 河州讚良郡岡山村 明治三年八月二 日	一冊	二五		
演説〔農業について〕 讚良郡岡山村 午五月	一冊	二七		
金 融				
貸 借				
借用証文				
預り申借用証文之事 岡山村茂兵衛 砂・岡三ヶ 村役人中宛 弘化四年正月	一通	六三		
借用申証文之事 河内国第三大区二小区六番組讚 良郡砂村借用主貞村弥太郎 河内国六番組岡山村 高橋甚八宛 明治七年七月	一通	四四		



覚〔銀子預り証文〕 砂西村鵜右衛門 岡山村甚兵衛宛 西四月二六日	一通	一〇六
借用申証文之事 河内国第三区讚良郡岡山村借用主井多四郎 河内国第三区讚良郡岡山村高橋甚八宛 西一二月	一通	六三
〔借銀村方取調書〕 岡山村庄屋・年寄 高槻役所宛 正月一三日	一通	一〇二
覚〔證文銀之事〕 一二月二日	一通	八七
〔預り申銀子借用之事〕 岡山村願人九兵衛・当村孫兵衛	一通	五七
〔借用代金払い〕 高宮かしや	一通	五七
覚〔貸付銀覚〕 北条村・岡山村・他二ヶ村 小田切・増山宛	一通	一七三
預り申銀子之事		
預り申銀子之事 岡山村預り主甚兵衛内りく・請人庄右衛門・他一名 下馬伏村政右衛門宛 天明八年一二月二日	一通	六二
預り申銀子之事 銀預り主友三郎・同九左衛門私市村信之助宛 文化一一年正月	一通	一〇五
預り申銀子之事 銀預り主中本太郎右衛門・諸人と八 田村平右衛門宛 文政四年一二月	一通	九六
預り申銀子之事 上村銀預り主与左衛門・与右衛門 上村平右衛門宛 文政五年一二月	一通	一〇四
覚〔銀子証文之事〕 東甚兵衛 大り源助宛 文政一二年六月二四日	一通	五七
預り申銀子之事 岡山村銀預り主甚兵衛 砂西村鵜右衛門宛 天保一三年七月	一通	一〇四

上納金・その他・貸借

覚〔借用銀払済〕 巢本村丞之助代理兵衛 北條村吉左衛門・御印願人中宛 弘化五年三月二八日	一通	六二
預り申銀子之事 岡山村預り主四平 当村御役人中宛 嘉永五年二月	一通	五三
覚〔預り銀出入之覚〕 伊兵衛 四平宛 五月九日	一通	一〇六
覚〔銀預り〕 塚脇村清之助 岡山甚兵衛宛 九月晦日	一通	一〇九
預け銀借出入 河内国讚良郡私部村願人重治郎 四平様仲庄兵衛宛	一通	九四
借用金子之事		
借用仕金子之事 京都神泉苑町若狭屋多郎兵衛・手代卯兵衛・他一名 高橋甚兵衛宛 天保一二年一月	一通	五六
御金拝借書上帳 河州讚良郡岡山村年寄吉右衛門 堺縣御役所宛 明治三年正月二二日	一冊	一〇六
借用金子之事 河内国第三大区二小区讚良郡岡山村借主西口奈津・同村受人高橋甚八 第二大区二小区中野村岡辺利子宛 明治一一年四月二〇日	一冊	四三
借用申金子之事 河内国第三大区二小区讚良郡中野村借用主田中弥次郎 同郡岡山村高橋甚八宛 明治一一年一二月二六日	一通	五〇
借用申金子証文之事 河内第三大区二小区讚良郡岡山村借用主高橋甚八・同村受人林利三郎 河内国第三大区三小区交野郡打上村伊藤民三郎宛 明治一三年一月二六日	一冊	四三
借用申金子証券 甲可村大字岡山金子借用主高橋甚八 津鉾神社氏子惣代平井長三郎宛 明治二三年一〇月	一通	四〇

借用申金子証券 讀良郡甲可村大字岡山金子借用  
主高橋甚八 讀良郡甲可村大字岡山津鉾神社氏子  
惣代内海吉五郎宛 明治十九年二月二十七日

一通 〇元

借金上納

覚(借金上納(付受取) 高槻役所 河州讀良郡岡  
山村甚兵衛宛 戌二月一三日

一通 〇元

覚(借金上納(付受取) 高槻役所 一〇月一五日

一通 〇元

借用銀請取

覚(借用銀受取) 野口村仁三郎代平池村仙之助  
岡山村甚兵衛・印願人中宛 天保七年四月二十六日

一通 一六

覚(元利銀請取) 點野村請左衛門 岡山村甚兵  
衛・五兵衛宛 亥六月一一日

一通 六六

覚(預り銀受取) 砂束村 岡山村庄屋甚兵衛宛  
一二月二二日

一通 三六

〔銀子請取之事〕

金子之覚

〔金子之覚〕 砂束村五兵衛

一通 三三

〔金子覚〕

利 足 銀

〔卯年利銀不足〕 天保八年一二月

一通 〇元

覚(利息銀受取) 灰塚村専庄兵衛 岡山村和三  
郎・北条村又兵衛宛 弘化二年一二月

一通 六六

覚(利足金受取) 星田村猪太郎 岡山 甚兵衛宛  
弘化四年

一通 六六

覚(利足銀請取) 岡山村甚兵衛 灯油村理兵衛  
宛 嘉永五年二月二十七日

覚(利足銀請取) 小江伊兵衛 岡山 甚兵衛宛  
申二月二十五日

記(明治三十二年度利足金請取) 植村藤三郎  
高橋甚八宛 三三年五月一日

おぼえ(利足覚) 和三郎 源助宛 正月晦日

口上(利足銀請取) 九兵衛 高橋四平宛 四月  
六日

頼母子掛ケ銀控帳 文化七年正月

通(講掛金受取通) 会主周施方廣瀬高橋辨太郎  
宛 明治九年二月

取除仕方講定約書 明治一六年六月

口述(講会席案内) 神田亮左衛門 岡山 大正  
寺・卜油正縁寺・他三名宛 二月

覚(相統講落札) 砂村久兵衛 高橋甚兵衛宛  
七月

仕法講規則簿

仕事講規則簿

蒲団借受証券

蒲団借受証券 大坂府讀良郡住道村大字三箇蒲団  
借受人櫻森喜造・同郡甲可村大字岡山請負人上村八  
十松 讀良郡甲可村大字岡山高橋甚八宛 明治二  
八年九月一〇日

一通 三六

一通 〇元

一通 〇元

一通 〇元

一通 〇元

一通 〇元

その他

相場 笠倉屋伝吉 一〇月

御印辨御定直段 御用御辨座

受 取

納銀受取

銀納請取通 砂東村 岡山村甚兵衛宛 慶応三年

覚〔納銀受取〕 砂西村宇右衛門 岡山村甚兵衛宛 西一月一日

覚〔納銀受取〕 東甚兵衛 丁源左衛門宛 一月二四日

銀請取

〔銀請取〕 岡山村孫兵衛 岡山村甚兵衛宛 天明七年

覚〔銀請取〕 岡山村甚兵衛 村重右衛門宛 弘化三年正月十五日

覚〔銀請取〕 新池村仙之助 岡山村甚兵衛宛 嘉永元年三月二十四日

覚〔代銀請取〕 岡山村麦売渡主武兵衛 甚兵衛宛 元治元年二月

覚〔銀受取〕 太泰村市郎兵衛 岡山村甚兵衛宛 子三月二六日

覚〔銀受取〕 高宮村庄屋耕五郎 岡山村御役人中宛 子七月九日

覚〔銀請取〕 太泰村市郎兵衛 岡山村甚兵衛宛 子十一月二七日 一通 三三

覚〔銀受取〕 岡山村伊兵衛 岡山村四平宛 子一月二七日 一通 三三

覚〔銀受取〕 村方 四平宛 丑二月九日 一通 七〇

覚〔銀受取〕 高宮村庄屋耕五郎 岡山村御役人中宛 寅二月 一通 一〇二

覚〔銀請取〕 岡山村 四平 高宮村平左衛門宛 卯正月一日 一通 一〇六

覚〔銀受取〕 下田原村半右衛門 岡山村甚兵衛宛 卯二月一日 一通 一〇〇

覚〔銀受取〕 高宮村庄屋耕五郎 岡山村御役人中宛 卯二月二三日 一通 一〇六

覚〔請取銀〕 丁金や市郎兵衛 岡山村組御役人中宛 巳四月二日 一通 八四

覚〔銀請取〕 伊勢屋甚兵衛代侍兵衛 高橋甚兵衛宛 午四月二七日 一通 九三

覚〔銀請取〕 鮎屋市兵衛 高橋御氏御旦那宛 午八月四日 一通 五九

覚〔銀受取〕 なら万 岡山村御役人中宛 午二月二日 一通 六五

覚〔請取銀之事〕 太泰村市兵衛 高橋甚兵衛宛 未三月七日 一通 七五

覚〔銀受取〕 亀屋要吉 高橋御旦那宛 未四月一日 一通 六六

覚〔銀受取〕 柳屋甚七 讃良郡岡山村御役人中宛 未四月 一通 三六

覚〔銀請取〕 七日	砂西村 岡山村甚兵衛宛	未九月	一通	六六
覚〔銀受取〕 未一〇月八日	砂西村宇右衛門 岡山村甚兵衛宛		一通	六八
覚〔銀受取〕 未一二月八日	砂西村宇右衛門 岡山村甚兵衛宛		一通	六三
覚〔銀受取〕 未一二月八日	砂東村五兵衛 岡山村甚兵衛宛		一通	六九
覚〔受取銀之事〕 未一二月九日	砂村九兵衛 高橋甚兵衛宛		一通	八五
覚〔銀請取〕 八日	西村宇右衛門 甚兵衛宛	申九月	一通	六五
覚〔銀請取〕 一月	西村宇右衛門 岡甚兵衛宛	申一	一通	六四
覚〔銀受取〕 申一二月四日	鍵屋六左衛門 砂岡三ヶ村宛	酉	一通	二〇二
覚〔銀受取〕 月	半左衛門 岡山村甚兵衛宛	申極	一通	六四
覚〔銀受取〕 西七月二日	なら村伊兵衛 東山下甚兵衛宛		一通	六三
覚〔代銀請取〕 亥一二月七日	なら村伊兵衛 東山下四平宛		一通	六六
覚〔代銀受取〕 日	いわき宗助 甚兵衛宛	二月六	一通	五三
覚〔受取銀之事〕 衛宛 三月四日	タキ慈眼寺納所 岡山村甚兵衛宛		一通	六六
覚〔銀受取〕	亀東 高橋御旦那宛	四月一五日	一通	六九

  

覚〔銀受取〕 一五日	弥右衛門 東山下甚兵衛宛	六月	一通	六三
覚〔銀請取〕 月八日	西宇右衛門 岡甚兵衛宛	一〇	一通	六五
覚〔銀受取〕 一月七日	砂東村五兵衛 岡山村甚兵衛宛		一通	六三
覚〔銀請取〕 一二月三日	砂西村善右衛門 岡山村甚兵衛宛		一通	二〇七
金請取				
覚〔金子請取〕 宛 嘉永六年一二月二五日	平池村余次兵衛 岡山村甚兵衛宛		一通	二〇二
覚〔金五兩三百廿五匁受取〕 兵衛宛 子一二月三日	馬喜市 岡山甚		一通	五五
覚〔金四拾兩受取〕 九月四日	岡山村村方 甚兵衛宛	寅	一通	四九
覚〔金貳拾兩請取〕 岡山村甚兵衛宛	平池村余治兵衛代安右衛門	午六月一四日	一通	六六
覚〔金三兩請取〕	砂村嘉助 岡山村甚兵衛宛		一通	六六
覚〔金子請取〕 村甚兵衛宛 申一〇月一日	砂東村預主柳原忠右衛門 岡山		一通	六五
覚〔金貳匁請取〕 亥三月一四日	桑嶋村甚兵衛 九右衛門宛		一通	六三
証〔金拾五匁受取〕 二五年五月二日	平野善兵衛 高橋甚八宛		一通	三四
覚〔金六十兩請取〕 民宛 六月	三井村萬祐 岡山村高橋御		一通	六四

錢請取

覚〔錢請取〕 佐輔 御旦那宛 正月八日	一通	四七
作徳銀受取		
覚〔作徳銀受取〕 平池村仙之助 岡山村甚兵衛・御印役人中宛 文政二年二月十六日	一通	三〇
覚〔作徳銀渡し〕 平池村仙之助 岡山村甚兵衛 天保六年二月	一通	二五
覚〔作徳米代銀受取〕 平池村仙之助 岡山村甚兵衛并御印役人中宛 天保七年二月二十八日	一通	七
覚〔作徳銀請取〕 平池村余次兵衛 岡山村甚兵衛并三印願人中宛 天保一〇年正月二十六日	一通	一七
覚〔元銀并作徳銀受取〕 平池村余次兵衛 北条村吉左衛門宛 天保一三年二月二十七日	一通	二六
覚〔作徳銀渡し〕 平池村余次兵衛 岡山村甚兵衛・御印役人中宛 天保一三年二月二十七日	一通	六
覚〔作徳銀受取〕 喜兵衛 高橋甚兵衛宛 寅正月七日	一通	六
越銀請取		
覚〔三ヶ村割越銀請取〕 砂東村七郎兵衛 岡山村庄屋甚兵衛宛 戌二月	一通	三
覚〔三ヶ村越銀請取〕 砂西村 岡山村宛 二月二七日	一通	六
油代請取		
覚〔燈油代勘定〕 夕キ 半左衛門 岡山 甚兵衛 宛 戌三月二三日	一通	六
覚〔油代銀受取〕 砂の屋源兵衛 市兵衛宛 戌八月一四日	一通	七

受取

元

覚〔油代金請取〕 夕キ 半左衛門 岡山 甚兵衛 宛 正月一六日	一通	三四
覚〔油代等受取〕 半左衛門 甚兵衛宛 三月六日	一通	四
覚〔油代金請取〕 夕キ 半左衛門 岡山 甚兵衛 宛 五月九日	一通	六
覚〔油代〕 夕キ 半左衛門 をか山 甚兵衛宛 九月一七日	一通	六
覚〔油代金請取〕 半左衛門 岡山村甚兵衛宛	一通	三
月割請取		
覚〔月割受取〕 岡山 伊兵衛 東 甚兵衛宛 申七月八日	一通	七
覚〔月割請取〕 岡村庄口 東山下甚兵衛宛 酉七月八日	一通	二
覚〔月割請取〕 星田村徳太郎宛 酉七月八日	一通	三
覚〔月割請取〕 砂西村 甚兵衛宛 亥七月	一通	一
酒代請取		
覚〔酒代請取〕 砂 酒ヤ安右衛門 岡 甚兵衛宛 申七月一五日	一通	七
覚〔酒代勘定〕 庄屋弥左衛門 東 甚兵衛宛 三月五日	一通	三
覚〔酒代受取〕 砂村安右衛門 東 甚兵衛宛 四月一日	一通	六
覚〔酒代受取〕 砂村安右衛門 東 甚兵衛宛 四月四日	一通	六

覚〔酒代受取〕 西村庄左衛門 岡山 甚兵衛宛  
八月二十五日 一通 三二

米請取

覚〔御米請取〕 部屋村問屋伊左衛門・庄五郎  
岡山村御庄屋九兵衛宛 天保五年二月二三日 一通 八三

覚〔御米百八石請取〕 部屋問屋伊左衛門 岡山  
村御庄屋甚兵衛宛 天保一四年二月一〇日 一通 五七

覚〔御米八拾三石五斗請取〕 部屋伊左衛門 岡  
山村御庄屋甚兵衛宛 天保一四年二月一三日 一通 五〇

覚〔御米六拾九石五斗請取〕 部屋油屋伊左衛門  
岡山村御庄屋甚兵衛宛 天保一四年二月一八日 一通 五七

覚〔御米請取〕 部屋村問屋伊左衛門 岡山村御  
庄屋甚兵衛宛 弘化二年二月朔日 一通 八五

覚〔御米五拾貳石請取〕 部屋村伊左衛門 岡山  
村御庄屋甚兵衛宛 弘化二年二月一四日 一通 六〇

証〔水車屋敷ノ納米受取〕 岡島利三郎 高橋甚  
八宛 明治四〇年二月二〇日 一通 二五

覚〔御米請取〕 大坂屋定次郎・仁和寺村百兵衛  
岡山村御役人中宛 巳一一月七日 一通 八五

覚〔御米請取〕 部屋村問屋伊左衛門 岡山村御  
庄屋甚兵衛宛 巳一一月二四日 一通 八五

覚〔御米受取〕 部屋村問屋伊左衛門 岡山村御  
庄屋甚兵衛宛 巳一一月二五日 一通 八五

覚〔御米請取〕 大坂屋定次郎・河内国北新田半  
左衛門 岡山村御役人中宛 巳一一月二九日 一通 八五

覚〔御米五斗請取〕 部問屋伊左衛門 岡山村御  
庄屋甚兵衛宛 午一〇月二九日 一通 六五

覚〔米代受取〕 庄屋善兵衛 岡山村庄屋九兵衛  
宛 未四月二二日 一通 四三

覚〔御米壹石五斗請取〕 甚兵衛 北藤兵衛宛  
申一一月二七日 一通 六六

覚〔六石西山下源七方入〕 酉一一月二六日 一通 七六

覚〔米請取〕 部屋村問屋庄五郎 岡山村庄屋甚  
兵衛宛 戌一一月二一日 一通 六三

覚〔米代受取〕 砂西村 岡山村甚兵衛宛 一一  
月九日 一通 六三

〔米請取覚〕 又七 一通 六三

米代金請取 〔米代受取之事〕 平池村余治兵衛 岡山村甚兵  
衛宛 嘉永五年正月四日 一通 二六

覚〔米代銀受取〕 米屋鉄次郎代重兵衛 おか山  
甚兵衛宛 慶応三年六月二日 一通 二七

覚〔米代受取〕 砂村庄左衛門 岡山 甚兵衛宛  
亥六月二〇日 一通 二六

覚〔米代金請取〕 砂村庄左衛門 岡山 甚兵衛宛  
三月一二日 一通 二六

覚〔米代受取〕 砂村庄左衛門 岡 甚兵衛宛 五  
月三日 一通 二九

〔米代受取〕 一通 六六

麦受取 一通 六六

覚〔麦五石受取〕 井六 吉右衛門宛 子七月四  
日 一通 三三

御改請取

覚〔御改請取〕 砂東村七郎兵衛 岡山 甚兵衛宛  
寅一二月二四日 一通 二〇三

村入用請取

覚〔村入用受取〕 西市兵衛 高橋甚兵衛宛 寅  
一二月二一日 一通 六三

覚〔入用銀受取〕 榎屋市次郎 岡山村御役人中  
宛 戌一二月二六日 一通 二四六

その他請取

覚〔銀子貰受〕 岡山村庄右衛門・世話人久兵衛  
岡山村甚兵衛宛 寛政四年七月七日 一通 六三

覚〔養生銀受取〕 砂西村小兵衛 岡山村甚兵衛  
宛 文化七年七月二九日 一通 六九

覚〔実綿代銀請取〕 岡山村武兵衛 岡山村四平  
宛 安政五年六月一日 一通 二〇六

覚〔引請銀受取〕 岡山 吉左衛門 岡山村甚兵衛  
宛 安政七年三月一〇日 一通 六二

覚〔入用銀請取〕 泉屋五兵衛 岡山村御役人中  
宛 寅一二月 一通 二七

覚〔運び代受取〕 郡屋伊左衛門 岡山車屋甚兵  
衛宛 辰年五月 一冊 二〇六

覚〔普請銀受取〕 四兵衛 岡山村甚兵衛宛 巳  
一二月 一通 八二

しまの太夫上ヶ〔受取〕 午四月 一通 四三

覚〔越銀請取〕 砂西村庄屋善右衛門 岡山村庄  
屋甚兵衛宛 午一二月二九日 一通 六八

受取

覚〔手間賃受取〕 砂吉 高橋甚兵衛宛 午一二  
月 一通 六八

覚〔運上銀受取〕 柳屋甚七 高橋甚兵衛宛 未  
四月一四日 一通 三七

覚〔田賃受取〕 山口又次郎 岡山村高橋甚兵衛  
宛 未一二月七日 一通 三三

覚〔飲食代受取〕 大権 岡山村甚兵衛宛 未一  
二月 一通 六六

覚〔くわ代受取〕 高宮かじや作与蔵 岡山 甚兵  
衛宛 申九月一六日 一通 七三

覚〔半紙代受取〕 池田屋太七 松屋弥兵衛宛  
酉正月一日 一通 三三

覚〔金物代受取〕 砂次左衛門 岡山村甚兵衛宛  
酉二月二三日 一通 三三

覚〔樂代銀子請取〕 郡村利助 岡山村甚兵衛宛  
三月二四日 一通 六六

覚〔すみ代受取〕 萬屋請兵衛 岡山村甚兵衛宛  
十一月二日 一通 六六

覚〔殿様方請取銀〕 萬屋請兵衛 岡山村甚兵衛宛  
十一月二日 一通 六六

覚〔かす四十玉受取〕 萬屋請兵衛 岡山村甚兵衛宛  
十一月二日 一通 七二

覚〔請取〕 余次兵衛 岡山村甚兵衛御役人中  
宛 天保一年一二月二八日 一通 三七

覚〔請取〕 米屋鉄次郎代重兵衛 岡山村甚兵衛  
宛 慶応三年一月三日 一通 七

証〔請取〕 原愛 高橋甚八宛 明治五年一〇月  
三二日 一通 二〇六

覚〔受取〕 三日	平池村安右衛門	四平宛	子正月二	一通	五二
覚〔請取〕 辰二月六日	高宮村庄屋耕五郎	岡山村御役人中		一通	二〇六
覚〔請取〕 巳正月七日	下田原村半左衛門	岡山甚兵衛宛		一通	六四
覚〔受取〕 九日	岡山村吉屋	甚兵衛宛	午十一月二	一通	三三
覚〔請取〕 午極月	京都三条通亀屋東吉	高橋御旦那宛		一冊	六六
覚〔受取〕 日	西市兵衛	東甚兵衛宛	未極月晦	一通	四二
覚〔受取〕	なら宗衛門	甚兵衛宛	未極月	一通	六四
覚〔受取〕	ハダ五衛門	岡山甚兵衛宛	申七月	一通	六九
覚〔請取〕 七月九日	とりや善左衛門	岡山甚兵衛宛	酉	一通	三三
覚〔受取〕 月一三日	甚郎兵衛	岡山村甚兵衛宛	酉一一	一通	元
覚〔受取〕 月一五日	天満屋與五郎	高橋甚兵衛宛	戌三	一通	四三
覚〔受取〕 一月二〇日	太森村与兵衛	岡山甚兵衛宛	戌一	一通	六二
覚〔受取〕 戌二月	なら村宗右衛門	東山下甚兵衛宛		一通	三
覚〔受取〕	砂西村	甚兵衛宛	亥九月八日	一通	四二
覚〔受取〕	砂西村	甚兵衛宛	亥一〇月一三日	一通	四三

覚〔受取〕	砂西村	甚兵衛宛	亥十一月一三日	一通	四四
覚〔請取〕	砂西村	甚兵衛宛	亥二月	一通	四六
覚〔受取〕	綿屋武助	四兵衛宛	正月二五日	一通	五八
覚〔受取〕	砂源兵衛	岡山甚兵衛宛	二月四	一通	三〇
覚〔請取〕 二日	砂村九兵衛	岡山甚兵衛宛	三月二	一通	九
覚〔受取〕 九日	さかい弥市	高橋甚兵衛宛	三月二	一通	二〇六
覚〔受取〕 日	加免金	岡山村甚兵衛宛	四月一四	一通	五〇
覚〔請取〕 五日	岡山好左衛門	東甚兵衛宛	七月	一通	六三
覚〔受取〕 九月一日	砂西村宇右衛門	岡山村甚兵衛宛		一通	七四
覚〔受取〕 一〇月一八日	かめ屋□□□	岡山村仁左衛門宛		一通	五七
覚〔受取〕	東村甚兵衛宛	一一月五日		一通	六五
覚〔受取〕	よろずや清兵衛	一一月二〇日		一通	六八
覚〔受取〕	高宮村	岡山村宛		一通	四〇
おぼへ〔受取〕	伊之吉	半左衛門宛		一通	八四

金 銀 帳

算 用



金銀帳 享保一四年正月	一冊	二三
〔金額書上ケ〕 辰十一月	一冊	二三〇
覚〔錢銀之事〕 鶴右衛門 甚兵衛宛 一二月二五日	一通	二三二
〔金額書上〕 和三郎宛	一通	三三
〔金錢書上〕	一冊	三七
書出し		
書出し 伊八 高はし甚兵衛宛 子一二月	一通	六六
書出し 丁甚 東甚兵衛宛 子極月	一通	二三三
書出し かじ治 東甚兵衛宛 寅七月	一通	二六三
覚〔書出し〕 村方 南平左衛門宛 午一二月二七日	一通	三六
〔書出し〕 長左衛門 東甚兵衛宛 午極月	一通	四二
書出し 市郎右衛門 村方宛 午一二月	一通	五八
覚〔書出し〕 武兵衛 岡山村方宛 午極月	一通	五九
覚〔書出し〕 トユ 佐右衛門 岡山村御役人中宛 午極月	一通	五九
書出し 東治右衛門 氏子世わ人宛 午一二月	一通	五五
書出し 岡屋九衛門 東甚兵衛宛 午一二月	一通	五八
〔書出し〕 伊左衛門 高橋甚兵衛宛 午一二月	一通	六五
書出し 中の村四郎兵衛 岡山村御村方宛 午一二月	一通	六八

受取・算用

三

書出し 砂幸介 岡山甚兵衛宛 未極月六日	一通	四三
書出し 東とゆ 宗衛門 東山下甚兵衛宛 未極月	一通	四〇
覚〔書出し〕 榎屋林兵衛 岡山村御役人中宛 未一二月	一通	二〇〇
覚〔書出し〕 榎屋林兵衛 岡山村御役人中宛 申二月	一通	二〇七
書出し 砂幸介 岡山甚兵衛様内女中宛 申七月	一通	四九
書出し 宗衛門 東山下甚兵衛宛 申七月	一通	四八
〔書出し〕 砂富屋諸兵衛 岡山村甚兵衛宛 申一二月五日	一通	六七
書出し 志とみ屋村伊左衛門 岡山村甚兵衛宛 申一二月二三日	一通	二五
書出し 高宮かじや 岡山甚兵衛宛 申極月	一通	六九
書出し タキ 半左衛門 岡山村甚兵衛宛 申二月	一通	六五
書出し 北条 吉左衛門・藤井庄 岡山甚兵衛宛 酉七月八日	一通	三三
書出し 志とみや村伊左衛門 岡山村甚兵衛宛 酉七月一〇日	一通	二六
書出し しとみ屋仲衛門 岡山村甚兵衛宛 酉七月一日	一通	四〇
〔書出し〕 砂野屋武兵衛 岡山村東甚兵衛宛 酉七月	一通	三二
書出し 儀平 東山下甚兵衛宛 戌三月末日	一通	三

〔書出し〕 油 清兵衛 岡山村甚兵衛宛 戊七月一〇日	一通	四六
書出し 部屋 仲衛門 岡山村甚兵衛宛 戊二月二〇日	一通	四四
書出し とゆ 車武 岡山 甚兵衛宛 戊二月	一通	八四
書出し 砂 庄や茂兵衛 岡山東甚兵衛宛 戊二月	一通	六五
〔書出し〕 砂 庄左衛門 亥六月二〇日	一通	三七
覚〔書出し〕 塚 亥二月二五日	一通	七四
書出し 孫右衛門 岡山村方宛 十一月二七日	一通	七三
覚〔書出し〕 三井□□□ 八百屋清兵衛宛 二月九日	一通	七五
覚〔書出し〕 東 甚兵衛 東山下喜左衛門宛 二月一九日	一通	三九
書出し 伊四郎 岡山村御庄屋甚兵衛宛	一通	六四
書出し 坪井藤兵衛 東山下甚兵衛宛	一通	六五
〔書出し〕	一通	五三
覚〔書出し〕 中野村庄兵衛 高橋甚兵衛宛 三月二一日	一通	七三
書出し 吉兵衛 甚兵衛宛 極月	一通	二四
書出し 丁勘治郎 甚兵衛様御内宛 一二月	一通	八六
書出し 部屋 仲衛門 岡山 甚兵衛宛 七月	一通	四六

勘 定 書

覚〔勘定書〕 部屋村又右衛門 高橋甚兵衛宛 明治二年一〇月	一通	七五
覚〔勘定書〕 酒や与左衛門 高橋甚兵衛宛 子二月一五日	一通	七三
覚〔勘定書〕 なら村九兵衛 東山下甚兵衛宛 丑年一二月	一通	六
覚〔勘定書〕 大坂屋蔵七 甚兵衛宛 寅一〇月	一通	六六
覚〔勘定之事〕 高宮村庄屋耕五郎 岡山村御庄屋甚兵衛宛 卯正月一〇日	一通	六五
覚〔勘定書〕 ひのや喜太郎 砂村・岡山村庄屋甚兵衛宛 巳三月	一通	六三
覚〔勘定書〕 ひの屋喜太郎 砂村・岡山村庄屋甚兵衛宛 巳四月一六日	一通	六三
覚〔勘定書〕 源兵衛 岡山 甚兵衛宛 巳九月一四日	一通	八六
覚〔勘定書〕 部屋 又兵衛 高はし甚兵衛宛 巳十一月二日	一通	六四
覚〔勘定書〕 源兵衛 甚兵衛宛 午正月四日	一通	五九
おぼへ〔勘定書〕 東 弥右衛門 御村方宛 午二月	一通	三三
覚〔勘定書〕 トユ 糺弥 ヲカ 甚兵衛宛 午二月	一通	六六
覚〔勘定書〕 にし 九右衛門 御村方宛 午一二月	一通	五七
覚〔勘定書〕 半左衛門 岡山 甚兵衛宛 未二月二二日	一通	四六

覚(勘定書) 宛 未三月	日野屋喜兵衛 岡山村庄屋甚兵衛	一通	三三
覚(勘定書) 未三月	日野屋喜太郎 岡山村甚兵衛宛	一通	三四
覚(勘定書) 三日	日の屋喜太郎 岡山村宛 未六月	一通	三五
覚(勘定書) 未六月三日	日の屋喜太郎 岡山村甚兵衛宛	一通	三六
覚(勘定書)	申三月	一通	三七
覚(勘定書)	西山下市兵衛 申四月四日	一通	三八
覚(勘定書)	角弥 御村方宛 申四月二四日	一通	三九
覚(勘定書)	天満屋與五郎 戌三月二二日	一通	四〇
覚(勘定書) 二日	吉次郎 岡山甚兵衛宛 戌五月二	一通	四一
覚(勘定書) 戌極月一九日	□や伊左衛門 岡山村甚兵衛宛	一通	四二
覚(勘定書)	丁請助 丁甚兵衛宛 戌一二月	一通	四三
覚(勘定書) 亥極月	とん田や清兵衛 高橋甚兵衛宛	一通	四四
覚(勘定書) 〇日	中の村 岡山甚兵衛宛 □一月二	一通	四五
覚(勘定書)	布善 岡山甚兵衛宛 正月二八日	一通	四六
覚(勘定書) 日	米三 岡山村御役人宛 三月一六	一通	四七
覚(勘定書)	九兵衛 甚兵衛宛 三月一九日	一通	四八
覚(勘定書)	なら村九兵衛 東山下甚兵衛宛 五月八日	一通	四九
覚(勘定書) 上宛 九月一四日	大坂松屋町通本町書入綿屋儀兵衛	一通	五〇
覚(勘定書)	大坂北升屋 高橋甚平宛 九月	一通	五一
覚(勘定書)	小升屋 岡山村高橋甚兵衛宛 九	一通	五二
覚(勘定書) 〇月二八日	池東村作兵衛 岡山甚兵衛宛 一	一通	五三
覚(勘定書) 一二月九日	砂西村儀右衛門 岡山東甚兵衛宛	一通	五四
覚(勘定書) 一月二五日	越儀右衛門 岡山甚兵衛宛 一	一通	五五
覚(勘定書)	孫兵衛 上宛 一二月六日	一通	五六
覚(勘定書) 衛宛 一二月二四日	砂西村善右衛門 岡山村高橋甚兵	一通	五七
覚(勘定書) 五日	大坂屋蔵七 甚兵衛宛 一二月二	一通	五八
覚(勘定書)	庄左衛門 甚兵衛宛 一二月二八	一通	五九
覚(勘定書)	十右衛門 甚兵衛宛 一二月	一通	六〇
覚(勘定書)	岡東甚兵衛宛 一二月	一通	六一
覚(勘定書)	とゆいしや源左衛門 岡山村甚兵	一通	六二
覚(勘定書)	おぼえ(勘定書) とふや源右衛門 村方宛	一通	六三



口上〔帳面改願上ケ〕 伊兵衛 高四平宛 五月 一通 六三

覚〔算用帳〕 七月 一通 五九

覚〔差引勘定之事〕 南杜耕五郎 高橋甚兵衛宛 一通 一〇〇  
一月六日

〔飯代勘定〕 河内国讃良郡岡山村甚兵衛宛 一冊 二四三

覚〔勘定改御入手〕 砂村九兵衛 岡山 甚兵衛宛 一通 四四

〔銀四拾七枚〕 岡山村甚兵衛 一通 四四

覚〔年々勘定控〕 一通 五七

覚〔米勘定〕 庄屋甚七 岡山 甚兵衛宛 一通 一〇七

午付出し控帳 向ヶ浜丸山 一冊 二八八

覚〔差引覚之事〕 松弥 高橋甚兵衛宛 一冊 一七五

覚〔算用覚〕 作兵衛 岡山 和三郎宛 已正月二 一通 五

一日 南杜耕五郎 高橋甚兵衛宛 已 一通 五七

覚〔勘定相済〕 七月六日 一通 五七

覚〔勘定違い改〕 甚兵衛 定右衛門宛 申二月 一通 四九

三日 安兵衛 岡山村甚兵衛宛 戊三 一通 七〇

覚〔酒代勘定〕 月二五日 一通 七〇

覚〔戻し銀〕 岡山 甚兵衛 砂東村利七衛門宛 一通 七五

戊五月二四日 大枝村権右衛門 岡山村御役 一通 七五

覚〔飲食代勘定〕 人中宛 亥一二月 一通 七五

諸帳簿・支払

威鉄砲御改帳

威鉄砲御改帳 河州讃良郡岡山村預り主高橋孫兵 一冊 五五  
衛・庄屋甚兵衛・他二名 大津御役所宛 弘化三年 三月

村 割

覚〔村割〕 岡山村控 一通 七

〔村割〕 岡山村控 一通 四四

覚〔村割〕 一通 五〇

覚〔郡中割〕 一通 五七

覚〔村割〕 一通 六七

〔村方割〕 村方 一通 六八

〔村割〕 村 一通 二五

村 控

諸控〔六番組村次里程調他〕 六番組岡山村高橋 一冊 三三  
明治〔七〕年九月

村ひかへ 申四月二六日 一通 一六二

〔村控〕 讃良郡岡山村戸長高橋與五郎 一冊 三六

〔控〕 甚兵衛 三通 六六

村諸入用勘定

覚〔村諸入用勘定〕 高宮村 岡山村宛 卯五月 一通 一〇三

覚〔諸入用勘定〕

一通 四七

〔諸入用勘定帳〕

一冊 二〇七

村 諸 入 用

申ノ年岡山村諸入用帳 庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他四名 天明八年二月二日

一冊 元

年中諸入用附近控帳 高橋甚八 明治八年八月

一冊 三

覚〔諸入用之事〕 太秦村年寄市郎兵衛 岡山村御庄屋甚兵衛宛 丑六月

一通 七六

覚〔丑年村諸入用割之件〕 中野村庄屋三嶋庄兵衛 岡山村庄屋高橋甚兵衛宛 寅二月二六日

一通 一〇九

〔諸入用之事〕 西市兵衛 東山下甚兵衛宛 寅七月

一通 二六五

〔諸入用覚〕 砂金善 御村方宛 寅七月

一冊 二三四

覚〔諸入用〕 丁金や市郎兵衛 岡山村御役人中宛 巳三月

一通 八三

覚〔諸入用之事〕 いづみ屋源右衛門 綿屋佐右衛門宛 未二月

一通 二七六

覚〔諸入用之事〕 光誓寺 高橋宛 戌極月

一通 二六

覚〔村入用〕 岡村方 東甚兵衛宛 正月七日

一通 六

〔諸事入用〕 正月二〇日

一通 五〇

覚〔入用帳之事〕 甚兵衛・伊兵衛 高橋四平宛 二月七日

一通 一〇六

記〔諸入用之事〕 伊せや 高橋宛 四月一日

一通 四四

口演〔諸入用之事〕 庄屋伊兵衛 甚兵衛宛 七月一日

一通 五八

覚〔諸入用之事〕 武兵衛 高はしちく宛 一〇月三日

一通 三三

〔諸事入用之事〕 弥治郎

一通 三二

覚〔諸入用之事〕

一通 五九

〔入用覚〕 甚八

一通 五八

覚〔諸入用之事〕

一通 五九

〔諸入用之事〕

一通 六九

覚〔諸入用之事〕 岡山村・砂西村

一通 八六

覚〔諸入用之事〕 とんぼ池岡山庄兵衛 岡山村方宛

一通 八五

覚〔諸事入用〕

一通 八五二

覚〔諸事入用〕 御上宛

一通 八五五

〔納諸入用之事〕 岡山村

一通 九七

覚〔村入用覚〕

一通 四九

〔諸入用覚〕

一冊 二二六

〔諸入用金之覚〕 村々

一綴 二四七

小 入 用 帳

巳ノ年岡山村諸入用帳 庄屋・年寄・他一名 天明五年二月二九日

一冊 三七

未年諸事小入用帳 河州讀良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他七十一名 谷町御役所宛 天明八年三月	一冊	六
当年半年小入用帳 河州讀良郡岡山村百姓代四平・同断徳兵衛・他十九名 堺県御出張御役所宛 明治三年七月	一冊	三三
申歳小入用帳 河内国第三区讀良郡岡山村高橋茂四郎・桜井宗平・他二十名 堺県令税所篤篤 明治六年五月	一冊	三三
銀渡し		
覚〔銀御渡し依頼〕 天満屋與五 <sup>(株)</sup> 岡山村甚兵衛宛 子二月	一通	三六
覚〔銀渡し〕 西山下市兵衛 東山下甚兵衛・北山下吉左衛門宛 寅二月一日	一通	七四
覚〔銀渡し〕 佐兵衛 岡山源之助宛 辰一月二〇日	一通	二〇七
覚〔銀渡し〕 鍵屋六左衛門 岡山村宛 酉正月二十九日	一通	二〇九
覚〔銀渡し〕 岡山村 東山下四兵衛宛 酉七月一五〔日〕	一通	二〇〇
おほへ〔銀渡し〕 西米源 東甚兵衛宛 三月二十五日	一通	五三
覚〔銀渡し〕 伊兵衛 和三郎宛 三月二十七日	一通	二〇五
覚〔銀渡し〕 砂西村 甚兵衛宛 四月朔日	一通	九〇
覚〔銀渡し〕 なら村九兵衛宛 六月一日	一通	七四
覚〔銀渡し〕 砂西村 甚兵衛・喜兵衛宛 六月朔日	一通	六三

覚〔銀渡し〕 高宮村南杜耕五郎 岡山村高橋甚兵衛宛 七月八日	一通	二〇八
覚〔銀渡し〕 丁秀蔵 東山下四平宛 七月二〇日	一通	七二
覚〔割銀渡し〕 十一月二日	一通	一七四
小路村渡シ銀	一通	四二
〔銀子御渡し之事〕 大阪西御番所亀金 岡山村御役人中宛	一通	七六
〔銀子御渡し之事〕 大阪西御番所亀金 岡山村御役人中宛	一通	七六
覚〔銀渡し〕	一通	八三
金渡し		
覚〔金貳兩払渡し〕 北谷庄衛門 高橋甚兵衛宛 辰八月	一通	六六
覚〔金子渡し之事〕 沈二 岡山甚兵衛宛 未二月二十五日	一通	四三
おほへ〔金子渡し之事〕 村方並甚兵衛 治郎左衛門宛 七月二二日	一通	二五
人足賃		
石出し日雇人足控帳 高橋甚兵衛 天保一二年正月	一冊	一
日雇人足帳 高橋甚兵衛 天保一三年正月	一冊	三
繋谷日雇帳 岡山村高橋甚兵衛 嘉永三年正月	一冊	二
萬入用并人足帳 第三区岡山村高橋甚八郎 明治六年五月	一冊	三

日雇人足帳	明治二五年一月	一冊	二三
覚〔人足賃〕	ハレ屋惣七 岡山村御庄屋・年寄 中宛 巳極月二四日	一冊	二六
覚〔村人足〕	勇之助 御村方宛 九月	一通	五
〔人足賃〕	甚兵衛・市兵衛	一通	一六二
〔人足入用〕		一通	一六三
覚〔人足覚〕		一通	五五
覚〔人足賃〕		一通	二〇三
〔人足賃〕		一冊	二九
米 代			
飯手控	岡山村 天保一〇年九月二八日	一冊	二三
覚〔米代手形払い〕	東 甚兵衛 坪井村仲兵衛宛 嘉永三年二月二〇日	一通	六六
御飯米書出し覚	樋屋林兵衛 岡山村御役人中宛 未七月	一通	五〇
覚〔米代〕	トユ 米利 岡山 高橋甚兵衛宛 酉 一二月四日	一通	五五
御飯代書出し覚	樋屋林兵衛 岡山村御役人中宛 戌一二月	一通	六六
覚〔中飯代〕	砂 卯藏 岡山村甚兵衛宛	一通	三五
出口御端諸入用			
覚〔出口御端諸入用〕	出口御端せわ方 岡山村 甚兵衛宛 子三月二五日	一通	六六

覚〔出口御端諸入用〕	出口御端せ話方 北條村 吉次衛門宛 子三月二五日	一通	六三
覚〔出口御端諸入用〕	御端せ話方 岡山 五兵衛 宛 子三月二七日	一通	六二
米 渡し			
覚〔米三石坪井仁左衛門御渡し〕	砂村庄左衛門 岡山 甚兵衛宛 酉十一月一日	一通	七四
口上〔米御渡し〕	高宮 吉右衛門 岡山村甚兵衛 宛 五月二四日	一通	六六
口上〔米二石渡し〕	高宮 太右衛門 岡山村甚兵 衛宛 五月二五日	一通	三七
〔米渡し之事〕	西山下利右衛門	一通	七三
材 木 代			
覚〔材木代勘定〕	瓦町屋大平 岡山 甚兵衛宛 巳九月一四日	一通	六三
覚〔板代〕	にし 九衛門 村方宛 午二月二四 日	一通	六
覚〔竹代〕	東平兵衛 八月二四日	一通	五五
覚〔竹代〕	東 佐右衛門 九月一六日	一通	五五
覚〔板代諸取〕	柊町武兵衛 岡山村甚兵衛宛 一二月一九日	一通	六二
覚〔材木代〕	南平左衛門 御村方宛 一二月一 七日	一通	五五
覚〔杉板渡し依頼〕	甚兵衛 高宮柴屋新兵衛宛 嘉永七年二月二日	一通	一〇三



その他費用

年中諸事覚帳 甚兵衛 文化一〇年正月	一冊	八
覚〔仕入用〕 間屋全三郎 岡山村御役人中宛 天保六年四月二二日	一通	四〇
覚〔金物代受取〕 平池村余次兵衛 岡山村甚兵衛・御印願人中宛 天保一〇年二月二八日	一通	一八
燈油村エ関スル事件入費帳 岡山村総代中 明治一〇年二月	一冊	二三
覚〔諸費用払済覚〕 砂東村五兵衛 子ノ正月一四日	一通	二五
覚〔給銀渡し覚〕 米屋重兵衛 四郎兵衛宛 已 一二月一六日	一通	五二
覚〔仕立賃〕 柳屋甚七 高橋宛 未正月	一通	八四
覚〔仕出し勘定〕 あら武 岡山村御且郡衆中宛 未二月	一通	四六
覚〔支払い〕 なら村宗衛門 東山下甚兵衛宛 酉七月	一通	三〇
覚〔薪炭勘定〕 甚兵衛 光誓寺宛 戌一二月三〇日	一通	四九
覚〔疊代〕 大阪北久太郎町三丁目疊表所大和屋松兵衛 甚兵衛宛 正月二八日	一通	五五
覚〔立替覚〕 且那中 甚兵衛宛 三月一五日	一通	一七二
覚〔仕出し代銀〕 あら武 岡山村御且郡衆中宛 一二月二日	一通	四四
口上〔反物についての問い合わせ〕 太郎 高橋宛 二二日	一通	四九

〔竹のこ代〕 甚兵衛

覚〔買物之事〕	一通	五二
覚〔諸代金之事〕	一通	五七
□番賃 北山下	一通	五五
村方江ノ日当并買物払附出し	一冊	二八四

質

質物証文

年□□当証書 河内国讃良郡岡山村地所書入主高橋甚八・同村受入高橋栞太郎 河内国茨田郡平池村平池界一宛 明治一四年九月二五日	一冊	四三
田地質物証文之事 岡山村田地絵図主甚兵衛・同村請人和三郎 星田村猪太郎宛	一通	八三
田地質物証文之事 岡山村田地質物主甚兵衛・同村請人吉左衛門 星田村猪太郎宛	一通	一〇九
差入申証文 差入申証文之事 銀子借用主和州大安寺村相続人酒井吉兵衛・連印同州南部□□町家兄重屋小兵衛 河州讃良郡岡山村高橋甚兵衛宛 文政七年一二月	一通	一〇〇
差入申証文之事 和州添上郡大安寺村銀子借用主吉兵衛跡伴宇兵衛・同請人上村平右衛門 河州讃良郡岡山村甚兵衛宛 文政一〇年一二月	一通	一〇五
差入申証文之事 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村預り證文員金平井長三郎・同国同大区同郡岡山村受取人林利三郎 河内国第三大区二小区讃良郡中野村岡島利平宛 明治二二年一月	一冊	一一〇

差入申別紙証文之事 河内国第三大区二小区讚良郡岡山村田地書入主高橋甚八・同村受人高橋与五郎 同国同大区三小区交野郡打上村伊藤民三郎宛 明治一三年二月二十五日 一通 三九三

質物借入申畑之事 砂質流主半兵衛 岡東山下吉左衛門宛 一通 三九

質物流

質物田地流 岡山流主五左衛門 岡山方山下九郎兵衛宛 未一月 一通 三〇

地所売買ニ付券狀書換願 河内国讚良郡岡山村売渡人高橋甚八・同郡中野村買受人岡嶋利三郎 大坂府知事建野郷三宛 一冊 三〇

書入質

譲り渡申山林証文之事 岡山村山林譲り渡主甚兵衛・同村請人政右衛門・他三名 岡山村浅右衛門宛 元治元年三月 一通 三三

覚(山林譲り戻し代銀受取) 吉左衛門 東甚兵衛宛 慶応元年一〇月二八日 一通 三七

書入質 堺県官轄河内国第三大区二小区六番組岡山村建物主小島源四郎・宅地主高橋甚八 同区五番組中野村岡島利平宛 明治九年六月二〇日 一通 三七

書入質 堺縣下河内国第三大区二小区讚良郡岡山村九十一番建物書入主林利三郎・同村受人林辰次郎・他一名 第三大区三小区交野郡星田村森田新栄門宛 明治一二年六月三日 一通 三〇

書入質 堺縣下河内国第三大区二小区讚良郡岡山村九十一番建物書入主林利三郎・同村受人林辰次郎・他一名 第三大区三小区交野郡星田村森田新栄門宛 明治一二年六月三日 一通 三〇

田畑宅地敷池山林書入証文之事 河内国讚良郡岡山村金子借用主高橋甚八・同村受人高橋耕太郎 河内国讚良郡中野村岡嶋利三郎宛 明治一四年一二月 一通 三九

田畑山林譲り與印帳 (高橋) 酉正月 一通 三三

引当証文

建家書入曳当証文之事 河内国讚良郡岡山村第百九番地建家書入主高橋耕太郎・同郡受人高橋茂三郎 岡山村高橋久次郎宛 明治一四年一月一四日 一冊 三六

地所書入抵当証文

地所書入引当証文之事 河内国第三大区二小区讚良郡岡山村書入主高橋甚八・同村受人上村弥三松 同大区三小区打上村伊藤民三郎宛 明治一三年二月二四日 一冊 三九

田地築地書入抵当証文之事 (明治一五年) 一冊 二二

地所書入抵当証文之事 河内国讚良郡岡山村地所書入主高橋甚八・同村受人上村八十松 河内国交野郡打上村伊藤民三郎宛 明治一七年一二月 一冊 四九

地所書入抵当証文之事 河内国讚良郡岡山村地所書入主高橋甚八・同村受人上村八十松 讚良郡部屋村山口又造宛 明治一八年五月 一冊 三六

畑宅地書入証文之事 河内国讚良郡甲可村大字岡山金子借用主高橋甚八・同村受人高橋和(五郎) 讚良郡甲可村大字中野植村藤三郎宛 明治二三年一二月二五日 一冊 四六

譲り渡シ田地証文

譲渡シ田地証文之事 岡山村譲り主甚兵衛・弥左衛門・他三名 庄左衛門宛 寛政三(年)一二月 一通 七三

譲り渡申田地証文之事 岡山村譲り渡し主玄五郎・同村請人四平 岡山村浅右衛門宛 安政二年正月

一通 八宛

譲り渡田地之写 和三郎 茂兵衛宛

一通 五八

### 売渡証券

地所売買二付地券御証印願 讃良郡岡山村売渡人高橋甚八・同郡中野村買受人岡嶋利三郎 郡長逆

一冊 四六

璽胤常宛 明治一六年三月

田地売渡証券 大坂府讃良郡甲可村大字岡山第七番屋敷売渡人山口伊平・同郡同村同字第三十五番屋敷保証人高橋和五郎 讃良郡甲可村大字岡山高橋甚八宛 明治二七年三月五日

一冊 四三

建家売渡証券 甲可村大字岡山建家売渡主高橋幸三郎代人高橋甚八・同字保証人上村辰吉 讃良郡甲可村大字岡山林利三郎宛 明治三三年一〇月二二日

一冊 五九

引合覚〔立木売渡之事〕 向寄惣代取締磯右衛門 打上村御役人中宛

一通 七五

覚〔質物帳切料〕

一通 一〇〇

### 譲り請

譲り請申一札之事 岡山村庄左衛門 岡山村甚兵衛宛 寛政三年一二月

一通 七三

### 月賦金

月賦金確認 河内国讃良郡住道村大字三箇借用主桂森喜造・同国同郡甲可村大字岡山引受保証人高橋甚八 豊嶋駒吉宛 明治二六年二月

一冊 五三

## 土地

### 土地

#### 地券等

奉願地券之事 河内国第三大区二小区六番組岡山村持主高橋桃太郎・買請人喜多徳平・他二名 堺県令税所篤宛 明治八年一月二六日

一冊 四六

確証書 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村育水山田育水掛り高橋久次郎・山口勘次郎・他五十六名 岡山村村川市次郎・高橋寿左衛門・他二名宛 明治一〇年四月一三日

一冊 四〇

地所組替及反別違更正当之儀御願 地主土井九郎平・立会隣地主小林幸三郎・他三名 堺県令税所篤宛 明治一二年五月一五日

一冊 四三

附籍券御届 戸長高橋甚八・伍長小嶋浅五郎 第三連合戸長宛 明治一四年三月四日

一通 四三

附籍入籍券御届 兵庫県下播磨国掛西郡原村第九拾八番屋敷住借地父佐平七三男池田高治郎・池田平蔵 揖西郡第七戸長上田重次代理用掛り山本三四二宛 一月二五日

一通 二五

証文類手本 高橋弥五郎

一冊 五七

地籍編製下調二付為取換條約書

一冊 二五

## 村

### 書簡

〔書簡〕 申七月	一通	二五	〔書簡〕 市兵衛・善右衛門 砂岡三ヶ村御役人中宛 四月	一通	八三
〔書簡〕 近江屋宗八 角堂問屋三四郎・岡山車甚兵衛宛 正月五日	一通	八六	〔書簡〕 土井信七 高橋御氏宛 五月一四日	一通	二〇三
〔書簡〕 寿三郎 高橋甚兵衛・向前兵五郎宛 正月七日	一通	四三	〔書簡〕 木村屋卯兵衛 田村庄左衛門宛 五月	一通	二〇九
〔書簡〕 明通寺 岡山東山下高橋甚兵衛宛 正月九日	一通	二〇四	〔書簡〕 中野村角庄蔵 岡山村高橋四兵衛宛 林鑑一〇日	一通	五三
〔書簡〕 加地友三郎・同苗九左衛門 高橋甚兵衛宛 正月二五日	一通	五九	〔書簡〕 米屋重兵衛 高橋甚兵衛宛 六月一七日	一通	八
〔書簡〕 松右衛門 甚兵衛宛 正月二五日	一通	四	〔書簡〕 松岡伊六 甚兵衛宛 六月	一通	三三
〔書簡〕 米十兵衛 高橋甚兵衛宛 二月二〇日	一通	二〇六	〔書簡〕 中川倅六助 松屋三良兵衛宛 七月六日	一通	八五
〔書簡〕 門要人祐 高橋四兵衛宛 二月二四日	一通	三九	〔書簡〕 加地儀三郎 高甚兵衛宛 七月一日	一通	四四
〔書簡〕 伊兵衛 甚兵衛宛 二月三〇日	一通	七五	〔書簡〕 津国 藤七 高橋甚兵衛・同四平 七月一六日	一通	六六
〔書簡〕 荒江浄 高橋大人宛 三月九日	一通	二九	〔書簡〕 津国や藤七 高橋甚兵衛・同四平 七月一六日	一通	二〇四
〔書簡〕 山本長兵衛 高橋甚兵衛宛 四月二日	一通	二六	〔書簡〕 身請主向隠居 高橋角宝宛 七月二〇日	一通	八三
〔書簡〕 親譽 四兵衛宛 四月六日	一通	七四	〔書簡〕 岡山村庄屋甚兵衛宛 八月二九日	一通	九三
〔書簡〕 横井儀之進・相得堂蔵 岡山村庄屋甚兵衛宛 四月二二日	一通	二九	〔書簡〕 弥吉 高橋甚兵衛宛 九月四日	一通	八三
〔書簡〕 箕輪村吉左衛門 砂岡村御役人衆宛 四月二五日	一通	三〇	〔書簡〕 大坂屋喜右衛門 岡山村甚兵衛宛 九月六日	一通	八七
〔書簡〕 しの屋太左衛門 岡山村高橋甚兵衛宛 四月二五日	一通	八六	口上〔書簡〕 砂村嘉介 岡山東山下高橋甚兵衛宛 九月八日	一通	三〇
〔書簡〕 新太郎 甚兵衛宛 四月	一通	四四	〔書簡〕 角庄蔵 高橋四平宛 九月	一通	五五
〔書簡〕 中川 高橋氏宛 四月	一通	四〇			

〔書簡〕 角庄藏 高橋四平宛 一〇月一六日	一通	五二
〔書簡〕 藤井富蔵〔為蔵〕 高橋御母上宛 一〇月二二日	一通	五〇
〔書簡〕 天満屋與五郎 甚兵衛宛 一〇月二三日	一通	四三
〔書簡〕 高宮村南杜耕五郎 岡山村高橋甚兵衛宛 一二月五日	一通	二九
〔書簡〕 高橋新太郎 甚兵衛宛 一二月一〇日	一通	四
〔書簡〕 吉田伝兵衛 岡山庄 甚兵衛宛 一二月一六日	一通	二六
〔書簡〕 九兵衛 甚兵衛宛 一二月一九日	一通	二七
〔書簡〕 高村新太郎 甚兵衛宛 一二月二七日	一通	四
〔書簡〕 御賢父宛 一一月	一通	八〇
〔書簡〕 平野屋定七 岡山村甚兵衛宛 一一月	一通	四〇
〔書簡〕 吉田藤八 高橋甚八宛 一二月四日	一通	三三
〔書簡〕 砂西村池村持右衛門 岡山村高橋甚兵衛宛 一二月四日	一通	五五
〔書簡〕 京と藤三郎 高橋甚兵衛宛 一二月一六日	一通	六六
御答〔書簡〕 孫兵衛 四平宛	一通	五〇
〔書簡〕 砂西村池村持衛門 岡山村高橋甚兵衛宛 一二月二二日	一通	八三
〔書簡〕 角庄蔵 奥村仁左衛門・高橋四平宛 臘月二三日	一通	五三

〔書簡〕 平野屋源兵衛 仁兵衛宛 極月二三日	一通	七六
〔書簡〕 三坪 周蔵 岡山村高橋甚兵衛宛 一二月二四日	一通	六七
〔書簡〕 植村吉左衛門 岡山 高橋甚兵衛宛 一二月二六日	一通	四三
〔書簡〕 大井 高橋宛 一二月二九日	一通	三七
〔書簡〕 高槻丁場屋与五郎 岡山むら高橋甚兵衛宛 一二月	一通	六六
〔書簡〕 ふじい栄 高はし御母さま宛 四日	一通	五五
〔書簡〕 猪太郎 四平宛 二三日	一通	三三
〔書簡〕 東 吉左衛門 松屋三郎兵衛宛	一通	八九
〔書簡〕 栄 御かしら宛	一通	三七
〔書簡〕 里やう たかはし御氏おこま宛	一通	三二
〔書簡〕 大坂松屋弥兵衛 岡山村高橋甚兵衛宛	一通	四三
〔書簡〕 京 四郎左衛門・前田栄三郎 高橋御氏宛	一通	八〇
舌代〔書簡〕 京 四郎左衛門・前田栄三郎 高橋甚兵衛宛	一通	八二
〔書簡〕 高宮村南杜耕五郎 岡山村高橋甚兵衛宛	一通	七二
〔書簡〕 相沢重蔵 岡山村甚兵衛・伊兵衛宛	一通	八八
〔書簡〕 多田屋築右衛門 岡山村庄屋甚兵衛宛	一通	五五
〔書簡〕 岡山村里やう 岡山村高橋御氏宛	一通	二四

〔書簡〕 光誓寺 高橋御主人宛

一通 二〇六

普 請

当山下伊八借家普請入用覚帳 弘化二年三月二〇日

一冊 三三

鳥ヶ池樋普請人足引分帳 岡山村 嘉永元年四月二七日

一冊 二八一

番人家破損入用割・若中借金割帳 嘉永元年五月

一冊 二八三

鳥ヶ池樋普請人足寄付出し払帳 岡山村 嘉永元年七月

一冊 二八五

鳥ヶ樋普請諸入用高割帳 岡山村 嘉永元年七月

一冊 二八六

砂岡三ヶ村供水ニ付沼普請并臨時入用引分帳 岡山村 嘉永四年七月

一冊 三六

養水一件諸入費簿 三大区二小区岡山村 明治一〇年二月二五日

一冊 二三

証〔讚良川破換修繕勘定之件〕 砂村組合嘉平砂村・岡山村・他二ヶ村戸長役場宛 明治一八年三月二日

一通 二二三

覚〔陳屋御繕入用引請〕 高宮村 岡山村宛 辰二月

一通 二〇五

普請入用帳 正月

一冊 二三

光信寺〔普請材木覚〕 南山下安兵衛

一通 二四

冠 婚 葬 祭

婚 礼

婚禮諸祝儀控帳 高橋彥以 嘉永七年二月

一冊 二七

結納目録覚

一通 八五

法 事

法事夫代附出シ萬帳 岡山村 安政四年一二月

一冊 二三

葬 儀

廻章〔葬儀之件〕 生駒山宝山寺役僧 高橋儀三郎・同甚兵衛・他六名宛 正月二三日

一通 七五

覚〔葬儀諸費用〕 部村利助 岡山村弥左衛門宛 三月二三日

一通 五五

覚〔葬列諸入用〕 部村利助 岡山村甚兵衛宛 六月六日

一通 五

水 死

与兵衛女房水死入用帳 天保一〇年九月二六日

一冊 二六

与兵衛女房水死勘定帳 岡山村 天保一〇年一〇月

一冊 二七

死 骸 引 取

差上申一札〔死骸引取願〕 菊屋町受取主近江屋 甚六・五人組 御奉行所宛 嘉永元年四月二八日

一通 五三

そ の 他

一札〔形見分けお礼〕 東山下大ほいん 寛政三年二月二二日 一通 五

墓修覆入用四ヶ村割帳但し家別割寄書 岡山村 嘉永元年八月二五日 一冊 二八〇

跡相統御願 河内国讃良郡岡山村実父亡長男岡本平蔵・親類名代岡本巳之吉 戸長役場宛 明治一四年七月一八日 一冊 四三

### 池・河川

#### 池

新間鳥ヶ池高附水上り帳 享和三年八月 一冊 二五

大池鳥ヶ池新間池水割上り帳 文化九年 一冊 二五

鳥ヶ池新間池山畑割割帳 岡山村 文久元年四月朔日 一冊 二八

山田養水分水方改正御願 村川市次郎・高橋寿太郎・他一名 堺県令税所篤宛 明治一〇年四月一四日 一冊 四七

山田養水分水改正御説諭願 第三大区二小区讃良郡岡山村山田養水係り惣代高橋寿太郎・高橋与五郎・他二名 第三大区二小区区長・戸長宛 明治一〇年四月 一冊 四三

山田養水分水改正御願 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村願人村川市次郎・同高橋寿太郎・他二名 堺県令税所篤宛 明治一〇年四月 一冊 二九

山田養水至当分水説諭御願 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村山田養水掛り地主総代願人村川市次郎・同高橋寿太郎・他三名 堺県令税所篤宛 明治一一年五月四日 一冊 三八

蜻蛉池反畝割水覚 一通 三

大池水時覚 一通 三

大池覚 村方帳 一通 三

覚〔用水掛り覚〕 一通 五八

新池かかり 一通 六

鳥い池 東ノ平兵衛 一通 五

#### 河川

覚〔樋つめ・川堀〕 南八兵衛 御村方宛 一二月二三日 一通 七

#### 水車

水車一札之事 庄屋宇衛門・年寄伊兵衛 岡山七村御庄屋・年寄宛 安永五年二月 一通 四

磐船水車上り荷物庭帳 高橋甚八 明治二六年四月 一冊 三

水車諸雑用控帳 高橋甚八 明治二八年六月 一冊 三

#### 雑

#### 覚

〔覚〕 善兵衛 岡山村甚兵衛宛 丑三月 一通 八

覚 岡甚兵衛 一通 五

覚 利左衛門 東甚兵衛宛 申一二月六日 一通 六

覚 三坪市兵衛 岡山甚兵衛宛 三月二四日 一通 六

覚 利衛門 東甚兵衛宛 一二月二日	一通	六三
覚	一通	六七
覚	一通	三八
(覚)	一通	三七
覚	一通	八五
売 質	一冊	二五
建家売上帳 明治六年五月	一冊	二五
覚(建家一件入用) 村方 甚兵衛宛 巳一〇月二七日	一通	六六
覚(塩売買) 部屋村善右衛門 岡山 甚兵衛宛 酉三月一五日	一通	六六
入営錢渡し		
記(入営錢別渡し) 柳原 高橋御氏宛 七月三〇日	一通	六五
覚(砂請兵衛と受取人ニ相渡し)	一通	六六
その他		
借り物之取控 高甚 天保二年	一冊	四
御吟味ニ付申上候書付 河州讃良郡岡山村庄屋甚兵衛・年寄伊兵衛・他一名 天保一〇年九月二八日	一冊	六六
河州讃良郡中野村領ニ有之鷹塔銘 高橋弥五郎 嘉永二年閏月一四日	一冊	六六
(河州八十三番小学周施方申付之事) 堺県 高橋四平宛 明治七年九月	一通	六五
町村限計算組込方法 河内国第三大区二小区事務所出納役北田利逸郎・同柳原九平・他一名(明治一一年一月)	一冊	四二
(患者数報告) 愛媛県警保課 堺県警保課宛 一二年六月二日	一冊	二五
必携 高橋 (明治一二年)	一冊	三五
当村関スル諸書類并ニ物品目録簿 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村組長山口久三郎・総代高橋作平・他四名 岡山村前総代高橋甚八宛 明治一三年二月二二日	一冊	六八
国民軍取免組名簿 河内国讃良郡岡山村戸長高橋與五郎 明治一四年九月一日	一通	四〇
(速人牧方渡場迄差出し申) 河州讃良郡砂束村・岡山村庄屋・年寄 高槻役所 未八月二一日	一通	四三
(四人組書上げ) 組頭四平・甚兵衛・他二名 酉年二月	一通	四三
(牧岡礼祭検討廻状) 柳原 高橋御姓・沢田御姓宛 一月三一日	一冊	四六
證書 □さや多良兵衛 高橋甚兵衛宛 一二月二日	一通	三三
五畿内五箇国	一通	四四
口代(書上) 徳兵衛 高橋宛	一通	五五
付落覚	一通	六〇
(島内西横周防町浜上ゲ) 山城屋喜兵衛 亥年萬揃 甚兵衛	一通	七七
御本丸桂姫印鑑	一通	九〇
	一通	一〇五



河内国讃良郡岡山村山口家文書目錄



# 分類項目表

A

村政

1

施政  
村役目録、伍長組合、人足覚

2

租税  
検見、免割、払米、上納、仕方、畑方・山林税

3

戸口  
宗門改帳、宗門家数人別牛馬員数帳

4

土地  
検地、台帳、売捌

5

財政  
入用勘定帳、当座帳、金錢出入帳、郡中割帳、  
上納金、覚書

6

治安  
取締請印帳、異国船渡来

7

救恤  
夫食、難済人

8

交通  
助郷

B

農業

9

耕作  
反別小前帳、宛米帳、違作書上帳

10

水利  
用水割帳

11

肥料  
下尿汲取

C

社会

12

家制  
家計、絶家、不縁、書簡、建替

13

貸借  
書入質、借地

14

習俗  
講、八朔御禮

15

社寺  
寄付金、修繕願

厶 厶 厶 厶 厶



# 河内国讃良郡岡山村山口家文書目録

## 村 政

### 施 政

#### 村役目録

亥年役目録帳	河州讃良郡岡山村百姓惣代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	嘉永四年二月一四日	一冊	元
子年役目録帳	河州讃良郡岡山村百姓惣代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	嘉永五年二月一五日	一冊	四
丑歳役目録帳	河州讃良郡岡山村百姓惣代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	嘉永六年二月一五日	一冊	四
寅歳役目録帳	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	嘉永七年二月一五日	一冊	四
卯年役目録帳	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	安政二年二月一五日	一冊	四
辰年役目録帳	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	安政三年二月一五日	一冊	四
午年役目録	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	安政五年二月一五日	一冊	四
未年役目録	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	安政六年二月一五日	一冊	四

申年役目録	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	万延元年二月一五日	一冊	四
酉年役目録	河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名	文久元年二月一五日	一冊	四
戌年役目録	河州讃良郡岡山村庄屋伊兵衛・他四名	文久二年二月一五日	一冊	三

#### 伍長組合

伍長組合名前帳并番附書有	河内国讃良郡岡山村百姓代高橋四平・年寄山口喜平次・他二名	一冊	七
--------------	------------------------------	----	---

#### 願 書

諸願書手控	河州讃良郡岡山村 山口 文久四年正月	一冊	四
-------	--------------------	----	---

#### 人 足 党

三ヶ村村夫出勤并二郷宿飯代割夫々書出帳	岡山村伊兵衛	安政六年二月	一冊	三
諸人足ひかへ簿	三箇むら素賀口	明治九年一月	一冊	二
小走給米帳	二小区岡山村	明治一〇年七月	一冊	三
日雇覚			一冊	三

検  
見

当秋野田畑内見帳 河州讚良郡岡山村百姓代吉左衛門・年寄市兵衛・他三名 小堀滕太郎様御役所宛  
安政三年九月

御檢見御禮金割方勘定帳  
河州七ヶ村  
文久三年九月

御檢見入用割<sup>并</sup>前後御挨拶控帳 慶応二年一〇月

内検概略 山口又造・篠山藤道・他三名 戸長役場  
宛 一六年一〇月一九日

免割

戊御年貢免割小前帳 岡山村 嘉永三年〇〇(破損)

辰御年貢免割帳 岡山村惣代吉左衛門・喜左衛門・他二名 安政三年一二月

去々卯年御免割帳 河州讚良郡岡山村百姓代喜左衛門・同断吉左衛門・他五名 小堀勝太郎様御役所宛 安政四年三月

去々辰年御免割帳 河州讀良郡岡山村百姓代喜左  
衛門・同断吉左衛門・他五名 小堀數馬様御役所宛  
安政五年三月

去々申年御免割帳 河州讚良郡岡山村百姓代喜左衛門・同断吉左衛門・他五名 小堀數馬様御役所宛  
文久二年三月

去已年免割諸勘定写  
治三年正月

部屋村百姓代又兵衛 明

一冊  
六

一冊  
六

一冊  
三

一冊  
末

一冊  
合

一冊  
合

一冊  
九

冊

一冊三

扌  
米

去子御年貢米払直段書分帳 河州讀良郡惣代深  
野南新田植村吉兵衛・同交野郡惣代招提村行岡半右  
衛門 河州村々惣代宛 元治三年三月五日 一冊

御弘米代銀仕訳書 河州交野郡・讚良郡惣代岡山  
村庄屋伊兵衛 御役知郡御役所宛 慶応元年五月 一冊 三

上納

御巡見様江御廻米願書写 岡山村山口伊兵衛 天 一冊 二

河内國去黃御年貢米御藏納諸入用帳 納入小兵  
衛・同伊兵衛・他一名 多羅尾久右衛門樣御役所宛  
安政二年二月

一冊

三

御米粃納庭附帳 岡山村 安政五年二月二〇日 一冊 二四

一冊 二五

仕  
方

当村納書取調書上帳 河内讃良郡岡山村庄屋伊 一冊  
兵衛・年寄市兵衛・他一名 文久元年六月 三

烟方·山林税

畑方租税上納帳  
 岡山村  
 明治一〇年八月二八日  
 一冊  
 三七

畑方及宅藪山林税集帳 讃良郡岡山村 明治一  
 一年八月二十七日 一冊 二三

戸口

宗門改帳

五  
四

浄土宗門御改帳 河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・年寄兵五郎・他三名 信樂御役所宛 嘉永七年三月 一冊 二〇

浄土真宗門御改帳 河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・年寄兵五郎・他三名 信樂御役所宛 嘉永七年三月 一冊 七

宗門家数人別牛馬員数帳

家数人別寄書帳 河州讃良郡岡山村百姓代喜左衛門・年寄兵五郎・他三名 信樂御役所宛 嘉永七年三月 一冊 五

浄土宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讃良郡岡山村庄屋伊兵衛・年寄九兵衛・他三名 堀勝太郎様御役所宛 安政四年三月 一冊 五

浄土真宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讃良郡岡山村庄屋伊兵衛・年寄九兵衛・他三名 堀勝太郎様御役所宛 安政六年三月 一冊 五

浄土宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・年寄市兵衛・他三名 堀勝太郎様御役所宛 安政六年三月 一冊 五

浄土真宗御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讃良郡岡山村庄屋伊兵衛・年寄九兵衛・他三名 堀勝太郎様御役所宛 安政七年三月 一冊 七

浄土宗門御改寺請并家数人別牛馬員数帳 河州讃良郡岡山村庄屋山口伊兵衛・年寄村川市兵衛・他三名 御代官宛 慶応三年三月 一冊 九

土地

検地

河内国讃良郡岡山村荒地起返并取下場取調帳 河内国讃良郡岡山村百姓代喜左衛門・年寄茂四郎・他一名 信樂御役所宛 嘉永二年五月 一冊 三

地位等級取調帳 河内国第三大区二小区五番組郡屋村百姓惣代山口又一・立会人八上栄次郎・他二名 堺県令税所篤宛 明治八年七月 一綴 六

台帳

河内国播磨国御引渡高帳写 山口控 横田新之丞宛 慶応元年六月 一冊 三

山林地券帳 第三区岡山村副戸長高橋孫四郎・戸長山口九十郎 堺県令税所篤宛 明治六年四月 一冊 六

田地写 一冊 六

売捌

山地売捌御願 河内国第三大区二小区讃良郡岡山村・売捌主北出徳平・買請主・小島浅五郎 堺県令税所篤宛 明治一一年一二月二七日 一冊 六

開札控 一冊 三

財政

入用勘定帳

村方諸入用覚帳 河州讃良郡岡山村 嘉永四年正月 一冊 三

村方諸入用割勘定帳 岡山村 嘉永四年十二月一四日 一冊 三

鳥ヶ池新聞池請入用割帳 岡山村 嘉永六年二月二二日 一冊 二

村方諸入用割勘定帳 岡山村 嘉永六年二月	一冊	二三
村方諸入用割勘定帳 岡山村 安政二年二月十五日	一冊	二三
御年貢取附并諸入用勘定帳 郡屋村伝兵衛 岡山村山口伊兵衛宛 安政六年二月六月	一冊	九
砂岡三ヶ村入用引分帳 岡山村 安政六年二月	一冊	一五
砂岡三ヶ村入用引分帳 岡山村 万延元年二月八日	一冊	二〇
諸事勘定帳 岡山村山口伊兵衛 文久三年正月	一冊	一五
江州越州兩國御警護ニ付村々勘定帳 九ヶ村 元治二年二月	一冊	二四
去丑御年貢不納歎願諸入用勘定帳 慶応二年六月	一冊	二〇
当座帳		
当座帳 岡〔 <sup>前出</sup> 〕 万延二年正月	一冊	二七
当座帳 岡山村山口伊兵衛 文久四年正月	一冊	二七
当座帳 岡山村山口伊兵衛 明治四年五月	一冊	二七
〔当座帳〕 岡山村山口伊兵衛	一冊	二七
金銭出入帳		
金銀銭出入差引帳 慶応三年四月	一冊	二五
〔金銭出入帳〕 岡山村山口伊兵衛	一冊	二五
郡中割帳		
卯七月郡中割帳 河州惣代 慶応三年		
上納金		
御上金書上ケ帳 河州讃良郡岡山村年寄兵五郎・同断市兵衛・他二名 信楽御役所宛 嘉永六年一月	一冊	三三
御台場御上金割銭上納請取帳 河州讃良郡岡山村 安政四年一〇月一二日	一冊	二八
御上金ニ付御褒美銀割銭帳 岡山村 安政六年四月	一冊	二六
御本丸御普請御上金銘々御褒受銀割賦帳 岡山村 万延二年二月六日	一冊	二四
御本丸御普請上金請取帳 河州讃良郡岡山村 文久元年八月一七日	一冊	二五
組合上金控 山口 慶応二年八月	一冊	七
覚書		
授業料領収書 甲可尋常校第一年生山口力子宛 明治二二年四月ヨリ二三年三月〇日	一冊	五
証〔米渡し依頼〕 甲可村大字郡屋山口半太郎 甲可村大字南野土井本作次郎宛 明治四五年一月一二日	三枚	二九・一
証〔領収証〕 北河内郡甲可村大字南野産出改良委員 山口米太郎宛 明治四五年四月一二日	一綴	二九・三
覚〔飲食代覚〕 大坂志満町巷丁目多田正 岡山村御役人中宛 子一二月	一冊	二〇
おぼへ〔勘定帳〕 スナ魚新 なら田山口御氏宛 丑五月三一日	一通	八四・一



覚〔飲食代覚〕 大坂志満町巻丁目多田正 岡山 一冊 二〇

村御役人中宛 丑七月 一通 二四

覚〔銀渡し〕 伊兵衛 砂九兵衛宛 巳二月 一冊 二

治 安

取締請印帳

御取締被為仰渡御請印帳 河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名 信楽御役所宛 安政二年六月 一冊 三

諸名目借用方御取締請印帳 河州讃良郡岡山村仲右衛門・徳右衛門・他一四四名 信楽御所宛 安政二年六月 一冊 四

博奕御取締請印帳 河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・同断喜左衛門・他四名 元治二年三月 一冊 八

約定書請証文帳 河州讃良郡岡山村庄屋山口伊兵衛・年寄山口九兵衛・他二名 慶応三年八月 一冊 六

異国船渡来

被為仰聞異国船渡来ニ付給書 嘉永六年一〇月 一冊 三一

救 恤

夫 食

去寅夫食利金御下ケ渡請印帳 慶応三年正月 一冊 二三

覚〔御困紛渡払済〕 讃良郡上田原村・下田原村・他七村村々庄屋・年寄 小堀数馬御役所宛 子四月 一冊 七

難 渡 人

菜種売捌手狭難渡ニ付撰河国訴歎願写 山口控 慶応元年五月二〇日 一冊 三

難渡人書上帳写 河州讃良郡岡山村年寄吉左衛門 堺縣御役所宛 明治三年二月朔日 一冊 三

交 通

助 郷

江州下笠村ノ助郷差村願ニ付村高家数人別書上帳・村役書上ケ帳・難願書付写 河内国讃良郡岡山村庄屋伊兵衛・年寄九兵衛 石原助八郎・中川亮平宛 文久二年六月二日 一冊 六

助郷役高被仰付候高附并請証文写 江州栗太郡・河州讃良郡・同茨田郡山口氏写控 石原清一郎様御役所宛 文久三年八月二十四日 一冊 三

助郷掛り諸人用勘定帳 五箇村 文久三年二月二十四日 一冊 二九

# 農業

## 耕作

### 反別小前帳

当稻作芥上反別小前帳 河州讚良郡岡山村庄屋  
伊兵衛・年寄九兵衛・他二名 小堀數馬様御役所宛  
文久元年九月 一冊 九

当稻作芥上反別小前帳 河州讚良郡岡山村庄屋  
伊兵衛・年寄九兵衛・他三名 小堀數馬様御役所宛  
文久二年九月 一冊 二二

当稻作芥上反別小前帳 河州讚良郡岡山村百  
姓代喜左衛門・年寄兵五郎・他三名 御役知郡御役  
所宛 文久三年九月 一冊 二二

当秋稻作木綿作差出奥寄帳 河州讚良郡岡山村  
百姓代喜左衛門・年寄兵五郎・他三名 御役知郡御  
役所宛 文久三年九月 一冊 二四

当稻木綿作皆無反別小前帳 河州讚良郡岡山村  
百姓代喜左衛門・年寄兵五郎・他三名 御役知郡御  
役所宛 元治元年九月 一冊 二一

当稻作芥上反別小前帳 河州讚良郡岡山村百  
姓代喜左衛門・年寄兵五郎・他三名 御役知郡御役  
所宛 元治元年九月 一冊 元

### 〔名寄帳〕

### 宛米帳

当寅御年貢小前帳 河州岡山村百姓代吉左衛門・  
喜左衛門・他二名 嘉永七年一二月 一冊 二五

天

小作宛米帳 岡山村伊兵衛 嘉永六年霜月 一冊 二

田畑宛附帳 岡山村山口伊兵衛 安政二年正月 一冊 六

小作宛米帳 岡山村伊兵衛 安政二年二月 一冊 六

小作宛米帳 岡山村伊兵衛 安政四年 一冊 五

田畑地主小作宛米請取写帳 岡山村 安政五年  
一一月 一冊 二五

小作宛米帳 岡山村伊兵衛 安政五年極月 一冊 六

小作取附帳 山口伊兵衛 明治三年一二月 一冊 五

御年貢米取附帳 部屋村支配人築山藤藏 山口伊  
平宛 明治四年一二月 一冊 五

小作取附帳 岡山村山口伊平 明治四年一二月 一冊 六

小作米取附帳 山口氏 明治二六年 一冊 五

小作宛米取附帳 山口氏 明治三一年一月 一冊 五

小作宛米取附帳 西山口氏 明治三三年一月 一冊 七

小作宛米取附帳 西山口氏 明治三四年一月 一冊 三

戌年小作宛米帳 西山口氏 明治四三年二月 一冊 七

亥年小作宛米帳 西山口氏 明治四四年二月 一冊 三

子年小作宛米帳 西山口氏 大正元年二月 一冊 五

稻作虫害二村小作宛米免引勘定帳 西山口氏  
大正元年 一冊 五

丑年小作宛米帳 西山口氏 大正二年一二月 一冊 三

年貢米取帳 田中藤吉 山口米太郎宛 大正六年 一冊 三

小作年貢帳 山口米太郎氏 大正八年度 一冊 三

元治元年<sup>甲子</sup>御年貢米取附勘定帳 部屋村伝兵衛 岡山村山口伊兵衛宛 一冊 三

### 違作書上帳

田畑干損<sup>三</sup>付取調書上帳 百姓代吉左衛門・年寄市兵衛・他三名 信樂御役所宛 嘉永六年八月一三日 一冊 三

田畑干損<sup>三</sup>付取調書上帳 河州讃良郡岡山村百姓代吉左衛門・年寄市兵衛・他三名 信樂御役所宛 嘉永六年八月一四日 一冊 六

〔木綿作皆無反別取調帳〕 百姓代吉左衛門・年寄兵五郎・他三名 〔<sup>三</sup>様口役所宛 文久元年九月 一冊 六

当田畑荒方痛毛書上帳 河州讃良郡岡山村百姓代喜左衛門・年寄九兵衛・他一名 小堀数馬様御役所宛 文久二年八月 一冊 三

### 水利

### 用水割帳

大池乗高番水刻割帳 岡山村 文久三年三月 一冊 二

### 肥料

### 下尿汲取

耕作・水利・肥料・家制

下尿汲取荷数<sup>并</sup>汲取人名前ひかへ帳 三箇むら江の口 素賀 明治一三年二月 一冊 二

## 社 会

### 家 制

### 家 計

金銀銭取引之通 岡山村伊兵衛・岡山村大正寺宛 文政九年二月 一冊 三

申年一月二八日私金出ス控立 申一月二八日 一冊 九

### 絶 家

絶家御願 河内国第三大区二小区讃良郡木田村十六番地平民木村嘉七<sup>七</sup>後家木村とめ・同村親類木村左津・他一名 堺縣令税所篤宛 明治一一年六月一九日 一通 七

絶家御願 河内国第三大区二小区讃良郡木田村十六番地平民木村嘉七<sup>七</sup>後家木村とめ・同村親類木村左津・他一名 堺縣令税所篤宛 明治一一年六月一九日 一通 七

### 不 縁

不縁御届 讃良郡岡山村山口なか・上鳴頭受取人西口国松・他二名 戸長役場宛 明治一六年八月 一冊 四

### 書 簡

〔書簡〕 土井本作次郎 西山口宛 一通 三九二

### 建 替

記〔建替之件〕 村川市太郎 山口宛 二三年六 一冊 六  
月二一日

貸 借

書入 質

書入質 堺泉宮下河内国第三大区二小区六番組岡  
山村第百十四番地住居建物主山中源治郎・宅地主山  
口伊平 同区五番組中之村岡島利平宛 明治九年  
一月二〇日 一冊 五十二

書入質 堺泉宮下河内国第三大区二小区六番組岡  
山村第百十四番地住居建物主山中源治郎・宅地主山  
口伊平 六番組中野村岡島利平宛 明治九年一月  
二〇日 一冊 五十二

委任状 讃良郡甲可村大字岡山第七番屋敷山口伊  
平 明治二七年二月 一通 五

契約証 讃良郡甲可村大字部屋債主山口又〇〇讃  
良郡甲可村大字岡山山口伊平宛 明治二七年三月  
五日 一冊 六

契約証 讃良郡甲可村部屋債主山口又造 讃良郡  
甲可村大字岡山山口伊平宛 一冊 六

借 地

拝借地書上帳 第三大区二小区河内国讃良郡五番  
組部屋村山口又造 明治八年五月 一冊 六

習 俗

講

神並村講掛銀控江帳 岡山村 安政四年二月 一冊 一〇九

仕法連名簿 證文預り村川市次郎・山口伊平・他  
世話方四名 明治九年九月二四日 一冊 二〇

八朔御禮

八朔御禮河州割賦帳 元治元年八月 一冊 二〇

社 寺

寄付金

証〔寄附金領収証〕 會計方 山口伊平宛 明治  
二九年一〇月六日 一通 五

証〔本山焼失金・寄付金〕 大正寺講中 山口伊  
平宛 一月一十九日 一通 一

修繕願

郷社修繕御願 河内国第三大区二小区讃良郡高宮  
村座高宮村有志野口庄二郎・倉内五平次・他四三名  
明治一二二年二月 一冊 六

河内国讃良郡岡山村高橋家・山口家文書目録



# 分類項目表

A											
1	施政	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
2	財政	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
3	租税	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
4	農政	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
5	治安	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
6	戸籍	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
7	土地	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
8	交通	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
B											
9	家制	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
10	信託	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
11	社寺	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
12	書入	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
C											
13	救恤	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
14	文芸	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
15	覚書	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....





# 河内国讃良郡岡山村高橋家・山口家文書目録

村 政		
施 政		
届 出	伺 <small>（山林沿革史料村毎ノ届出伺）</small> 河内国第三大区二小区副区長池村省三 堺縣勸業課宛 明治一二年五月二〇日	一通 吉
検 査	〔營業收入金検査之件〕 明治一六年九月	一冊 四
財 政		
郡 中 割	会津様御廻在二付諸入用割賦帳 上讃良郡村々 文久三年二月二日	一冊 七
	会津・御役知河州郡中割 文久四年正月	一冊 一
	亥郡中割組合割賦勘定帳 上讃良九ヶ村 文久四年正月	一冊 二
	河州郡中勘定帳 元治元年一月	一冊 四

城河州郡中入用差引勘定帳 河州惣代 元治元年一二月	一冊 三
河州郡中割 古□方 慶応元年二月	一冊 五
夏割 岡山村	一通 八
諸 入 用	
書出し控帳 嘉永七年七月	一冊 七
諸入用控帳 三箇村仲川□□ <small>（金田）</small> 文久三年正月	一冊 六
村出入控帳 なら田文右衛門 慶応二年正月	一冊 八
献金一件・大坂米納諸入用差引勘定帳 郡中惣代 慶応三年五月	一冊 六
河内国懸り 卯七月	一冊 九
乍恐御願下奉候事〔諸入用銀掛高調〕 岡山村百姓・砂東村百姓 戌二八日	一通 一〇
組合差控	一冊 三
租 税	
上 納	
撰河村々去戌納御米残取勘定仕訳帳 会津組 文久三年七月	一冊 六

村高覚	農政	租税金納帳	河州岡山南山中市良平	明治六年一月	一冊	三
		上納銀之通	加島屋 河州讃良郡岡山村宛	子年	一通	二〇
		上納銀之通	加嶋屋 河州讃良郡岡山村宛	寅年	一通	九
		丑御米勘定控			一冊	三二
		丑年御米差引勘定			一冊	三三
		〔江戸御廻米〕	岡山村		一通	六
		〔二條御蔵納〕	河州讃良郡岡山村・太間村河岸		一通	三
		年貢				
		当未年貢帳	明治四年一〇月		一冊	七
		〔年貢調〕			一綴	九
村高覚	農政	覚〔山年貢〕			一通	七
		覚〔年貢銀書出し〕			一通	三
		その他				
		〔諸税之事〕	明治一〇年一月		一冊	九
		〔書面伺之趣左ノ通可被相心得事〕	堺縣地租		一通	三
		改正掛	明治二二年五月二二日			
		乍恐口上〔三箇村高掛引分銀〕	河州讃良郡岡山村		一通	三
村高覚	農政	〔村高書上帳〕	河州讃良郡岡山村庄屋孫兵衛・年寄伊兵衛 高槻御役所宛	寛政一〇年二月	一冊	三
		〔石高取調帳〕			一冊	三
		覚〔村高控〕			一通	六
		名寄帳				
		新池年之小前書出し控帳	天保一三年二月		一冊	五
		〔名寄帳〕	河内国讃良郡田原村大字下田原三番屋敷平民農田中龍造・同村大字同五十九番屋敷平民農田川金五郎・他四名		一冊	三
		〔名寄帳〕	河内国讃良郡田原村大字上田原六十五番屋敷土族農若林重太郎・同村大字同十四番屋敷平民農今井宗平・他四名		一冊	三
		〔名寄帳〕	河内国讃良郡寝屋川村大字河北九番屋敷平民農橋本半平・同国同郡同村同大字四十二番屋敷平民農中村伝次郎・他一名		一冊	四
		〔名寄帳〕	河内国讃良郡住道村大字三箇第二二百八十七番屋敷平民農大川捨松・同国同郡同村同大字三百五番屋敷平民農村田元治郎・他一名		一冊	四
		小前覚				
村高覚	農政	覚〔小前〕			一通	八
		〔小前〕			一通	八
		覚〔小前〕	讃良郡岡山村		一通	二〇
		畑作取調				
		〔畑取調帳〕			一通	四
		明治十七年麦作概算表	讃良郡高宮村		一冊	六

水利

御答書 三小区交野郡燈油村上井九郎平・中井作治郎・他四名 三小区事務所宛 明治一〇年四月二十四日 一冊 五  
手続書〔養水ニ係ル名義変更〕 河内国讃良郡岡山村平井清七 岡山村地主宛 明治一七年五月 一通 四

治安

警備

御警護・御用人足勘定河州書拔帳 元治元年六月二十四日至八月二十六日 一冊 三  
御警衛人足一件入用勘定帳 元治元年一月 一冊 六  
練武場夜警御規則書 府下東成郡京街道野江筋練武場幹事安藤正之 一五年一〇月 一冊 三

訴訟

乍恐願下御改〔預銀出入〕 小堀數馬御代官所・河州讃良郡部屋村願人又兵衛・又右衛門 東御奉行宛 文久三年二月一九日 一通 六

窃盜難告訴 河内国讃良郡岡山村平井定治郎 大阪府枚方警察署中野分署警部補宛 明治一五年三月一八日 一冊 四

おぼへ〔訴訟入用〕 二月 一通 七

届書

御届〔怪我全快届〕 山口縣下周防国都濃郡徳山祖町平民井上景助 二等巡查沢田孝友宛 一冊 四

乍恐口上〔家出人届〕 武左衛門 一通 一五

犯罪

上申〔不正之所為并品行開陳〕 河内国讃良郡戸長柳原伝次 大阪府知事建野郷三宛 明治一八年三月 一冊 六

商売取締

菓子物煎売取私書調印帳 河州讃良郡岡山村菓子店久米右衛門・同断源右衛門・他三名 御村方御役人中・同御百姓衆中宛 安政二年二月 一冊 三

戸籍

送籍願

送籍御願 河内国第三大区二小区讃良郡高宮村第八番屋敷住平民野口又五郎 明治一一年七月二〇日 一通 六

長男送籍御願 河内国第三大区二小区讃良郡堀渚村第二番屋敷平民池村半治郎・長男池村清太郎・他四名 堺縣令稅所篤宛 明治一二年三月 一冊 三

編入伺

御伺〔当分編入伺〕 河内国第三大区二小区副戸長小西徳平 堺縣庶務課宛 明治一一年七月二〇日 一通 四

土地

官地拝借

伺〔官地堤防拝借の件〕 河内国第三大区二小区 副区長池村省三 堺縣地租改正掛宛 明治一二年 五月二〇日	官地拝借御届 河内国郡村名拝借人何ノ誰外何人 堺縣令宛	その他 十年以内開墾地届 讃良郡甲可村大字岡山地主田 中重治郎 大阪府知事西村捨三宛 明治二四年五 月二六日	交通	助郷御断願 乍恐書付を以歎願奉申上候〔助郷御断歎願〕 小堀數馬御代官所 河州讃良郡岡山村村々庄屋年寄 石原助次郎・中川亮平宛	乍恐書付を以歎願奉申上候〔助郷御断歎願〕小 堀數馬御代官所 河州讃良郡岡山村村々庄屋・年 寄 石原助次郎・中川亮平宛	社会	家制	相統	御願書〔相統之件〕 讃良郡岡山村亡喜多徳原親 類喜多丹藏・同郡逢坂村田中卯次郎・他二名 岡山 村戸長役所宛 明治一六年七月二三日
一通 三	一通 六	一冊 三		一冊 三	一冊 三				一冊 七

御願書〔相統之件〕 讃良郡岡山村亡喜多徳原親 類喜多丹藏・同郡逢坂村田中卯次郎・他二名 岡山 村戸長役所宛 明治一六年七月二三日	絶家	絶家御願 河内国第三大区二小区讃良郡高宮村第 六十五番屋敷住平民実父亡永尾源造長女永尾上称・ 同村庄や請取人永尾九平次・他一名 堺縣令税所篤 宛 明治一一年六月一〇日	絶家御願 河内国第三大区二小区讃良郡木田村第 六十六番屋敷地平民木村喜七亡後家木村登免・同村 親類木村太津・他一名 堺縣税所篤宛 明治一一年 九月一〇日	絶家御願 河内国第三大区二小区讃良郡木田村第六 十六番屋敷地平民木村登免 明治一一年九月一〇 日	家計	買物帳 要平 天保一〇年九月二六日	活花稽古場諸入用控 明窓堂社中行事預 嘉永 元年二月	諸用控 市兵衛 明治三年一〇月	買物帳 讃良郡岡山村 明治一二年二月	〔買物覚〕 北市平 村宮もち中宛 末年	金錢支出帳	教育	帰宅証 大阪府立四條畷中学校舎監 一年級北組 寺西宛 明治四三年四月三〇日
一冊 三		一冊 三	一冊 三	一通 三		一冊 二	一冊 元	一冊 五	一冊 四	一通 六	一冊 六		一通 二〇四

<p>予約金額収証 大阪府立四條畷中学校寄宿舎々監 中川宛 明治四三年五月八日</p>	<p>社 寺</p>	<p>領収証 明治四十三年度入学検定料 大阪府枚方 支金庫 納入中川吉内宛 明治四三年四月五日</p>	<p>建替・修覆 廊下破損建修覆御願 河内国第三大区二小区讃 良郡堀溝村融通念仏宗大念寺住職少講義冥本照阿 且中惣代西村市蔵・他三名 堺縣令税所篤宛 明治 一二年五月一日</p>	<p>寄宿舎入舎に任用せし物品 四三年五月一〇日</p>	<p>一冊 六</p>	<p>領収証 明治四十三年度第一期授業料 大阪府枚 方支金庫 納入中川吉内宛</p>	<p>一冊 六</p>	<p>泰用道具</p>	<p>一冊 六</p>	<p>書 簡</p>	<p>〔書簡〕 和口左衛門 松俣三郎兵衛宛 六月二 四日</p>	<p>一冊 六</p>	<p>信 仰</p>	<p>転 属</p>	<p>伺〔信仰の転属〕 河内国第三大区二小区副区長 池村省三 堺縣社寺掛宛 明治一一年九月三〇日</p>	<p>一通 六</p>	<p>〔本願寺派・檀徒、日蓮宗へ転属〕 堺縣庶務課 宛 明治一一年一〇月七日</p>	<p>一通 六</p>	<p>そ の 他</p>	<p>覚〔仏壇之事〕 中野村上郷庄屋猪七郎 岡山村 仲兵衛宛 弘化三年七月二九日</p>	<p>一通 六</p>	<p>禅晰 聞法図八百</p>	<p>一冊 三</p>	<p>文殊悪日</p>	<p>一通 六</p>	<p>譲 渡 おほへ〔田地譲り渡し〕</p>	<p>一通 六</p>	<p>土地・交通・家制・信仰・社寺・書入・譲渡</p>	<p>六</p>

救恤

夫食

〔夫食金冊〕 岡山村

一通 金

頼母子銀

覚〔頼母子銀〕

一通 二七

文芸

往来物

世界風俗往来 全 長橋栄之助

一冊 四

雑

覚書

書出し

覚〔人足書上〕 大阪松江町多田屋善兵衛岡山村  
御役人中宛 子二月

一冊 三

覚〔人足書出し〕 大阪松江町多田屋善兵衛 岡  
山村御役人中宛 丑七月二日

一冊 四

書出し 大阪大く町谷町西入樋屋儀兵衛 岡山村  
御役人中宛 戌極月

一通 六

西七月書出し

一通 五

〔書出し〕 岡山村

一通 金

記〔書出し〕 北条村木本喜八

一冊 三

勘定書

覚〔勘定書〕 砂西村 二月二三日

一通 二六

覚〔勘定書〕 岡山御村方宛 一二月七日

一通 七

記新家水かけ トユ清吉 岡山東安次郎宛

一通 二二

受取書

覚〔中札代受取〕 多田屋篤右衛門 岡山村御役  
中宛 辰五月二七日

一通 五

覚〔山木代受取〕 小兵衛 吉左衛門宛 亥二月  
一〇日

一通 五

おほへ〔酒代銀相済み〕 砂村庄左衛門 四月一  
八日

一通 八

〔米壺石受取〕 高萬太

一通 八一

〔米壺石受取〕 高萬太

一通 八一

覚〔米壺石受取〕 高萬太

一通 八一

覚

覚〔戻し銀〕 砂東村 西七年五月

一通 五

覚〔銀渡し〕 中七衛門殿宛 七月二二日

一通 二〇

〔くさ取賃お七渡し〕

一通 四

覚〔月別銀高〕

一通 二五

おほへ〔反物覚〕

一通 101

その他

証彦左衛門

一冊 元

〔覚〕 岡山村

一通 三

覚

一通 八

〔覚〕 市兵衛

一通 三

引

一通 二四





河内国讃良郡中野村上郷上村家文書目錄



# 分類項目表

## A 支配

- 1 町.....  
廻状、盗難届、印形紛失届、徴兵壮兵、巡見、予算、  
学費、代替、帰住御届.....  
2 人別.....  
五人組御改帳、宗門改、宗盲人別帳.....

## B 農業

- 3 年貢.....  
年貢米収納帳、年貢米免割帳、年貢米計口帳、年貢  
米名寄帳、立毛内見帳、年貢買入、年貢寛免、納米、  
米付割、名前本高帳、御物成免割、仮免、高控差引  
勘定帳、高方立会勘定帳、讀良立会勘定帳、兩郡立  
会勘定帳、立会勘定、四株立会勘定帳、小作請負証  
文、小作田地貸付.....  
4 買米.....  
買米振合附訳帳、買米帳、買米請取帳.....  
5 その他.....  
端米代他納入、村方余米売、飯米諸式集.....

## C 山林

- 6 山林.....  
山銀懸銀割覚、山方立会勘定帳、松茸入札帳、入札  
仕方書、山地券当号反別覚、山林改道條目請印帳.....

## D 金融

- 7 上納金.....  
上納金、御用金、軍用金、利足銀上納、租税米上納  
延期、御役所上納諸事覚、冥加銀上納帳、殿様御用  
金.....  
8 御国役銀.....  
御国役銀.....

- 9 貸借.....  
拝借金割渡、拝借金受取銀、小作貸付銀、名目金銀  
借請、拝借銀元利上納、拝借助郷割請取帳、拝借返  
金割帳、綿不作拝借銀返済割方帳、綿不作拝借銀請  
取帳、不作物借銀返済割方帳.....  
10 帳簿.....

- 11 講.....  
金銀錢判取帳、金銀払渡帳、金銀錢払帳、金銀錢之  
通、銀納取附覚、金納御願書、出金勘定取調、諸帳  
面勘定方、立会諸勘定、掛り銀割方帳、掛り銀受取  
帳、下用受取銀、下用払方帳、下用助郷請取帳、三  
ヶ村立会勘定帳.....

- 12 講.....  
講銀請取帳、落札銀割戻し銀.....  
13 質物証文.....

## E 宗教

- 13 寺.....  
住職就任願、寄付、出達御断、証文.....

F

14	宮	宮讚良立会勘定帳、宮御殿檜皮葺諸入用勘定帳、諸入用立会勘定帳、宮讚良入用割帳	三
	交通		三

G

15	助郷	助郷懸割帳	三
16	人足	御役所人足帳、御用村継人足帳、普請人足帳、助郷一条人足賃、人足帳	三
17	道	道修繕	三
	普請		三

H

18	室池	室池立会勘定帳、室池樋扉普請立会勘定帳、堤普請立会勘定帳、新池堤築立、納所普請	三
	村方		三

19	買物	村方買使帳、買物帳、買使、当座買使帳、村方当座	三
20	請取	村方請取帳、請取帳、飲食代受取	三
21	諸入用	諸入用勘定、諸入用名寄帳、諸入用名前帳、諸入用勘定済印帳、小入用帳、入用割、殿様諸入用	三
22	支払	跡払勘定帳、払方請取、払方帳、払判取帳、諸払帳、	三

23	鉄砲	鉄砲御請書、鉄砲御改	三
24	懸り	懸り	三
25	当人懸り	当人懸り	三
26	共有地	共有地分烈	三
	その他	その他	三

# 河内国讃良郡中野村上郷上村家文書目録

## 支 配

町

廻 状

御布告廻状留帳 明治一四年五月

五番組上郷〔廻状〕 上村集議所 六月七日

盗 難 届

紛失御届書〔盗難届〕 河内国第三区讃良郡中野村上郷内藤常蔵・小倉捨吉・他一名 堺県税所篤宛 明治六年正月一八日

御届書〔盗賊の忘れ物届〕 河内国第三大区第二小区中野村上郷松本和喜松・差添人副戸長上村專治 堺縣令税所篤宛 明治七年二月四日

印形紛失届

乍恐口上〔印形紛失届〕 河内国第三区讃良郡中野村上郷田中喜平治・同副戸長上村專治 堺県令税所篤宛 明治六年二月一四日

乍恐御断〔印形紛失届〕 河内国第三区讃良郡中野村上郷田中喜平治・戸長小西德平・他一名 堺県税所篤宛 明治六年二月

徴兵 壮 兵

徴兵連名簿 河内国第三区讃良郡中野村上郷戸長小西德平・副戸長上村專治 明治六年四月 一通 四九八

徴兵免役之者連名簿 河内国讃良郡中野村上郷戸長小西德平・副戸長上村專治 明治六年四月 一通 四九九

〔壮兵御届〕 河内国第三区讃良郡中野村上郷副戸長上村專治 堺県令税所篤宛 明治六年八月 一通 四九二

口上書〔壮兵の病氣休暇願〕 河内国第三区讃良郡中野村上郷副戸長上村專治・同村戸長小西德平 堺県令税所篤宛 明治六年九月三〇日 一通 四九三

御請書〔壮兵〕 河内国中野村上郷副戸長上村專治 堺県令税所宛 西五月一〇日 一通 四九〇

巡 見

〔巡見入用覚〕

予 算

大阪府大阪市北区東野田町区明治四十一年度歳入出更正総計予算 一冊 二五  
大阪府大阪市明治三十九年度第六特別予算港湾費参考書 一冊 二二

学 費

覚〔学費之事〕 河内国第三区讃良郡拾八ヶ村村々戸長・副戸長 明治六年四月一日 一冊 四九六

代 替

御代替御請書帳 上郷年寄徳兵衛・同専右衛門・他二名 長尾御役所宛 文政六年三月 一冊 六

帰住御届

帰住御届 河内国第三区讃良郡中野村上郷副戸長上村専治 堺縣稅所篤宛 明治六年二月二十九日 一通 四九五

帰住御届書 河内国第三大区二小区讃良郡中野村上郷副戸長上村専治 堺縣令稅所篤宛 明治七年三月二〇日 一冊 四九六

帰住御届ケ書 河内国讃良郡中野村上郷本人川原清七 明治七年三月二〇日 一通 四九七

人 別

五人組御改帳

五人組御改帳 上郷年寄佐次郎・久左衛門・他一名 長尾御役所宛 文政三年三月 一冊 五〇五

五人組御改帳 上郷年寄徳兵衛・専右衛門・他二名 長尾御役所宛 文政一二年三月 一冊 五〇六

五人組御改帳 上郷年寄藤五郎・同喜右衛門・他二名 長尾御役所宛 天保六年三月 一冊 五〇七

宗 門 改

宗門改條目帳 上郷年寄徳兵衛・同専右衛門・他二名 長尾御役所宛 文政九年三月 一冊 五〇八

宗門御改條目帳 上郷年寄徳兵衛・久左衛門・他二名 長尾御役所宛 文政一二年三月 一冊 五〇九

宗 門 人 別 帳

宗門御改條目帳 上郷年寄久左衛門・同喜右衛門・他二名 長尾御役所宛 天保九年三月 一冊 六一〇

宗門御改帳 河州讃良郡砂村妙法寺日教 長尾御役所宛 天保一三年三月 一冊 六一一

〔宗門人別帳〕 巳年 一通 六一二

農 業

年 貢

年貢米收納帳

御歳貢米收納帳 上郷庄屋仲右衛門 文政八年一〇月 一冊 六一三

御歳貢米收納帳 上郷庄屋仲右衛門 文政一〇年一〇月 一冊 六一四

御歳貢米收納帳 上郷庄屋仲右衛門 文政一二年一〇月 一冊 六一五

御歳貢米收納帳 上郷庄屋仲右衛門 文政一二年一〇月 一冊 六一六

御歳貢米收納帳 上郷庄屋仲右衛門 天保二年一〇月 一冊 六一七

御歳貢米收納帳 上郷庄屋専右衛門 天保五年一〇月 一冊 六一八

御歲貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	天保六年	一冊	四
御歲貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	天保八年一〇月	一冊	三六
御年貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	天保一〇年一〇月	一冊	三八
御年貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	天保一二年一〇月一一日	一冊	二〇
御年貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	天保一三年一〇月一六日	一冊	四六
御歲貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	弘化二年一〇月	一冊	二〇
御歲貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永元年霜月朔日	一冊	二
御歲貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永三年一〇月二五日	一冊	七五
御歲貢米收納帳	嘉永四年一二月朔日	一冊	三五	
御歲貢米收納帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永五年一〇月一五日	一冊	三五
御年貢米收納帳	嘉永七年一〇月五日	一冊	四四	
〔年貢米收納帳〕				
年貢米免割帳				
御年貢米免割帳	上郷庄屋仲右衛門	文政八年一月	一冊	六
御歲貢米免割帳	上郷庄屋仲右衛門	文政一〇年一月一一日	一冊	一〇四
御年貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保二年霜月	一冊	一〇三
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保三年一二月	一冊	一〇五
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保五年一月	一冊	四六
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保六年一月	一冊	三三
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保八年霜月	一冊	一〇三
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保一〇年霜月	一冊	九
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保一一年一月	一冊	四四
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保一二年一月	一冊	四四
御年貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	天保一三年一月	一冊	一五
御歲貢米免割帳	弘化二年霜月一七日	一冊	四六	
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	弘化三年霜月一二日	一冊	四七
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永三年霜月一八日	一冊	四三
御年貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永五年霜月一七日	一冊	三二
御歲貢米免割帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永七年一月一一日	一冊	三〇

年貢米名寄帳

御歲貢米計口帳 ○月	上鄉庄屋專右衛門	弘化三年一	一冊	三六
御歲貢米計口帳 ○月二五日	上鄉庄屋專右衛門	嘉永三年一	一冊	三六
御歲貢米計口帳 一月朔日	上鄉庄屋專右衛門	嘉永四年一	一冊	四九
御歲貢米計口帳 ○月	上鄉庄屋專右衛門	嘉永五年一	一冊	三七
年貢米名寄帳				
御歲貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋仲右衛門	文政三年一	一冊	二九
御歲貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋仲右衛門	文政四年一	一冊	二〇
御歲貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋仲右衛門	文政八年一	一冊	二三
御歲貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋仲右衛門	文政一〇年	一冊	四三
御年貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋仲右衛門	文政一一年	一冊	三
御歲貢米名寄帳 月	上鄉庄屋仲右衛門	天保二年霜	一冊	三〇
御年貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋專右衛門	天保三年閏	一冊	四
御年貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋專右衛門	天保五年一	一冊	三九
御歲貢米名寄帳 一月	上鄉庄屋專右衛門	天保六年一	一冊	二五





高控差引勘定帳 月	上鄉庄屋仲右衛門	文政八年極	一冊	三七
高控差引勘定帳 一二月	上鄉庄屋仲右衛門	文政一〇年	一冊	三三
高控差引勘定帳 月	上鄉庄屋仲右衛門	天保二年極	一冊	三七
高控差引勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	天保三年極	一冊	三三
高控差引帳	上鄉庄屋專右衛門	天保五年極月	一冊	三二
高控差引帳	上鄉庄屋專右衛門	天保六年一二月	一冊	三八
高控差引帳	上鄉庄屋專右衛門	天保八年一二月	一冊	三三
高控差引帳 七日	上鄉庄屋專右衛門	弘化二年極月一	一冊	一六
高控差引帳	上鄉庄屋專右衛門	嘉永三年極月	一冊	二二
高控差引帳	上鄉庄屋專右衛門	嘉永五年極月	一冊	二二
高控差引帳	上鄉庄屋專右衛門	嘉永七年一二月	一冊	四九
高方立会勘定帳				
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋仲右衛門	文政四年極	一冊	三〇
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋仲右衛門	文政八年極	一冊	四六
高方立会勘定帳 極月	上鄉庄屋仲右衛門	文政一〇年	一冊	三六
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋仲右衛門	天保二年極	一冊	四二
高方立会勘定帳				
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	天保三年極	一冊	一五
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	天保五年極	一冊	四八
高方立会勘定帳 二月	上鄉庄屋專右衛門	天保七年一	一冊	一五
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	天保八年極	一冊	一五
高方立会勘定帳 極月	上鄉庄屋專右衛門	天保一〇年	一冊	三五
高方立会勘定帳 一二月	上鄉庄屋專右衛門	天保一二年	一冊	四四
高方立会勘定帳 一二月	上鄉庄屋專右衛門	天保一三年	一冊	三七
高方立会勘定帳	弘化二年極月		一冊	三三
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	弘化三年極	一冊	四二
高方立会勘定帳	嘉永元年極月		一冊	三四
高方立会勘定帳 二月	上鄉庄屋專右衛門	嘉永三年一	一冊	一五
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	嘉永四年極	一冊	二〇
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	嘉永五年極	一冊	四三
高方立会勘定帳 月	上鄉庄屋專右衛門	嘉永七年極	一冊	三九

高方立会勘定帳	上郷村庄屋専右衛門	安政二年	一冊	四二五
極月				
高方立会勘定帳	上郷村庄屋専右衛門	安政五年	一冊	三六二
極月				
讀良立会勘定帳				
讀良郡立会勘定帳	上郷	天保一二年二月	一冊	三三二
讀良立会勘定帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永五年一〇月二六日	一冊	三五一
兩郡立会勘定帳				
兩郡立会勘定帳	当番上郷	嘉永七年一月	一冊	二五二
立会勘定				
立会勘定	助郷一条本郷上郷控	一一月	一冊	五
四株立会勘定帳				
四株立会勘定帳	逢坂郷庄屋・年寄	嘉永三年一月	一冊	三六六
二月				
四株立会勘定帳	逢坂郷庄屋・寄寄 <sup>(等)</sup>	嘉永四年一月	一冊	三〇八
二月				
四株立会勘定帳	逢坂郷庄屋・年寄	嘉永五年一月	一冊	三三〇
二月				
小作請負証文				
小作請負証文仍而如件他覚	上郷庄屋専右衛門		一冊	三三三
小作田地貸付				
小作田地貸附請割帳	上郷庄屋上村専右衛門		一冊	二五九
万延元年一一月二三日				

買米				
買米振合附訳帳				
已買米振り合附訳帳	文政四年一月	一冊	三三三	
酉買米振合付訳帳	上郷 文政八年一〇月	一冊	三三三	
卯年貢米附訳帳	天保二年一月	一冊	三三三	
午歲買米振合附訳帳	上郷庄屋専右衛門 天保五年一月	一冊	二九七	
未年買米振合付訳帳	天保六年一月二〇日	一冊	七	
酉年買米振合付訳帳	天保八年一月二二日	一冊	八三三	
亥年貢米振合附訳帳	天保一〇年一月	一冊	一八三	
丑年買米振合附訳帳	天保一二年一月二二日	一冊	三三三	
寅年買米振合附訳帳	天保一三年一月	一冊	三三三	
申年買米振合附訳帳	嘉永元年一月	一冊	二〇〇	
戌年買米振合附訳帳	上郷 嘉永三年一月	一冊	一八八	
亥年買米振合附訳帳	庄屋専右衛門 嘉永四年一月	一冊	三三三	
子年買米振合附訳帳	庄屋専右衛門 嘉永五年一月	一冊	三三三	
寅歲買米振合附訳帳	嘉永七年一月二三日	一冊	三三三	
午歲買米振合付訳帳	安政五年一〇月	一冊	三三三	
巳歲買米振合附訳帳		一冊	二九七	

買米帳

上郷村方御歳米買米帳 上郷庄屋仲右衛門 文 一冊 三三  
政一〇年一〇月  
上郷村方御歳米買米帳 上郷庄屋仲右衛門 文 一冊 三九  
政一一年一〇月

買米請取帳

御米買米金銀請取帳 上郷 文政一〇年一〇月 一冊 三〇  
御米買米請取覚帳 文政一〇年一二月一五日 一冊 三三

その他

端米代他納入

覚(端米代他納入) 上郷庄屋専右衛門 長尾役 一通 吾二  
所宛 弘化四年一二月二六日  
覚(端米代他納入) 上郷庄屋専右衛門 長尾役 一通 吾七  
所宛 嘉永六年一二月二六日  
覚(端米代他納入) 上郷村庄屋見習猪七郎 長 一通 吾九  
尾役所宛 安政二年一二月八日  
覚(端米代他納入) 上郷村庄屋専右衛門 長尾 一通 吾三  
役所宛 安政四年一二月晦日  
覚(端米代他納入) 上郷村庄屋上村専右衛門 一冊 吾三  
長尾役所宛 安政五年一二月一四日  
覚(端米代他納入) 上郷村庄屋上村専右衛門 一通 吾三  
長尾役所宛 安政六年一二月一二日  
覚(端米代他納入) 上郷村庄屋上村専右衛門 一通 吾四  
長尾役所宛 万延元年一二月一四日

覚(端米代他納入) 上郷村庄屋見習上村猪七郎 一通 吾三  
長尾役所宛 文久元年一二月二九日

覚(端米代他納入) 上郷村庄屋見習上村猪七郎 一通 吾六  
長尾役所宛 文久二年一二月二三日

覚(端米代他納入) 上郷庄屋専右衛門 長尾役 一通 吾六  
所宛 一二月二八日

覚(端米代他納入) 上郷年寄良蔵・庄屋専右衛門 一通 吾八  
門 長尾役所宛 一二月一五日

覚(端米代他納入) 上郷村庄屋見習猪七郎 長 一通 吾六  
尾役所宛 辰一二月八日

覚(端米代他納入) 上郷 長尾役所宛 申一一 一通 吾三  
月二三日

覚(端米代他納入) 上郷庄屋専右衛門 長尾役 一通 吾三  
所宛 酉一二月二日

覚(端米代他納入) 長尾役所宛 亥一二月八日 一通 吾五

村方余米売

村方餘米売帳 丑一二月 一冊 三〇

飯米諸式集

番人給并飯米諸式集覚帳 上郷村番人吉助 安政 一冊 三  
三年三月

# 山林

## 山

### 山銀懸銀割寛

山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋仲右衛門	文政四年極	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋仲右衛門	文政八年一二	一冊	二
山銀懸り銀割帳	上郷庄屋仲右衛門	文政一〇歳	一冊	七
山銀掛銀割帳	上郷庄屋専右衛門	天保三年極月	一冊	二
山銀掛銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保五年極	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保六年一	一冊	四
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保七年一	一冊	四
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保一〇年	一冊	二
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保一一年	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保一一年	一冊	一

山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	天保一三年	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	弘化二年極	一冊	九
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	弘化三年極	一冊	十一
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永元年極	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永二年一	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永三年極	一冊	三
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永五年極	一冊	六
山銀懸銀割寛帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永七年一	一冊	五
山銀懸り銀割目録			一通	四
巳年山銀懸り銀割目録			一通	二
寅年山銀掛り銀割目録			一通	二
午年山銀懸り銀割目録			一通	七
戌年山銀掛り銀割目録			一通	六
未山銀掛銀割目録			一通	九
酉年山銀掛り銀割目録			一通	三
丑年山銀懸り銀割目録			一通	三

山方立会勘定帳

山方立会勘定帳 月	上郷庄屋仲右衛門	文政三年極	一冊	三三
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋仲右衛門	文政四年極	一冊	三六
山方立会勘定帳 極月	上郷庄屋仲右衛門	文政一〇年	一冊	三七
山方立会勘定帳 極月	上郷庄屋仲右衛門	文政一一年	一冊	三三
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋仲右衛門	天保二年極	一冊	三五
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	天保三年極	一冊	一八
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	天保五年極	一冊	四
山方立会勘定帳 二月	上郷庄屋專右衛門	天保六年一	一冊	四
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	天保八年極	一冊	九
山方立会勘定帳 極月	上郷庄屋專右衛門	天保一〇年	一冊	三
山方立会勘定帳 一二月	上郷庄屋專右衛門	天保一三年	一冊	一六
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	弘化三年極	一冊	三三
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	嘉永元年極	一冊	三〇

山方立会勘定帳 二月	上郷庄屋專右衛門	嘉永三年一	一冊	二〇
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	嘉永五年極	一冊	一六
山方立会勘定帳 月	上郷庄屋專右衛門	嘉永七年極	一冊	三九
山方立会勘定帳 極月	上郷村庄屋專右衛門	安政五年	一冊	三九
松茸入札帳				
松茸入札帳 日	中両株・蔀屋村	天保八年八月一六	一冊	一五
松茸入札帳	中野村両株・蔀屋村・他一村	天保一三年八月六日	一冊	一五
松茸入札帳	弘化二年八月九日		一冊	二五
松茸入札仕方并代銀請取帳	中両株・蔀屋村	嘉永四年八月一八日	一冊	三〇
入札仕方書				
入札仕方書	村役人		一通	一三
山地券当号反別覚				
山地券当号反別覚帳	城村高場株	上郷城上村	一冊	一五
專治宛	明治八年一〇月			
山林改道條目請印帳				
山林改道條目請印帳	嘉永四年正月		一冊	三三

# 金 融

## 上 納 金

### 上 納 金

覚〔上納金〕 上郷庄屋見習猪七郎 長尾役所宛 一冊 吾九  
弘化二年二月二日

覚〔上納金〕 上郷庄屋見習猪七郎 長尾役所宛 一通 吾二〇  
弘化三年二月三日

覚〔銀上納之事〕 上郷庄屋專右衛門 長尾役所宛 一冊 吾三  
天保一三年二月一八日

覚〔銀上納〕 上郷庄屋專右衛門 長尾御役所宛 一通 吾五  
天保一四年二月一八日

覚〔銀上納〕 上郷庄屋專右衛門 長尾御役所宛 一冊 吾四  
天保一四年二月

覚〔運上銀上納〕 上郷庄屋見習猪七郎 長尾御役所宛 一冊 吾八  
天保一五年二月一五日

覚〔銀納之事〕 上郷猪七郎 長尾役所宛 寅一 一通 吾三  
二月一八日

### 御 用 金

御用金請取覚帳 文政八年二月一四日 一冊 三三

御用金割方帳 上郷庄屋仲右衛門 文政八年二月 一冊 三〇

### 軍 用 金

御軍用銀御利足并小運上銀受取帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永元年二月 一冊 四二

御軍用銀半方返納請取帳 上郷庄屋〔或也〕衛門 嘉永七年二月二九日 一冊 二九

覚〔軍用銀上納〕 上郷村庄屋上村專右衛門 長尾役所宛 文久二年二月一〇日 一通 吾七

覚〔軍用金利足他上納〕 上郷庄屋・年寄 長尾役所宛 戊二二月八日 一通 吾四

### 利 足 銀 上 納

覚〔利足銀上納〕 上郷庄屋專右衛門 長尾役所宛 天保一三年二月三日 一通 吾一

覚〔利足銀上納〕 上郷年寄喜右衛門・庄屋專右衛門 長尾御役所宛 天保一五年二月二七日 一通 吾六

### 租 稅 米 上 納 延 期

乍恐奉願上候〔租稅米上納延期之事〕 河内国讚良郡中野村上郷副戸長上村專治 堺縣令稅所篤宛 明治六年正月一八日 一冊 四六

### 御 役 所 上 納 諸 事 覚

每歲御役所上納諸事覚帳 上郷庄屋專右衛門 安政二年二月 一冊 四

### 冥 加 銀 上 納 帳

每年諸商買職方冥加銀上納帳 上郷 天保一三年八月二八日 一冊 六

### 殿 様 御 用 金

御殿様御用金割方帳 上郷庄屋仲右衛門 文化八年二月 一冊 二四

御 国 役 銀

御 国 役 銀

御国役銀割方帳 上郷庄屋専右衛門 天保三年極月三日	一冊	三六
御国役銀請取帳 上郷庄屋専右衛門 天保三年二月七日	一冊	一五
御国役銀并 <sup>清池</sup> 普請入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保五年二月二日	一冊	四八
御国役銀并 <sup>池普請</sup> 借銀請取帳 上郷庄屋専右衛門 天保五年霜月一七日	一冊	二六
御国役銀 <sup>清池</sup> 普請入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保六年二月二七日	一冊	二七
御国役銀臨時入用并助郷 <sup>(後世)</sup> 上郷庄屋専右衛門 天保六年二月三日	一冊	二七
御国役銀 <sup>(後世)</sup> 右衛門 嘉永一〇〇三月	一冊	七
御国役銀并 <sup>清池</sup> 借利違割帳 嘉永四年一月九日	一冊	八
御国改銀・御軍用利・小運上銀・酉年貸附利・戌年高持利受取帳 上郷庄屋専右衛門 嘉永四年霜月二〇日	一冊	四三
御国役銀助郷入用并 <sup>并</sup> 当人余内銀受取帳 上郷 嘉永五年三月二八日	一冊	四二
御国役銀并 <sup>并</sup> 当年中助郷懸其外臨時入用割帳 上 嘉永七年三月五日	一冊	二七

八

御国役銀臨時入用并助郷四ヶ所懸銀請取帳 上郷庄屋専右衛門 安政二年三月二十四日	一冊	三
御国役銀并臨時入用助郷四ヶ度懸銀請取帳 上郷庄屋専右衛門 安政五年正月	一冊	二八

貸 借

貸 借

押借金割渡 上郷庄屋専右衛門 天保七年二月	一冊	二八
押借金口々利惑助郷入用割帳 上郷庄屋専右衛門 嘉永五年二月八日	一冊	二八

押借金請取銀

押借金請取銀 上郷 天保一〇年二月	一冊	二五
-------------------------	----	----

押借金受取銀 天保一三年二月五日	一冊	二九
---------------------	----	----

小作貸付銀

池押借小前押借取帳 上郷庄屋専右衛門 天保七年二月九日	一冊	四四
-----------------------------------	----	----

小作貸附銀覺帳 上郷村庄屋専右衛門 万延元年十一月二五日	一冊	二五
------------------------------------	----	----

戌年押借下付覚 上郷	一冊	二五
---------------	----	----

名目金銀借請

御名目金銀借請御差留諸証文 上郷年寄良藏・徳五郎・他四名 長尾御役所宛 嘉永五年九月	一冊	二五
---	----	----



拝借銀元利上納

覚〔拝借銀元利上納〕 上郷年寄徳兵衛・庄屋専  
右衛門 長尾御役所宛 天保一五年二月一六日 一通 五七

拝借助郷割請取帳

拝借口々利息助郷割請取帳 上郷庄屋専右衛門 嘉永  
五年二月一四日 一冊 四七

拝借返金割帳

巳年貳百五拾金相借返金割帳 上郷庄屋専右衛  
門 天保五年霜月 一冊 三

申年三百兩拝借返金割帳 上郷庄屋専右衛門  
天保八年二月 一冊 三六

綿不作拝借銀返濟割方帳

丑歲綿不作拝借銀返濟割方帳 上郷庄屋専右衛  
門 天保三年二月二日 一冊 三六

丑年綿不作拝借銀返濟割方帳 上郷庄屋専右衛  
門 天保五年二月二日 一冊 四〇

綿不作拝借銀請取帳

綿不作拝借銀請取帳 天保二年二月三日 一冊 三六

丑年綿不作拝借銀請取帳 上郷庄屋専右衛門  
天保三年二月三日 一冊 三七

不作物借銀返濟割方帳

丑年不作物借銀返濟割方帳 上郷庄屋専右衛門  
天保二年二月二八日 一冊 三六

帳簿

金銀錢判取帳

金銀錢判取帳 上郷 天保八年二月二日 一冊 三三五

金銀錢渡判取帳 上郷 天保一〇年二月二日 一冊 七一

金銀払渡帳

金銀錢取渡之通 上郷銀方年寄喜右衛門 天保五  
年正月 一冊 二六

金銀錢渡帳 上郷 天保六年二月二日 一冊 一六六

金銀払覚帳 上郷庄屋専右衛門 天保八年二月  
二日 一冊 三三四

金銀錢渡覚帳 上郷村方 天保一一年二月二  
日 一冊 三七

金銀払渡帳 上郷 天保一五年二月三日 一冊 一四

金銀錢払帳

金銀錢払帳 上郷 天保三年二月 一冊 四

金銀錢払帳 上郷庄屋専右衛門 天保七年一  
月二日 一冊 四六三

金銀錢之通

金銀錢之通 上郷銀方年寄喜右衛門 天保一三  
年正月 一冊 二七

金銀錢之通 上郷銀方徳五郎宛 嘉永四年正  
月 一冊 二八

銀納取附覚



戌下用懸請取帳 二月二三日	上郷庄屋専右衛門	嘉永三年一	一冊	三〇	三ヶ村立会勘定帳 平井・国分・黒石三ヶ村 明治二二年	一冊	四九
下用懸請取覚帳 月二三日	上郷庄屋専右衛門	嘉永五年極	一冊	一五	講		
下用懸請取帳 上郷村	安政二年二月二三日	一冊	三〇		講銀請取帳		
下用掛り請取帳 上郷村	安政五年二月二三日	一冊	一六		御講銀請取帳 文政二二年三月一四日	一冊	七
丑年下用受取銀		一冊	一六		御講割方帳 上郷庄屋仲右衛門 天保二年正月二 四日	一冊	三二
下用払方帳					御講掛請取帳 天保二年正月二九日	一冊	三五
下用払覚帳 天保一〇年一二月		一冊	三〇		御用金井御講銀請取帳 上郷庄屋仲右衛門 天保 二年一〇月一二日	一冊	三四
卯年下用払方帳 上郷庄屋専右衛門	天保一四年 二月二二日	一冊	三七		落札銀割戻し銀		
下用払方帳 上郷庄屋専右衛門	嘉永元年一二月 二二日	一冊	三六		御講落札銀割戻し帳 天保三年三月	一冊	三三
戌下用払方覚帳 上郷庄屋専右衛門	嘉永三年一 二月二三日	一冊	三六		質		
下用払方帳 上郷庄屋専右衛門	嘉永五年極月二 三日	一冊	四七		質物証文		
下用払方帳 安政元年二月二二日		一冊	三二		質物証文之事 質主上郷塚村伊勢講惣代吉兵衛 上郷塚村善六宛 寛政八年一二月	一通	三一
下用助郷請取帳					田地譲り証文之事 譲り主多羅尾長兵衛・証人同 村七左衛門・他一名 伊勢講中宛 享和元年一二月	一通	三二
三ヶ村立会勘定帳					質物出日記 大阪市北区真砂町四拾番屋敷西田店 明治四二年五月二日起	一冊	三三
三ヶ村立会雑費支出帳 国分・平井・黒石三ヶ村 明治二〇年度		一冊	四〇		毎歳田地質物譲り奥印帳并山譲り 上郷庄屋仲 右衛門	一冊	三九

每歲田地質物覺帳 上郷庄屋仲右衛門

一冊 二九一

## 宗教

### 寺

#### 住職就任願

乍恐奉願上候〔住職就任願〕 河内国第三区讚良郡中野村上郷禮中惣代西川長太郎・副戸長上村專治・他一名 堺県令税所篤宛 明治六年二月 一冊 四九二

乍恐願上奉候〔住職就任願〕 河内国第三区讚良郡中野村上郷禮中惣代中尾久三郎・戸長小西德平 堺県令税所篤宛 明治六年三月 一冊 四九五

#### 寄付

琴平神社寄附帳 大字国分 明治二六年旧三月 一冊 四九六

金毘羅講有志金徵集簿 大字国分 明治二六年四月 一冊 四九七

#### 出達御断

出達御断〔大峯山参詣〕 河内国第三区讚良郡中野村上郷副戸長上村專治 堺県令税所篤宛 明治五年八月 一通 四九七

出達御断〔大峯山参詣〕 河内国第三区讚良郡中野村上郷副戸長上村專治 堺県令税所篤宛 明治六年八月 一通 四九八

#### 証文

本寺証文之事 圭順書判 久貝遠江守殿長尾御役所宛 文政三年一〇月 一通 二九二

### 宮

#### 宮讚良立会勘定帳

宮讚良立会勘定帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永五年極月 一冊 二九三

宮讚良立会勘定帳 上郷村庄屋專右衛門 安政五年極月 一冊 二九四

#### 宮御殿檜皮葺諸入用勘定帳

宮御殿檜皮葺諸入用勘定帳 中野村本郷 天保三年二月 一冊 二九五

宮御殿檜皮葺諸入用勘定帳 上郷中西株部屋村 天保三年二月 一冊 二九六

#### 宮諸入用立会勘定帳

宮諸入用立会勘定帳 上郷庄屋專右衛門 天保一〇年極月 一冊 二九七

宮諸入用立会勘定帳 天保二年二月 一冊 二九八

宮諸入用立会勘定帳 上郷庄屋專右衛門 天保二年二月 一冊 二九九

宮諸入用立会勘定帳 上郷庄屋專右衛門 天保一三年二月 一冊 三〇〇

宮様入用勘定帳 天保一四年二月 一冊 三〇一

宮讚良入用立会勘定帳 上郷庄屋專右衛門 弘化二年極月 一冊 三〇二

宮讚良入用立会勘定帳 上郷庄屋専右衛門 嘉永元年極月 一冊 三三

宮讚良入用立会勘定帳 上郷庄屋専右衛門 嘉永三年二月 一冊 三二

宮讚良入用割帳

宮讚良入用割帳 文政八年二月 一冊 三六

宮讚良入用割帳 上郷庄屋仲右衛門 文政一〇年極月 一冊 三三

宮讚良入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保三年極月 一冊 三〇

宮讚良入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保五年極月 一冊 三三

宮讚良入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保六年二月 一冊 三六

宮讚良入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保七年二月 一冊 三七

宮讚良入用割帳 上郷庄屋専右衛門 天保八年極月 一冊 三六

宮讚良入用割帳 上郷 天保一〇年二月 一冊 三六

宮讚良入用割帳 上郷 天保一一年二月 一冊 三〇

交通

助郷

助郷懸割帳

淀宿助郷懸割帳 上郷庄屋専右衛門 嘉永四年一月朔日 一冊 三〇

淀宿助郷懸割帳并御国役銀 上郷庄屋専右衛門 嘉永五年三月二三日 一冊 四四一

臨時入用金并助郷割取帳 嘉永五年九月二八日 一冊 四四二

人足

御役所人足帳

御役所人足帳 上郷 天保二年正月 一冊 三七

御役所人足通 上郷 天保三年正月 一冊 一四

御用村繼人足帳

御用村繼人足通 上郷 天保三年二月 一冊 三二

御用村繼人足帳 天保六年二月 一冊 三六

御用村繼人足帳 上郷 天保八年二月 一冊 六

御用村繼人足帳 上郷 天保一〇年二月 一冊 一四

御用村繼人足通 上郷 天保一二年二月 一冊 一九一

御用村繼人足通	上郷	天保一三年二月	一冊	一三
御用村繼人足通	上郷	天保一四年二月	一冊	一六
御用村繼人足帳	上郷	弘化二年二月	一冊	一三
御用村繼人足帳	上郷	嘉永三年二月	一冊	一六
御用村繼人足帳	上郷	嘉永四年二月	一冊	一七
御用村繼人足帳	上郷	嘉永五年二月	一冊	一八
普請人足帳	上郷	天保一三年二月	一冊	一三
茨谷池堤繕普請人足帳	上郷庄屋専右衛門	天保六年七月一八日	一冊	一六
御歳普請諸人足帳	上郷村庄屋年寄	万延元年八月	一冊	一七
〔宮普請人足帳〕	上郷		一冊	一七
助郷一条人足賃	九月		一冊	一三
人足帳	上郷庄屋専右衛門	天保六年七月	一冊	一六
室池東堤原附人足帳	上郷庄屋専右衛門	天保六年七月	一冊	一六
道修繕			一冊	一六
〔道修繕の諸書〕	河内国第三区讚良郡中野村上郷戸長小西徳平・副戸長上村專治・他二名	堀縣令	一冊	一六
郷所篤宛	明治六年	一二月二〇日		
室池立会勘定帳	中野村	天保一〇年二月	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	天保一一年二月	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	天保一二年二月	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	天保一三年二月	一冊	一七
室池立会勘定帳	中野村	弘化二年二月九日	一冊	一七
室池立会勘定帳	中野村	嘉永元年二月	一冊	一八
室池立会勘定帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永三年二月一四日	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	嘉永五年二月	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	嘉永七年二月一〇日	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	安政二年二月	一冊	一八
室池立会勘定帳	中野村	天保八年一〇月	一冊	一八

新池堤築立 上郷 天保六年 一冊 三六

新池堤築立

乍恐書付以奉願上候〔新池堤築立〕 河州讀良郡 一冊 三三

納所普請

納所普請諸入用控帳 上郷村村役人 文久二年 一冊 四〇

村方

買物

村方買使帳

村方買使帳 上郷庄屋仲右衛門 文政八年極月 一冊 四〇

村方買使帳 上郷庄屋仲右衛門 文政一〇年極月 一冊 三六

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保三年極月 一冊 三五

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保五年極月 一冊 三五

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保六年極月 一冊 三六

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保八年一二月 一冊 三六

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保一〇年正月 一冊 三六

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保一〇年極月 一冊 三六

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 天保一二年二二月 一冊 三三

村方買使帳 天保一二年一二月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 弘化二年極月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永元年極月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永三年一二月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永四年極月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永五年極月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 安政二年極月 一冊 三三

村方買使帳 上郷庄屋專右衛門 安政五年極月 一冊 三三

買物帳

買物分覺 上郷喜右衛門 上郷庄屋專右衛門宛 天保三年一二月 一冊 二九

買物帳 上郷村 一冊 三〇

買使

買使控 德兵衛 上郷御村方宛 天保三年 一冊 六

当座買使帳

当座買使帳 当座村役人 嘉永三年正月 一冊 三九

当座買使帳 当座村役人 嘉永四年正月 一冊 四〇

当座買使帳 逢坂郷役人 嘉永五年正月 一冊 四一

村方当座帳

村方当座帳	上郷庄屋年寄	文政一〇年正月	一冊	二七
村方当座帳	上郷庄屋年寄	天保六年正月	一冊	四
村方当座帳	上郷庄屋専右衛門	嘉永五年正月	一冊	三六
村方当座帳	上郷庄屋専右衛門	〇永七年	一冊	三三
村方当座帳			一冊	二六
請				
村方請取帳	上郷	亥歲	一冊	二五
請取帳				
已年請取帳	上郷	弘化二年	一冊	三五
請取帳	上郷	嘉永元年二月二日	一冊	二五
請取帳	上郷村方	嘉永五年二月三日	一冊	二四
請取帳	上郷	午年	一冊	二九
飲食代受取				
寛覚(飲食代受取)	河内屋平五郎	上郷御役人中	一冊	二五
諸入用				
諸入用勘定				

(諸入用勘定)	中野村伊左衛門	御村方宛	天	一冊	三〇
保五年二月					
讀良諸入用立会勘定帳	中野村他村々	天保一	一冊	一九二	
三年二月					
諸入用名寄帳					
酉諸入用名寄帳	嘉永二年二月		一冊	二七	
戌諸入用名寄帳	逢坂郷庄屋・年寄	嘉永三年一	一冊	一七	
二月					
諸入用名前帳					
亥諸入用名前帳	逢坂郷庄屋・寄寄	嘉永四年一	一冊	二六	
二月					
子諸入用名前帳	逢坂郷庄屋・年寄	嘉永五年一	一冊	二六	
二月					
諸入用勘定済印帳					
卯歲諸入用勘定済印帳	上郷年寄佐治郎・久左衛		一冊	二九	
門・他一名	長尾御役所宛	文政三年三月			
午歲諸入用勘定済印帳	上郷年寄德兵衛・久左衛		一冊	二九	
門・他二名	長尾御役所宛	文政六年三月			
酉年諸入用勘定済印帳	上郷年寄德兵衛・専右衛		一冊	二七	
門・他二名	長尾御役所宛	文政九年三月			
子歲諸入用勘定済印帳	上郷年寄德兵衛・専右衛		一冊	二六	
門・他二名	長尾御役所宛	文政一二年三月			
丑歲諸入用勘定済印帳	上郷年寄德兵衛・同専右		一冊	二六	
衛門・他二名	長尾御役所宛	文政一三年正月			
卯年諸入用勘定済印帳	上郷年寄喜右衛門・德兵		一冊	二五	
衛・他二名	長尾御役所宛	天保三年三月			



已年諸入用勘定済印帳 上郷年寄喜右衛門・徳兵衛・他二名 長尾御役所宛 天保五年三月	一冊	三〇
亥年諸入用勘定済印帳 上郷年寄久左衛門・同喜右衛門・他二名 長尾御役所宛 天保一一年三月	一冊	六〇
子歲諸入用勘定済印帳 上郷年寄久左衛門・同喜右衛門・他二名 長尾御役所宛 天保一二年三月	一冊	五
丑年諸入用勘定済印帳 上郷庄屋久左衛門・喜右衛門・他二名 長尾御役所宛 天保一三年三月	一冊	五
小入用帳		
去亥年小入用帳 河州讚良郡上郷村百姓代喜兵衛・同久右衛門・他四名 小堀數馬様御役所宛 元治元年三月	一冊	三
去亥年小入用帳 河州讚良郡中野村三郷 元治元年三月	一冊	五
去卯年小入用帳 河州讚良郡中野村 慶応四年三月	一冊	五
入用割		
上郷二付入用割 嘉永四年	一冊	三
殿様諸入用		
殿様御入用 御屋敷道普請惣右衛門一件入用割帳 上郷庄屋專右衛門 天保一〇年一〇月一八日	一冊	三
殿様御入用 江戸屋敷道普請惣右衛門一件入用割受取帳 天保一〇年一〇月二四日	一冊	六
殿様京都御在番并郷中諸入用弘帳 両郡庄屋・年寄 嘉永三年極月	一冊	四
殿様御在番并助郷入用割帳 上郷庄屋專右衛門 嘉永五年九月一八日	一冊	三

買物・請取・諸入用・支弘

支 弘		
跡弘勘定帳		
跡弘勘定帳 逢坂郷庄屋・年寄 嘉永二年正月	一冊	五
跡弘勘定帳 逢坂郷庄屋・年寄 嘉永三年正月	一冊	五
跡弘勘定帳 逢坂郷庄屋・年寄 嘉永四年正月	一冊	六
跡弘勘定帳 逢坂郷庄屋・寄寄 嘉永五年正月	一冊	三
跡弘勘定帳 逢坂郷庄屋・年寄 嘉永七年正月	一冊	三
弘方請取		
弘方請取 上郷 天保一五年二月	一冊	五
弘 方 帳		
午年弘方帳 上郷庄屋專右衛門 天保五年	一冊	八
丑年弘方帳 天保一二年二月	一冊	三
寅年弘方帳 上郷 天保一三年二月二三日	一冊	三
弘方寛		
弘判取帳	一冊	三
寅年弘判取帳 一二月二三日	一冊	三
諸 弘 帳		
諸弘帳 安政五年二月	一冊	二〇
子年諸弘帳	一冊	一

## 払

御払 天保五年二月	一冊	八十三
御払帳 天保一四年	一冊	三六
払覚 丑年	一冊	三九
御払覚	一冊	一八四三
改 払		
改払帳 文政八年極月	一冊	四〇
改払諸事控帳 文政一〇年極月	一冊	三八
改払覚 天保八年	一冊	二二一
改払覚 天保八年	一冊	二二二
改払覚 天保一〇年四月	一冊	二〇三
改払并当人掛り帳 正原寺 弘化二年	一冊	一六
改払覚 安政二年一月	一冊	二五
改払帳 卯年極月二六日	一冊	二九
改払帳 巳一二月一八日	一冊	二四
改払	一冊	二七
子年改払覚	一冊	三七二
亥年改払	一冊	四三
戌年改払	一冊	四四

## 鉄 砲

## 鉄砲御請書

鉄砲御請書 上郷年寄久左衛門・徳兵衛・他二名 長尾御役所宛 天保一二年三月	一冊	三六
鉄砲御請書 上郷年寄久左衛門・徳兵衛・他二名 長尾御役所宛 天保一三年三月	一冊	三三
鉄砲御請書 上郷年寄久左衛門・徳兵衛・他二名 長尾御役所宛 天保一八年三月	一冊	三七
鉄砲御改		
鉄砲御改一札 上郷年寄佐次郎・同久左衛門・他 一名 長尾御役所宛 文政三年三月	一冊	三六
懸 り		
当人懸り		
当人懸り 天(保)一〇年	一冊	二六
当人掛り勘定 天保一四年二月	一冊	三三
当人懸り 天保一五年	一冊	一四
当人懸り 改帳 嘉永七年二月	一冊	四〇一
当人懸り 安政五年二月	一冊	四三
当人懸り 上郷 子年	一冊	二七
丑年当人懸り并てんかし差引覚	一冊	一八

当人懸り控

一冊 三〇二

当人懸り之覚 喜右衛門

一冊 四三

### 共有地

#### 共有地分烈

共有地売却代金大字国分戸毎割渡シ帳 国分惣代 明治二三年五月一〇日 一冊 四三

山林地分烈ニ付諸事記帳 大字国分地主惣代 明治二四年四月 一冊 四七

山林地分烈ニ付登記料及印紙価金戸毎徴集簿 大字国分地主惣代 明治二四年七月 一冊 四四

国分共有地密林畑山林戸毎エ分裂反別地価仕出し帳 大字国分 明治二四年八月 一冊 四〇

国分共有地密林畑山林戸毎エ分裂反別地価仕出し帳 大字国分 明治二四年八月 一冊 四三

字江内及び字納米山々共有地ラ今般各々エ分裂ニ付諸入費勘定帳 大字国分地主惣代中 明治二五年一月五日 一冊 二九

大字共有地分裂掛り入費割方集金帳 大字国分 明治二五年一月一〇日 一冊 四六

字長尾・全上ノ池・全焼尾・全掃り尾山林地所分裂ニ付諸入費勘定帳 大字国分山林中 明治三七年一月 一冊 四三

分裂掛り入費取附記 一冊 四六

### その他

長崎阿蘭陀入津 寛政八年 一冊 三〇

織屋重助一件控 弘化三年二月一八日 一冊 三〇

村方田地并諸帳面引渡帳 元治元年三月 一冊 二八

〔分村歎願〕 中野村伍長中尾久兵衛・中尾孫太郎 明治七年三月五日 一冊 二七

割木通 西口屋請兵衛 三鄉村方宛 辰極月 一冊 二二

〔書簡〕 逢坂郷東光寺 上郷上村専右衛門宛 一冊 二二

小堀支配四ヶ村割 一冊 二六

流書拔帳 西田店小林安兵衛 一冊 二九



河内国志紀郡柏原村小山家文書目錄



# 分類項目表

## 村政

1	治安	.....	一五
2	御触状留、諸勝負取締、質物訴訟	.....	一五
3	戸口	.....	一六
4	宗門人別帳、宗門家数人別牛馬員数帳	.....	一六
5	租税	.....	一七
6	検見、二条御藏詰米、皆済	.....	一七
7	財政	.....	一八
8	小入用帳、御用銀、その他	.....	一八
9	農政	.....	一九
10	小前帳、取米帳、秤改	.....	一九
11	普請	.....	二〇
12	大和川杭普請	.....	二〇





# 河内国志紀郡柏原村小山家文書

## 村 政

治 安

### 御 触 状 留

御公儀御触状留	寛政三歳正月二日	一冊	一
御公儀御触状留	寛政四歳正月二日 庄屋忠右衛門	一冊	二
御公儀御触状留	寛政一一年正月	一冊	三
御公儀御触状留	寛政一二年正月二日	一冊	四
御触状留帳	文化四歳正月二日	一冊	五
御触状之留	文化六年正月二日	一冊	六
御公儀御触状留	文化一一年正月二日	一冊	七
御公儀御触状留	文化一五歳正月二日	一冊	八
御公儀御触状留	文政六歳正月	一冊	九
御公儀御触状留	文政八歳正月	一冊	一〇

### 諸勝負取締

### 質物訴訟

御届書」かるた諸勝負致居拾人之者召連御訴にかかる村方入用御届」柏原村庄屋忠右衛門・年寄庄左衛門 角倉與一様御役所宛 天明九年正月

一冊 三

田地并家屋舖本質証文差置候節本人買掛二而御印形戴御押込被仰付候節本質証文取置候者願上候留 伊兵衛病氣二付代喜兵衛 御奉行宛 安永八年三月

### 戸 口

### 宗門人別帳

河内国志紀郡柏原村宗門御改帳 庄屋恒右衛門・年寄源左衛門・他六名 角倉與一様御役所宛 延享三年三月

河内国志紀郡柏原村宗門御改惣奥寄帳 柏原村庄屋忠右衛門・年寄源兵衛・他七名 角倉與一様御役所宛 安永八年三月

酉年宗門人別帳 柏原村東方庄屋平助・年寄庄右衛門・他五名

東方・西方・酉年宗門人別惣奥寄帳 柏原村東方庄屋平助・同村西方庄屋清兵衛 池田仙九郎様御役所宛 享和元年三月

酉年宗門人別帳 柏原村東方庄屋平助・年寄庄右衛門・他五名 池田仙九郎様御役所宛 享和元年三月

一冊 一四三

雜 (宗門人別帳) 河州安宿郡玉手村浄土宗安福寺 一枚 五

宗門家数人別牛馬員数帳

宗門御改寺請井家数人別牛馬員数帳・大念佛  
柏原村東方庄屋忠右衛門・年寄与次兵衛・他三名  
小堀中務様御役所宛 一冊 三

宗門御改寺請井家数人別牛馬員数帳・浄土真宗  
柏原村東方庄屋忠右衛門・年寄与次兵衛・他三名  
小堀中務様御役所宛 文政四年三月 一冊 三

宗門御改寺請井家数人別牛馬員数帳・浄土真宗  
柏原村東方庄屋忠右衛門・年寄与次兵衛・他三名  
小堀中務様御役所宛 文政四年三月 一冊 三

宗門御改寺請井家数人別牛馬員数帳・大念佛  
柏原村東方庄屋忠右衛門・年寄庄右衛門・他三名  
小堀主税様御役所宛 文政九年三月 一冊 三

宗門御改寺請井家数人別牛馬員数帳・法花宗  
柏原村東方庄屋忠右衛門・年寄庄右衛門・他三名  
小堀主税様御役所宛 文政九年三月 一冊 三

宗門御改寺請井家数人別牛馬員数帳・浄土宗  
柏原村東方庄屋忠右衛門・年寄庄右衛門・他三名  
小堀主税様御役所宛 文政九年三月 一冊 三

(寛政三年ヨリ寛政二二年迄舟橋村家数人数)

租 税

検 見

河州志紀郡柏原村子之小検見帳 河州志紀郡柏  
原村庄屋忠右衛門・清兵衛・他四名 関戸條左衛門・  
中井用右衛門宛 一冊 七

二条御蔵詰米

御物成米二条御蔵詰御割賦留 角与一 庄屋・年  
寄宛 寛政元年一〇月一六日 一冊 五

去年二条御蔵詰米諸入用帳 河州志紀郡納百姓  
太郎左衛門・人足差配人柳屋甚七・他一名 都筑金  
三郎様御役所宛 弘化四年三月 一冊 三

皆 濟

成年御年貢皆濟目録 河州志紀郡柏原村庄屋忠  
右衛門・清兵衛・他四名 辻弥五左衛門宛 元禄八  
年一二月 一冊 六

期月皆濟被仰渡御請書 河内郡・高安郡・惣代中  
新開村庄屋善左衛門・植付村庄屋理兵衛・他八名  
角倉與一様御役所宛 天明四年一二月 一冊 六

財 政

小入用帳

丑年諸色小入用帳 河州志紀郡柏原村庄屋忠右衛  
門・年寄源兵衛・他三名 石原清左衛門様御役所宛  
明和六年一二月 一冊 三

亥年小入用帳 東方小前百姓四郎兵衛・平七・他  
八七名 池田岩之丞御役所宛 天保一一年三月 一冊 三

御用銀

御用銀御請書 柏原村庄屋忠右衛門・年寄・孫右  
衛門・他一名 角倉與一様御役所宛 天明六年八月 一冊 元

その他

名替銀取集 正徳二年九月 一冊 二

口上〔取替銀割方仕方及び御渡依頼〕 中新田 一冊 三  
 村善左衛門・新堂村庄左衛門 郡々御惣代中宛 酉  
 極月二二日

農 政

小 前 帳

段免地所小前帳 東方庄屋平助・年寄与次兵衛・ 一冊 三  
 他四名 池田仙九郎様御役所宛 寛政一二年六月

取 米 帳

河州志紀郡六ヶ村・三拾ヶ年御取米拾ヶ年家数 一冊 三  
 人数書上惣寄帳 惣代柏原村庄屋平助 谷町御役  
 所宛 享和三年二月

式拾ヶ年御取米辻帳 河州志紀郡柏原村庄屋恒 一冊 三  
 右衛門・庄屋市郎左衛門 他二名 堺県御出張御役  
 所宛 明治三年七月

秤 改

秤一件書付之控 角倉與一殿御代官所 河州志紀 一冊 三  
 郡柏原村庄屋左次兵衛・こんぶ屋甚六 他四名  
 御奉行宛 天明五年一〇月二二日

諸秤員数帳 河州志紀郡柏原村庄屋恒右衛門 天 一冊 三  
 保一一年五月一日

普 請

大和川杭普請

新大和川通北堤・御国役御普請所・腹付重置裏 一冊 三七  
 根杭願上帳 河州丹北郡吉田村・河州志紀郡吉田  
 村・他五村 文化四年九月

新大和川通北堤・御国役御普請所・腹付重置裏 一冊 三七  
 根杭願上帳 河州志紀郡柏原村・河州同郡北条村・  
 他五村 文化四年九月

新大和川通北堤・御国役御普請所・腹付重置裏 一冊 三七  
 根杭願上帳 河州志紀郡柏原村・河州同郡北条村・  
 他五村 文化四年九月

新大和川通北堤・御国役御普請所・腹付重置裏 一冊 三七  
 根杭願上帳 河州志紀郡柏原村・河州志紀郡北条  
 村・他五村 文化四年九月

新大和川通・御国役御普請所・腹付重置裏根杭 一冊 三七  
 願上帳 河州志紀郡柏原村・河州同郡北条村・他五  
 村 文化四年九月

新大和川通北堤・御国役御普請所・腹付重置裏 一冊 三七  
 根杭願上帳 河州志紀郡柏原村・河州同郡北条村・他  
 五村 文化四年九月

新大和川通北堤・御国役御普請所・腹付重置裏 一冊 三七  
 根杭願上帳 河州志紀郡柏原村・河州同郡北条村・  
 他五村 文化四年九月



摂津国豊島郡野畑村城戸家文書目録



## 分類項目表

A	支配	二三
1	届	二三
2	願届	二三
	人別	二三
	宗門改、五人組帳、その他	二三
B	村	二四
3	村政	二四
	廻状、規定、その他	二四
4	村財政	二四
	勘定書、諸入用	二四
5	戸口	二五
	奉公人、名寄せ	二五
C	土地、建物	二五
6	土地	二五
	地券、譲渡売買証文、土地価格	二五
7	建物	二六
	売渡し	二六
D	金融	二六
8	貸借	二六
	貸借、質物	二六
9	講	二七
	摂州十三日講、燈明講、大谷講、その他	二七
E	商業	二九
10	商売	二九
	受取、勘定書、通、その他	二九
F	農業	三〇
11	年貢	三〇
	年貢	三〇
12	その他	三〇
	その他	三〇
G	社会	三〇
13	家制	三〇
	相続、目録、普請、買物覚、通、書簡、冠婚葬祭、見舞、その他	三〇
14	寺社	三一
	寄付金、冥加錢、燈籠、伊勢参宮、その他	三一
H	交通	三一
15	通行	三一
	往来手形	三一





# 摂津国豊島郡野畑村城戸家文書

## 支配

届

願届

乍恐以書付奉願上候〔出役人数二付〕 御領分  
豊嶋郡四郡村々庄屋 桜井谷御役所宛 文久四年  
二月一七日

一通 三

御巡見二付書上帳 豊嶋郡野畑村年寄吉右衛門・  
庄屋鹿嶋清右衛門 御家老豊泉若左衛門宛 元治  
二年四月二十七日

一冊 七

乍恐以書附御断奉申上候〔病氣二付御断〕 御  
領分豊嶋郡野畑村願人市兵衛・仁右衛門・他四名  
御出役望月太兵衛宛 慶応三年三月一二日

一通 三

諸願御触書写帳 庄屋吉右衛門 明治三年正月

一冊 三

敵死牛御届々 豊嶋郡第二区四番<sup>(成出)</sup>野畑村持主  
何々 大阪府権知事渡辺昇宛 明治六年一〇月

一通 三

諸願届綴

一冊 一〇

紛失御届々 豊嶋郡第二区四番組野畑村松本市兵  
衛

一通 三

人別

宗門改

宗門御改下帳 豊嶋郡野畑村年寄吉右衛門・庄屋  
鹿嶋清右衛門 石川八郎兵衛・望月太平衛・他二名  
宛 慶応三年三月 一冊 五

宗門御改下帳 豊嶋郡野畑村年寄吉右衛門・庄屋  
鹿嶋清右衛門 石川八郎兵衛・望月太兵衛・他二名  
宛 慶応三年三月 一冊 六

宗門御改下帳 豊嶋郡野畑村報恩寺 井上八十  
八・氣藤嘉内・他一名宛 明治三年三月 一冊 三

〔宗門御改帳四冊他入れ封筒〕 豊嶋郡野畑村  
慶応三年三月 一袋 三

宗門呼出し覚帳 豊嶋郡野畑村庄屋鹿嶋清右衛  
門・年寄吉右衛門 慶応三年三月 一冊 三

五人組帳

五人組帳 豊嶋郡野田村年寄城戸吉右衛門・庄屋  
清右衛門 石川八郎兵衛・望月太兵衛・他二名宛  
慶応三年三月 一冊 三

五人組下帳 豊嶋郡野畑村年寄吉右衛門・庄屋鹿  
嶋清右衛門 石川八郎兵衛・望月太兵衛・他二名宛  
慶応三年三月 一冊 六

五人組下帳 豊嶋郡野畑村組頭嘉兵衛・源右衛門・  
他一二名 明治三年三月 一冊 九

届・人別

二三

その他

宗門寺請狀之事 同郡同村自得寺 知事位 天保  
六年八月 一通 壹

人別増減帳 豊嶋郡野畑村庄屋鹿嶋清右衛門・年  
寄吉右衛門 慶応三年三月 一冊 二五

半原縣管轄第一区戸籍 摂州豊嶋郡野畑村年寄  
渋谷源兵衛・庄屋城戸吉右衛門 明治四年九月改 一冊 二〇

村

村 政

廻 状

〔廻状〕 庄屋城戸吉右衛門 南刀根山村・曾根  
村・他一二ヶ村御役人中宛 未二月一二日 一通 三三

〔廻状〕 庄屋城戸吉右衛門 能勢郡栗栖村・神山  
村・他一ヶ村御役人中宛 未二月一二日 一通 三三

〔廻状〕 庄屋城戸吉右衛門 有馬郡田尾寺村・結  
場村・他四ヶ村御役人中宛 未二月一二日 一通 三四

廻状 野畑村庄屋城戸吉右衛門 桜塚村・曾根村・  
他七ヶ村御役人中宛 未七月二八日 一冊 三〇

廻状 庄屋吉右衛門 二月二七日 一通 三〇

規 定

差入申規定書之事 簾野村本人兵右衛門・同断伴  
弥之吉・他一名 井根村幸兵衛・同村甚三郎宛 嘉  
永七〔年〕正月 一通 空

その他

田畑名寄帳 野畑村吉右衛門 寛政五年二月 一冊 七  
諸帳面引渡し目録控 城戸橘治 明治七年正月  
一八日 一冊 一〇

村 財 政

勘 定 書

勘定帳 文政一三年二月二三日 一冊 二〇

勘定帳 野畑村吉右衛門 文政一三年二月 一冊 二五

四郡勘定帳 村々庄屋 天保二年二月一六日 一冊 二三

四郡勘定帳 野畑村庄屋源兵衛・小路村庄屋半兵  
衛・他二名 天保六年二月一六日 一冊 二〇

四郡勘定帳 野畑村庄屋源兵衛・小路村年寄七兵  
衛・他二名 天保七年二月一六日 一冊 二三

四郡勘定帳 野畑村庄屋源兵衛・小路村年寄七兵  
衛・他二名 天保八年二月一六日 一冊 二五

四郡勘定帳 野畑村庄屋長兵衛・小路村庄屋忠兵  
衛・他二名 天保九年二月一六日 一通 二六

勘定出入帳 野畑村吉右衛門 天保一四〔年〕二  
月 一冊 一五

四郡勘定帳 野畑村庄屋松本長兵衛・小路村庄屋  
忠兵衛・他二名 天保一五年二月一六日 一冊 一六

四郡勘定帳 野畑村庄屋松本長兵衛・小路村庄屋  
忠兵衛・他二名 嘉永四年二月一六日 一冊 一五



譲り渡申証文之事 上生野村譲り主卯左衛門・同村親類伊三郎・他一名 天明二年五月	一通	空
替地証文之事 上生野村本人卯左衛門・吉兵衛・他三名 彦四郎宛 天明五年五月	一通	番
相譲り申畑ケ之事 黒川村本人弥兵衛・同断子久藏・他三名 中祢村安七宛 寛政七年三月	一通	番
替地証文之事 藤野村本人庄七・同断子甚左衛門・他三名 いね助右衛門宛 寛政八年一〇月	一通	番
加入証文之事 桜井谷少路村賈主嘉兵衛・瀬川請人源左衛門・他二名 桜井谷野畑村吉右衛門宛 文政元(年)一二月	一通	二三
譲り渡申畑ケ林山之事 丹波大名草村譲り主善兵衛・黒川善高研年寄与平次・他一名 幸兵衛宛 弘化三年五月	一通	番
永久譲り渡申畑ケ之事 多ヶ本吉右衛門・同村親類惣中治三郎・他一名 井根幸兵衛宛 嘉永四年一月	一通	番
永久ニ譲り渡シ申畑ケ之事 譲り主大名草村利三郎・藤野村百姓代興右衛門・他二名 黒川井祢村幸兵衛宛 嘉永七年一二月	一通	突
山林譲り証文之事 井根村譲り主治三郎・同村証人甚三郎・他一名 井根村万左衛門宛 安政二年五月	一通	兎
永久譲り渡申林山之事 桜ヶ畑村譲り主喜右衛門・スタレ同断六左衛門・他三名 藤野村万左衛門宛 安政五年四月	一通	三
為取替証文一札之事 為取替主藤田仁右衛門・仲人藤本太右衛門 同村中司治左衛門宛 明治七年一月	一通	六

記(田地売渡し) 藤本辰蔵 城戸元吉宛 一七  
年七月二十九日 一通 二三

譲り渡申山林之事 一通 四

譲り渡申山林之事 一通 四

土地価格 一通 三

(田地価格) 一通 三

建物

売渡し

八畳土蔵売渡し之事 西稻村大工藤吉 野畑村吉右衛門宛 戌一二月一九日 一通 三

# 金融

貸借

貸借

預り申銀子之事 預り主同村善兵衛 当村吉右衛門宛 嘉永三(年)一二月 一通 突

覚(利足銀請取) 摂州豊嶋郡野畑村・他六ヶ村 御勘定方御役所宛 文久元年三月一五日 一通 四

御願一札之事(拝借銀利足之件) 能勢郡山辺村庄屋嘉十郎・栗栖村庄屋利左衛門・他一名 郷中御役人中宛 元治二年二月 一通 三

借用申金子之事 書入借用主伏田譜造 同郡同村  
城戸元吉宛 明治一五年五月 一通 三〇

〔借用銀受取〕 吉左衛門内 吉右衛門宛 正月 一通 二六

口上〔米借用〕 上西平兵衛・中川太五郎 の畑  
村庄屋吉右衛門宛 三月一五日 一通 三九

質 物

丸三ヶ年切質物ニ書入申畑荒地之事 同村大佐  
古本人庄兵衛・年寄八郎右衛門・他一名 同村百姓  
代助右衛門宛 文政二年一二月 一通 三〇

講

摂州十三日講

〔御印書頂戴の御礼〕 摂州十三日講之内東組燈  
明講 文政一二年一二月一八日 一通 二三

摂州十三日講内燈明講東組 野畑村行司城戸吉  
右衛門 文政一三年正月 一冊 二〇

摂州十三日講内東組 野畑村燈明講行司城戸吉  
右衛門 文政一三年 正月 一冊 二二

摂州十三日講内東組 野畑村燈明講行司城戸吉  
右衛門 文政一三年 正月 一冊 二四

摂州十三日講内東組 野畑村燈明講行司城戸吉  
右衛門 文政一三年 正月 一冊 二六

摂州十三日講内燈明講東組 野畑村行司城戸吉  
右衛門 文政一三年正月 一冊 二六

摂州十三日講内燈明講東組 野畑村行司城戸吉  
右衛門 文政一三年正月 一冊 二五

摂州十三日講内東組 燈明講行司野畑村城戸吉  
兵衛 天保一五年正月 一通 二四

摂州十三日講内東組 燈明講行司城戸吉右衛門  
天保一五年 正月 一冊 二七

摂州十三日講内東組 野畑村燈明講行司城戸吉  
右衛門 天保一五年 正月 一冊 二四

摂州十三日講内東組 野畑村燈明講行司城戸吉  
右衛門 天保一五年 正月 一冊 二五

摂州十三日講内東組 野畑村燈明講行司城戸吉  
右衛門 天保一五年 正月 一冊 二六

覚〔助成金受取〕 小浜御坊役所 十三日講中野  
畑村吉右衛門宛 丑四月二八日 一通 二〇

御印書 摂州十三日講東方燈明講 寅二月二八日 一通 二九

覚〔寄付金受取〕 摂州十三日講行司池田村山田  
三郎兵衛 卯 一通 二〇

覚〔青銅受取〕 摂州十三日講行司新稲村北井藤  
左衛門 野畑村吉右衛門宛 辰正月二八日 一通 二二

御印書 摂州東十三日講中燈明講 辰二月二日 一通 二九

燈 明 講  
覚〔目役勘定〕 摂州十三日講之内東組 燈明講野  
畑村吉右衛門宛 文政一一年一二月一八日 一通 二〇

燈明講振錢帳 野畑村城戸吉右衛門 文政一二年 一冊 二六

燈明講掛錢帳 野畑村城戸吉右衛門 文政一二年 一冊 二九

東燈明講縣錢帳 城戸吉右衛門 天保一四(年) 一冊 一



# 商業

## 商 売

### 受 取

覚〔銀受取〕 いな浅五郎 野畑村吉右衛門宛 天保八〔年〕二月二十九日	一通	六
記〔大豆代金請取〕 石崎吉兵衛 吉田安五郎宛 明治一〔年〕〇月二日	一通	九
彼聚金受納簿 明治一二年一月	一冊	二六
金圓徴取請取認込帳 兵庫県下本杭弥助・三杉孝蔵 明治一六年正月	一冊	二〇
割合持請取帳 明治二〇年六月二十六日	一冊	二七
覚〔銀渡し〕 浅五郎 吉右衛門宛 丑二月一八日	一通	七
覚〔銀受取〕 いな浅五郎 野畑吉右衛門宛 戌正月朔日	一通	七
覚〔銀受取〕 轟木村栗山五左衛門 野畑村吉右衛門宛 寅三月五日	一通	六
覚〔材木代金受取〕 いな浅五郎 野畑吉右衛門宛 戌七月	一通	六
覚〔粕代金渡し〕 七川村源左衛門 のはたけ吉右衛門宛 戌一月六日	一通	七
覚〔金子受取〕 野畑吉右衛門宛 九月二日	一通	六

### 覚〔銀受取〕

#### 勘 定 書

〔勘定書〕 吉右衛門 丑年	一通	六
覚〔木材勘定〕 二月二十九日	一冊	二五
覚〔勘定書〕 柴善七 野畑吉右衛門宛 七月九日	一通	六
通		
瓦之通 瓦屋伊兵衛 野畑村吉右衛門宛 天保八年三月	一冊	三〇
萬之通 鍋屋藤兵衛 野畑吉右衛門宛 丑三月	一冊	三〇
金物通 池田中吉 野畑村吉右衛門宛 辰年	一冊	三〇七
萬之通 きよ徳 野畑ケ吉右衛門宛 亥ノ年	一通	三三
肥物通 千七事宮下七兵衛 野畑村城戸吉右衛門宛 未年	一冊	三〇三
金物通 米屋町第吉 野畑吉右衛門宛 未ノ年	一冊	三〇四
萬之通 鍋屋藤兵衛 野畑村吉右衛門宛 酉正月	一冊	二六
その他		
振銭覚日記 野畑村 文化六年正月二五日	一冊	二六三
金銀出入覚日記 野畑村吉右衛門 天保二年極月	一冊	二五
金銀出入覚帳 城戸吉右衛門 安政五年改	一冊	二九
御飯控帳 二月一六日	一冊	一八一
覚〔支払頼み〕	一通	七

## 農 業

年 貢	年 貢	年 貢
御年貢覚帳 柴原村 文政三年極月	一冊	一五
御年貢覚帳 野畑村吉右衛門 文政十一年	一冊	一七
覚〔年貢銀持参のこと〕 野畑村吉右衛門宛 寅 二月一七日	一通	三二
覚〔年貢銀持参致されたし〕 柴原村 野畑村吉 右衛門宛 卯二月二日	一通	一八
〔年貢〕 吉右衛門 子年	一通	一六
〔年貢〕 吉右衛門 子年	一通	一七
〔年貢〕 吉右衛門 丑ノ年	一通	一八
〔年貢〕 吉右衛門 寅年	一通	一六
覚〔津出し〕 野畑村庄屋吉右衛門 村々御役人 中宛 午正月二七日	一卷	三六
〔年貢〕 吉右衛門 未年	一通	一七
〔年貢〕 吉右衛門 酉年	一通	一八
覚〔租税勘定覚〕 吉右衛門 亥	一綴	三七
〔年貢〕	一通	一八
覚〔年貢未進覚〕	一通	一九

## そ の 他

## 社 会

産物取調書上帳 撰津国豊嶋郡野畑村庄屋渋谷源 吾・同断城戸橋吉 大阪府御出庁宛 明治五年五月	一通	三
〔桑苗植付〕 副戸長城戸橋治 勤業掛り橋川伊 右衛門宛 明治六〔年〕二月	一通	一四
覚開方高	一通	一六
家 相 続		
〔家督相続之事〕 太政官 明治六年一月二日	三枚	一五
目録附覚 安政二〔年〕正月二日	一冊	一三
普 請		
大きくひかへ覚帳 野畑村吉右衛門 寛政六年八月	一冊	一三
家普請覚帳 大工西稻吉兵衛 天保九年二月	一冊	一四
家普請惣覚帳 野畑村吉右衛門 天保一二年正月 九日	一冊	一五
買 物 覚		
西役所買物勘定写帳 野畑村吉右衛門 文久二 年九月一八日	一冊	一六



〔買物之覚〕  
雜用買物覚

通

ほしかさけの通 岡千七 野畑城戸吉右衛門宛  
明治二年

酒之通 島中 城戸吉右衛門宛 明治一六年一月

萬呉服之通 米屋次兵衛 野畑ケ村吉右衛門宛  
明治一六年一月

仕切通 野畑城戸吉宛 明治一六年

染物通 南刀根山村紺忠 野畑村吉右衛門宛 午  
年

書簡

〔書簡〕 丹後国竹之郡大<sup>(尾カ)</sup>地村中原五右衛門・<sup>(尾カ)</sup>振  
州豊島郡野島村中司五右衛門 明治一八年七月一  
〇日

〔書簡〕 札役所詰 城戸吉右衛門宛 二月一二  
日

口上〔書簡〕 蔵人村坂田八右衛門 八月二二日

〔書簡〕 西桜津伊右衛門 振州野畑村吉右衛門  
宛 一〇月一六日

〔書簡〕

冠婚葬祭

婚禮御疋覚帳 野畑村吉右衛門 文化五年二月二  
〇日

御引覚帳 吉右衛門・おすへ 文化八年正月一二  
日 一冊 三三

御引覚日記 野畑村城戸吉右衛門・おとわ 文政  
五年正月二日 一冊 二五

梅香伝忌中見舞・俗名おその 吉右衛門 文政九  
年一〇月一日 一冊 八五

御引覚帳 吉右衛門・おちよ 文政一〇年四月 一冊 二六

御引覚帳 吉右衛門・おりよ 文政一二年正月一  
六日 一冊 三四

梅香儀帳 吉右衛門 文政一二年二月一二日 一冊 八九

香伝梅見舞帳・俗名おいそ釋妙順 野畑村吉右  
衛門母 天保三年一二月晦日 一冊 二五

御引覚帳 吉右衛門・源蔵 天保六年二月二二日 一冊 六四

病人香儀忌中悔覚帳・父釋道順 吉右衛門 天保  
六年三月五日 一冊 二六

御香儀帳 吉右衛門 天保一二年正月二五日 一冊 二五

香儀覚日記帳 天保一二年八月六日 一冊 四七

嫁入覚日記 野畑村吉右衛門 天保一三年正月一  
三日 一冊 六九

香儀悔帳 吉右衛門 天保一四年六月  
二〇日 一冊 一〇

縁附御引并買物覚帳 野畑村吉右衛門 嘉永七年 一冊 一〇

乍恐以書附御願奉申上候〔嫁賃受届〕 御領分  
豊嶋郡野畑村願人庄左衛門・年寄吉右衛門・他一名  
御出役望月太兵衛宛 慶応三年三月二二日 一通 四一

乍恐以書附御願奉申上候〔縁組届〕御領分豊嶋郡野畑村願人喜八・太兵衛・他一二名 桜井谷御役所宛慶応三年二月二七日	一通	三
おし津嫁入之時心得 吉右衛門 慶応四年七月一七日	一冊	一七四
過去帳 城戸橋次	一冊	一七五
覚〔葬儀之諸入用〕	一通	六
見 舞		
くわじみまい覚帳 野畑村吉右衛門 寛成六年七月二日	一冊	二二
へや見舞 吉右衛門内 文政五年三月六日	一冊	一七五
安産見舞覚帳 野畑村吉右衛門 文政六年四月五日	一冊	二〇
剃髪見舞帳 吉右衛門 文政二年十一月三日	一冊	一八四
おこり病人見舞帳 文政一三年六月一日	一冊	一八三
安産見舞帳 おもん 文政一三〔年〕七月二日	一冊	一七五
安産見舞 野畑村吉右衛門・惣吉 天保三年一〇月三日	一冊	一七五
但馬入湯見舞覚帳 野畑村吉右衛門 天保二年六月一五日	一冊	一七三
安産見舞帳 天保二年八月四日	一冊	一七五
覚〔出産祝覧〕 安政二年二月二七日	一冊	一七五
覚〔出産祝覧〕 安政七〔年〕三月一七日	一冊	一七五
見舞覚・伊勢参宮 文久二年三月	一冊	一七五
その他		
御伝管轉記	一冊	三
〔遺訓〕 明治四年初秋下旬	一冊	一〇六
ぼをずをどり 松尾庄吉	一冊	一〇三
寺 社		
寄付金		
覚〔銀受取〕 小浜御坊行司吉右衛門・七左衛門 吉右衛門宛 辰正月二八日	一通	二二一
覚〔錢受取〕 西山御坊上津島村茂兵衛 野畑村吉右衛門宛 辰正月二八日	一通	二二五
覚〔志上納受取〕 託針掛役中・肝煎中 吉右衛門宛	一通	六
覚〔寄付金〕 小浜御坊 野畑村吉右衛門宛	一通	二〇六
冥 加 錢		
御肘勢冥加錢取集帳 摂州十三日講之内野畑村御本山宛 慶応元年六月一八日	一冊	一七二
肘勢冥加錢取集帳 四番組野畑村	一冊	一七三
燈 籠		
菱燈老 野畑村吉右衛門 文政一三年二月	一冊	一七五
菱燈籠振錢集帳 大谷講行司仁右衛門・吉右衛門 文久二年正月	一冊	一六三
ひ志とろう覚帳 鹿嶋太兵衛	一冊	一七三

伊勢参宮

伊勢参宮帳 野畑村吉右衛門 寛政十一年二月 一冊 一四

伊勢参宮覚日記 野畑村吉右衛門 文化四年三月九日 一冊 一四

伊勢参宮るすみまい覚帳 惣八 文化七年三月 一冊 一五

その他

御座帳 野畑村吉右衛門 天保一四年正月 一冊 一六

村御座帳 天保一四年二月一七日 一冊 一七

小浜御坊振銭覚帳 野畑村城戸吉右衛門 天保一四年二月 一冊 一八

親鸞聖人御旧跡二十四輩巡拜 摂州豊嶋郡桜口 谷野畑村吉右衛門 弘化二年七月四日 一冊 一九

御座手控帳 文久二年正月 一冊 一六

御法座手控帳 城戸吉右衛門 文久二年正月 一冊 一七

氏神元境内 野畑村 一通 一四

〔おみくじ〕 一通 一四

交通

通行

往来手形

往来手形之事 摂州豊嶋郡野畑村報恩寺 国々御 一通 三  
 関所御役人中 村々宿々御役人中宛 弘化二年七月 五

往来手形之事 摂州豊嶋郡野畑村役人 国々所々 一通 五  
 御役人中宛 弘化二年七月



## 岡山村高橋家・山口家・中野村上郷上村家・柏原村小山家・ 野畑村城戸家文書目録解題

### 文書目録と整理方法

本資料目録に収録した文書群は、河内国讃良郡岡山村高橋家文書目録（一、二四二点）、河内国讃良郡岡山村山口家文書目録（一五二点）、河内国讃良郡岡山村高橋家・山口家文書目録（一二三点）、河内国讃良郡中野村上郷上村家文書目録（五三六点）、河内国志紀郡柏原村小山家文書目録（四七点）、摂津国豊島郡野畑村城戸家文書目録（三三一点）の六つの文書目録を収めた。

本文書は購入後それぞれ仮整理を行い、書庫内ロッカーに収納されていた。整理方法は、簿冊・刊本類を中心に主要な文書を選別分類し、納入時の原形に沿ったかたちで収納されていたものを今回の目録整理にあたり、収納順序に従い、全体に史料番号を付し、綴り合せあるいは袋詰めなどは枝番をつけた。但し、岡山村高橋家並びに山口家の文書群については、既に家分けを行った根拠があり、各家分と分類不明の三つに仕分け収録されていた。今回の整理上この仕分に従って目録立てをした。

村の概要は、岡山村、中野村上郷、野畑村の概要・

解題については、溜池、松茸山入札、講、摂州十三日講について本目録に収録した史料を中心に説明する。

### 讃良郡岡山村の概要

地名について明治十五（一八八二）年の『岡山村誌』は、「古時甲可郷ニ隸シ、北野村ト称ス、忍ノ岡ノ名アルヲ以テ岡山ト曰フナルヘシ」と記している。讃良郡条理の八条にあたる地域で、中村（中野村）の北部を北村とし、のちにそれぞれ野の字を加えて北野村とした。元和四（一六一

八) 年北野村が岡山村・砂東村・砂西村に分村した。

戦国期には河内国讃良郡に属し、天正期は岡山ジョアン結城が領主であった。天正初期には河内国キリシタン布教の中心地として急速に繁栄し、信徒数は飛躍的に増加し、三千五百人を数えたという。

幕府直領である岡山村は寛永十一(一六三四)年大坂町奉行役知、元禄三(一六九〇)年幕府領、寛政五(一七九三)年摂津高槻領主永井飛騨守の領所となり、天保十一(一八四〇)年からはまた徳川氏代官小堀数馬、弘化元(一八四四)年には大津の都築金三郎代官の支配となる。嘉永元(一八四八)年より多羅尾久左衛門、安政二(一八五五)年より再び小堀数馬の支配をうける。

山口家文書「家数人別寄書帳(史料番号一五)」によると、高四二八石四斗余。家数一一七軒。人数五四三人、僧一人。牛一七疋となっている。神社は津鉾神社。当社の所在する丘陵は、中世土豪の城跡。大坂夏の陣に秀忠が本陣を営んだ。丘陵の下を山下(さげ)と言い、東西南北の岡山に分かれていた。

寺院は浄土宗鎮西派大正寺(讃良寺ともいう)。

山は大滝山が村の東南にあり、山の東南は中野村、北は交野郡の星田村、山勢は清滝山に連なる。高橋家文書「山林持主名前」(史料番号一二〇七)は、高橋甚八が宗座ヶ谷に四町一反六畝余の山持とあり、「宗座ヶ谷松茸山入用帳」(史料番号一一三六)は、松茸山の維持費用の記録がある。池は「新聞鳥ヶ池高附水上り帳」(史料番号一一三三)「大池鳥ヶ池新聞池水割上り帳」(史料番号一一八五)「蜻蛉池反畝割水覚」(史料番号二五二)ほかがある。

明治二二(一八八九)年に砂・部屋・清滝村など七ヶ村が合併して甲可村の大字名。昭和七(一九三二)年同二二(一九四七)年は四條畷村(四條縄手とも書く)昭和二二年同四五(一九七〇)年四條畷町を経て、昭和四五年に現在の四條畷市となり大字を継称。

#### 讃良郡中野村上郷の概要

清滝川中流に位置する。讃良郡条理の七条にあたる地域。はじめ河内国讃良郡中野村に属していたが、宝永三(一七〇六)年中野村上郷と称し分村独立した。明治期になり他村との交流も頻繁になると、中野村の冠が中野村(本郷)・中野村逢阪郷と混乱を招いている、として明治十五年三月

清滝村に改称した。清滝の名称は、村の上方に十五メートル程の清い滝が流れ、その滝の名前から附近一帯の数軒の小集落を清滝ムラと称し、そこを流れる川を清滝川、川上の山嶺が清滝峠、川に沿う道筋が清滝街道と呼ばれていたからという。明治二十二（一八八九）年には岡山・砂・都屋など七ヶ村が合併して甲可村の大字名。昭和七（一九三二）年以降前述。

天保十四（一八四三）年中野村上郷の明細帳（『四條畷市史二』）は

一、高 三七一石余。 一、反別二十七町四反六畝余。

当村一帯は山間僻地で、田畑の収穫が少いため、年貢上納の軽減を願っている。

一、家数 七一軒 寺壺軒、高百姓三〇軒、無高百姓四〇軒。 一、人数 三〇四人。 一、百姓作問之稼 男八肥草刈鞋造 女八毛綿稼仕候。

油稼 壺人、 杣木挽 三人、 木綿晒職 壺人、 瓦職 壺人、 左官職 壺人。

一、水車 壺輜 長兵衛持 稼之儀麦米賃搗井豆粉挽仕候

壺輜 源兵衛持 稼之儀は右同断御座候

壺輜 儀右衛門持 稼之儀は葉種細末仕候

壺輜 作兵衛持 稼之儀は右同断御座候尤中村領

壺輜 右同断 右は麦米賃搗仕候

一、溜池 ※別掲。 一、鉄砲 漁師鉄砲二挺、威鉄砲二挺。 一、寺 融通念仏宗正円寺。 一、神社 国中神社。

水車が五ヶ所もあり、山間部とはいえ農間余業に油稼、晒職、杣木挽などが発達していたことがわかる。

明治九（一八七六）年の『大阪府地誌』によれば、戸数は七八戸、人数は三七九人に増加し、牛三〇頭、荷車（大八車）五輛、産物は、茶壺百五拾斤（約九十kg）、種油五拾石、油粕一千二百五拾玉、となっている。

#### 豊島郡野畑村の概要

豊中台地に位置し、摂津国豊島郡にあり、江戸期から明治二二（一九八九）年の村名。明治二二年柴原村・小路村など六ヶ村が合併した桜井谷

村の大字となり、昭和一一（一九三六）年からは豊中市の大字。昭和三四（一九五九）年以後は町名変更等で、野畑の地名は消滅して現在は、のばたけ保育園や小学校・公園・公共機関等の名称に冠してその名を残している。

摂津豊島地方は、幕府直轄領・旗本領・大名領などの入組支配がなされ、野畑村は幕府領並びに武蔵岡部落が支配し、岡部落の安倍氏が摂津二四ヶ村と丹波四ヶ村を支配し、野畑村に桜井谷陣屋を設置した。

村高は「旧高旧領」によると、二八三石余。うち安倍氏領二四五石余、幕府領三八石余。天保三（一八三二）年明細帳（『豊中市史料編四』）によれば、家数八〇軒、人数三七二人、牛四五頭、溜池一一。農間余業は、男薬稼ぎ、女木綿稼ぎであつた。鎮守は春日神社で、境内には薬師水の別名をもつ桜井がある。（『大阪府全志三』）。また桜井の地名は、境内にある清水と、その側に植えられた桜樹にちなんだ桜井と呼ばれた。（『大阪府史五』） 寺院は浄土真宗本願寺派報恩寺。

大阪市に近く、起伏にとんだ丘陵地帯と多くの緑地帯は早くから絶好の住宅地として繁栄した。

歴史事件としては、桜井谷騒動（天保一二年・安政四年）といわれる百姓一揆が二度にわたって起きている。（『豊中市史二』）

# 溜池（中野村・南野村を中心として）

灌漑用水の不足に悩む生駒山地の村々の人々は、生駒山地から西流する河川を利用して溜池を数多く造った。なかでも通称九十九谷の室池は、新池をはじめ砂溜池・中ヶ池・古池など十七ヘクタールに及ぶ広大な溜池である。室池のうち最大の新池は安政五年（一八五八）に築造された池であるが、遡ること約一五十年前の宝永四年（一七〇七）六月中野村・南野村立会室池定法が制定され、共有池としての運営をはかった。それは

「水出シ候節は、中野村と申合せ樋抜人足双方立会ニ而参候。又水分之儀は分石ニ而水分ケ申候。分石之儀は左ニ記之申候。

一、分石之事 南野村分 貳尺九十三歩

中野村分 貳尺七寸

右分石立申節、中野村ヨリ樽肴此之村方江持参被致候。則、当村大小之百姓不殘寄合、巷ケ年ニ巷度ツ、致賞翫候事。

一、当村と中野村と定法之儀は、互ひニ申合せ之取為替証文御座候事。」



他に室池樋之定法（宝永七年八月）などを詳細に規定し、灌水の確保と水論の回避につとめていたことがわかる。

本目録上村家文書には、「中野村・南野村室池立会勘定帳」（史料番号一八〇、他九点）、「中野村・南野村室池樋扉普請立会勘定帳」（史料番号二八五）ほかを収録している。

その他の共有池は、中野村・中野村上郷・都屋村・南野村の立会用水池として、一、字清滝池 用水溜池一ヶ所。一、字龍王池 用水溜池四ヶ所。一、字栗尾谷 天道池一ヶ所。一、字室池 用水溜池三ヶ所。中ノ池・室池大池・奥室池。一、ほか用水樋などがある。

『文化十二歳改村鑑』南野村（『四條畷市史二』）をみると次のような記録もある。

「一、於室池鳥殺生差許候ニ付池代銀之事

但シ、文化十癸酉年より拾ヶ年之間、鉄砲差留呉候様、他領之者より願出候ニ付、中野村と相談之上、聞届遺し候。依之右請負人より運上として銀壹貫目請取申候、尤、室池之儀は中野村と立会池之事ニ候ゆへ、右銀壹貫目貳ツ割、五百目ツ、請取申候。尤、右之銀子は室池年々修覆入用手当テニ致し置候事。」

零細農あるいは無高百姓の多い村民が年貢と小作料の重い負担にあえぎながらも、隣接する村々と相互の連帯を強め、そして村役人ら上層農民の指導のもとに、新池築造の工事を起こし、中野村上郷・中野村・南野村などを農民の力によって豊饒な土地に変えたのである。

### 松茸山入札

旧来より松茸は芳香よく美味として重宝されている。

「上方でよいのは酒と松茸のうまいこと（藤井柴影）や松茸狩で上方の幸福感を深くする（太田陸郎）」（『上方』第六九号—昭和十一年九月一日発行）など、旧来より大坂近郊に松茸の産地があったことが伺える。本目録の摂州豊島郡野畑村文書「大谷講行司盃買物覚帳」（史料番号一八二）は、来客用食事の吸物に入れる松茸の買入がある。また、河内国讃良郡岡山村高橋家文書「宗座ヶ谷松茸山入用帳」（史料番号一一三八）及び同郡中野村上郷上村家文書には、松茸山入札の仕方についての文書を収録している。ここに生駒山系北部に位置する清滝山における松茸入札仕法を中

嘉永四辛亥年八月十八日

松茸入札仕方并代銀請取帳

中岡株

部屋村

入札仕方書

一、請山落札人方他所江

分ヶ井逢坂郷多里共

内訳ヶ差留候事

但し入札立会村々ハ

讓替之義勝手次第之事

一、請山代銀之義ハ九月二十日

請取候事

但し朝飯後早々宮様へ

持参致可候事

一、落札相成候者代銀

日限及延引候ハ、村方へ

引上候上諸雜用とし而

代銀方三割村方へ請取候事

一、代銀之義ハ其時之

相場ニ而金子ニ而受取

可申候事

一、村役人方落札金

尤同札先開之事

一、落札後村々ニ而酒三升

鰯壹把宛差遣可申候事

右之通相心得入札可致

若跡ニ而書違様ト申

立候共其訳相立不申候事

亥八月 村役人

諸山は清滝山裾と考えられる。清滝山（浅池山ともいう）は、高さ凡一二五丈（約三七五メートル）、東部は高く、西側となる清滝村側はなだらかであり、樹木繁茂して自然美豊かな山である。郡屋村と中兩株の立会になっているが、郡屋村地内に山はないが飛地として山林五三町畝拾五歩を、「東方清滝村ノ東部ニ在テ本村及び清滝村・中野村逢阪郷並ニ郡屋村ノ所有相錯雜ス」（四條畷市史二）とある。

尚、本目録の上村家文書は、ほかに天保八年・同一三年・弘化二年・他一点を収録している。

## 講

講は、志を同じくするものの結合集団のうち「講」という名称の付けられたものをいう。（『新版郷土史辞典』）

室町時代から起ったとされる頼母子講は、社寺参拝または下層民の相互扶助組織として、或は、金融を目的とする組織として、江戸時代へそして明治期へと数多く展開してきた。講といえは頼母子講に代表されがちではあるが、これまでにあらゆる講が結成されている。

講はその集団の結成目的、機能などにより、その内容は様々であるが、大別すると信仰的講と経済的講に分けられる。

一、信仰的講には、①地域社会における民俗的宗教信仰に支えられた講（山の神講・田の神講など）。②地域社会の守護神たる氏神・産土神に対する信仰に基づいて成立した講（宮座講・氏神講など）。また頭に冠して春日講・伊勢講「伊勢参宮帳」城戸家文書（史料番号一九四）・金毘羅講「金毘羅講有志金徴取簿」上村家文書（史料番号四二三）など。③宗教の対象が仏教の諸宗派（浄土真宗の報恩講、摂州十三日講・日蓮宗の法華講など）や教派神道の各派（御岳講・大社講など）によって形成される既成の組織的宗教集団としての講。④参拝講は上述②の参拝形態が、

（イ）講中全員が参拝する総参講。（ロ）講中の一部代表者を派遣する代参講がある。

二、経済的講には、（一）一般庶民の経済生活を契機として結成される講。①物質の融通や金融を主目的とした頼母子講・無尽講。貨幣の使用

が一般化すると、全品を掛け込んで、抽選により順次給付を受ける庶民の金融組織（金融講）も流行した。また参拝講や代参講にも資金積立の方法として頼母子講が採用された。②相互扶助を目的とする葬儀講・無常講・相統講「覚（相統講落札）」高橋家文書（史料番号一〇七四）など村落共同体の講。

③同業者仲間が結成する講（イ）山仕事を主とする山神講。（ロ）鍛冶職の成田講。（ハ）薬種業者の神農講。（ニ）商家や漁師が商売繁昌を祈願するエビス講・住吉講などがある。

(二) 領主の財政救済目的の講。

① 高槻藩の頼母子講 (文化年間の御一講・潤寛講・文政年間の五貫目講・融通講など) 講とは名ばかりで、その実体は農民からの借金である。調達銀上納の組織であり、講銀によって領主財政の借財整備を図った。

② 摂津島下部、河内若江・渋川・高安三郡などに所領をもつ淀藩は、調達講仕法を実施して金融の途を得ていた。

③ 膳所藩は、積立講・新積立講・安民録講。

④ 摂津島下・豊島二郡・河内河内郡などに知行所をもつ旗本竹中氏は、年賦調達講を実施。支配下の村々から藩当局の借財のため、富くじの要素を加えた珍しい調達講仕法を実施した。富くじつき調達法とは、「銀主二七〇人を一組とし、六ヶ月に金三分の出金とし、六年間一二回払い込む。一人の掛金総額は九両。返済は年二回の例会で行い、一回に二三人 (奇数回) ないし二三人 (偶数回) を当選者としてこれに割り当てる。この支払の金額は、

二三人中第一番目 一一両一分 (支払いは満講まで据え置き)

二三人中第二番目 四両 (支払いは二年間据え置き)

二三人中第三番目 一五両 (支払いは満講まで据え置き、二三人のときは第二三番目の当選者)

残り一九人 一両三分

となっており、とくに最初と最後の当選者には割戻し金を多額にするなど、人々の射倖心を利用して加入者を増やそうとした。半年ごとの一回の払込金総額は二〇二両二分で、割り戻し金額は六三両二分であり、うち三〇両一分は満講または二年後まで支払いを据え置きとし、その差額がとりあえず領主財政にくみこまれるようになっていた (『吹田市史』第二巻)。また、守口宿における『御取立御講仕法帳』守口宿 文政七年三月 (政野敦子氏蔵) をみると、「年賦調達金を行い、「割合振廻」によって相渡す」とあり、例会 (毎年三月と九月。三拾回行われる) の際「御出席の方御菓子料銀疋匁、不参加の御方膳料菓子料南條壱斤宛満会迄差遣候事」として出席を促している。

大坂周辺の領主は軒並みに財政難にあえぎ、各藩とも知恵を絞ってあらゆる講を模索したが、藩財政の窮乏に対する一時凌ぎの打開策は、いずれも最終的には領民に転嫁されることになる。かゝる圧力は農民層としてもそれらに対抗する手段が生れてくる。

財政に行き詰まった高槻藩は、文久元 (一八六一) 年領内村々の上層農民二七人を集めて「御仕法掛り惣代」を任命して、勝手向き賄を恒常的・全面的に委任し、農民管理の改革仕法が発足した。農民側も藩財政支出の節減だけでなく、政策においてもきびしい要求案を願い出て、領主側もそれらを受け入れざるを得なくなり、ますます幕藩権力は衰退し、領主の支配は弱体化していった。一方農民一般の政治的成長が認められるし、一つの村単位を越えて村々の連携・連帯の意義も大きいものがある。

おわりに一般庶民的講のうち、頼母子・無尽・戎講について説明する。

頼母子講 鎌倉時代に発生した特殊な相互の無利息融通組合をいう。「田の実」「たのむ」(頼む)という言葉からでている。組織を結成し、人々が相寄って少しずつ金穀を出しあい、講中の困窮者に融通し救済したのに始まる。以後社寺の維持修繕や参詣費に利用された。

親と呼ばれる発起人と数人、数十人の仲間(衆・講中)で組織され、一定の給付すべき金品を予定し、それぞれ引き受けた口数に応じた金品の掛込みを定期に行い、くじ引き、入札などの方法で順次金品の給付をうける仕組である。初期には無利息・無担保であったが、鎌倉末期頃より担保をとるようになった。室町時代に入ると、利息をとる頼母子が発生し、無尽と区別しがたくなった。江戸時代に関西より関東に広まったが、江戸では無尽の流入により頼母子の名称は消滅したが、商工業者の営業資金・一般庶民の住宅・物品購入資金などの調達に利用される庶民金融機関として発達し、銀行などの近代金融制度の確立後も依然として存続している。

頼母子はその目的によって、例えば物品買入等は、牛頼母子・置頼母子・蒲団頼母子などと呼ばれている。

無尽 室町時代に発生し、頼母子と殆んど同義に用いられた。組合をつくり、親と称する発起人が、数人・数十人の仲間(衆中・講中)を募集し、規約(規式・式目・法式・置文・置目)に従って運営される。講中は定期的に集会し、一定の懸銭を出し合う。これを入札又は抽選を行い一人の落札者を決める。落札者は以後入札の権利を失うが懸銭を出す義務を負い、未落札者は以後いつでも入札する権利を保有した。既落者は懸銭の支払義務を担保するために質物を入れたり保証人(請人)をたて、また既得分に利息を付けて懸銭を支払う。講中全員が落札を終えると、済または満といって無尽は終了する。

無尽は江戸時代に入ると頼母子と同じように、関西から江戸にひろまり、しだいに営業化し、ついに博打類似のものとなり、いわゆる富籤に近似した。明治時代以後も庶民金融として盛んであったが、大正四(一九一五)年無尽業法が制定され、無尽会社の設立とその規制がはかられ、昭和二六(一九五二)年相互銀行法により無尽会社は相互銀行となり、無尽業務のほか普通銀行業務も行っている。

戎講(恵比須・夷とも書く)商人によって結成された講。承応二(一六五三)年二月には大坂の干鰯(はじか)仲間らの組織がある。資金融通などの技能をもつもので、町人の社会的発展に伴って各地にみられた。毎年正月十日と十月十日の二度は戎神を祭って講の酒宴を開いた。

# 摂州十三日講

鎌倉時代に誕生し、室町時代の末に庶民の信仰界を風靡した一向宗は、文明年間（一四六九—一四八六）以降北摂地方においても、旧仏教諸宗から一向宗への転宗や、一向寺院の創設という形で顕著になった。

寺院は念仏の集会・説教の聴聞はもちろん、村人の寄合の場所として村の中心をなし、村人の懇親を深め、結束がなされた。寺を中心とした村民の結束が組織的な活動をもたらし、こうした一向宗門徒の組織活動の一つとして摂州十三日講の結成をみた。名称の由来は、織田信長の大坂石山本願寺攻撃に際して、北摂の門徒らが本願寺に協力して、兵糧の運搬や直接参戦した最大の激戦日、天正四年七月一日を記念して名付けられたという。

石山講和（天正八年三月）後は、信長以降の政権に敵対することなく、講も本来の「同行中連々寄合をくわだて法義談合」する場となり、寛永一五（一六三八）年以来、摂津国豊島・能勢川辺・武庫・有馬・兎原の六郡一九〇ヶ村の門徒と寺によって法義が継続された。しかし、組織が余りにも広域であり、講の活動がまゝならぬため、寛文二（一六六二）年武庫川を境に東を川東組・西を川西組として東西に分け、両組に当番寺院と在家大行司の制をつくと共に、月毎に大寄講を開き、東西交流をして年中行事を執行した。さらに、天文四（一七三九）年には川東組を二分して三組とし、当番寺院・大小行司をきめ、大寄講に加えて小寄講も開くことにした。

享保二（一七一七）年には講内に大谷講を組織し、大谷本廟報恩講の手伝いを勤め、各地における布教活動を行った。享保五（一七二〇）年には本山阿弥陀堂・御影堂の献灯を絶やさないため灯明講が組織されている。

本目錄城戸家文書には、

「摂州十三日講内東組」（史料番号一四一）他七点、「大谷講行司附送り目録」（史料番号一三九）、「燈明講」（史料番号二）、「摂州十三講内東組燈明講」（史料番号九二）、他を収録している。

こうした講は、講中の報恩感謝の念を本山に対する冥加金・志納金とする本願寺教団の維持目的であるが、大寄講、とくに小寄講は、娯楽の少ない江戸時代の人々には共同飲食や、交歓の場として農村娯楽の一端を担っていた。

「御法座手控帳」(史料番号二三三)・「御座帳」(二九八)は、大谷講(西上津島村・熊之田村)、廿日講(小曾根村)、報恩講(池田村・芝村)、十八日講(牧落村・刀根山御坊)などの講の名称と、講開催の日が記録されている。

講の開催に伴う料理や買物については「大谷講行司盃買物覚帳」(史料番号一八二)がある。要約すると、

文九元年酉八月二二日 大行司麻田村太郎右衛門、大谷講野畑村仁右衛門・吉右衛門、燈明講嶋田村源兵衛・清助のほか、他所の肝煎衆四三人の御客を迎え、場所は野畑村仁右衛門の家で開催している。買物は、とうふ・芋は岡町、松茸・洗芋は大坂天満、魚類はざこば払いとなっている。ほかに米六斗、酒二斗二升五合の買物。料理をみると、盃、肴(梅干・ほいろこんぶ・まきするめ)、飯、一、汁(かまぼこ・たたきな)、一、平(ゆず・牛房・いも・切身・青身)、一、猪口(はす・こんにゃく)、一、鱈(大根・すだれふ・べに生が・しいたけ)、一、焼物(かます)、引肴(牛房・たこ・いなにつけ)、一、蓋(柿・れんこん・あつやき・かまぼこ・筆生が)、一、吸物(但しみそ、めじろ・吸口さんしょう)、一、肴(につけ)、一、引肴(すだこ)、一、吸物(但しすまし とうふ・松茸・吸口ゆう)、一、差身(但しからし醬油・みよが・作身)豪華な料理となっているが、村方一流非時仕候 夜飯酒飯出し申候 里与利方 定右衛門と記録されている。

一方、文久二年八月十日、報恩講 宿仁右衛門 においては、一、白米一石八斗、一、酒二斗、一、平(なんきん・あをなあげ)こざらはめいめい。買物は、あげ三七〇 はし、からし、上菓子もりなど。一、めしたき 徳蔵・小右衛門・伝兵衛・嘉右衛門・卯之助・巳之助、一、平よそい 定右衛門・新左衛門・太兵衛。御布施 正安寺・報恩寺・芝村御寺。白米八升又もち白五合 数二千百余りだけ申候。とある。料理の内容等から燈明講の小寄講の例会として開催されたと思われる。

十三日講・灯明講・大谷講など、浄土真宗の信仰に基づいて組織され、大寄講や小寄講として寺、あるいは大行司の家に集まる門徒衆の例会は、集団の結束と連帯感を強め、共同で飲食する交歓の機会として盛大に催された。現在も各地村々のお寺の重要な年中行事として継承されている。おわりに城戸家文書(史料番号一四)から燈明講の史料を左に紹介する。

天保拾四年卯二月十七日

燈明講御書

野畑村 城戸吉右衛門

其講中前來法儀源厚之趣

御感心不斜依之

御代々御書御染筆被成下之儀一同

難有被存増々法儀相統在之趣寄持之

到被、思召候尤毎月披露之儀恐多旁

寄講被相動候節披露之ため

御印書頂戴被願上候段、及言上候處、則

願之通、御印書被成下候間難有可被存候

然八右、御書御教化のこたく被もろもろ

乃雜行雜修自力之心をふり捨て、之

一心に阿弥陀女來今度之我等か一大事

之後生御助け よたのみ奉りたのむ

一急之時往生治定御助け一定と存じ

佛恩報謝之称名相統に及は連講中

和順に永々無過転様相互に申合し弥弥

法儀無油断信決定の上には猶更

王法国法ヲ重んし五常之道に背可ぬ

屋う存命之限りハ佛恩報謝之称名

相統在之趣可被遂今度之報土往生之

素懷事肝要之旨被

仰出候依而被顯

御印候者也

文政十一年

摂州

予十一月十八日

十三日講之内

東組

燈明講



最後に、今回資料目録第七集の目録作成にあたり、政野敦子氏には貴重な時間を割いていただき、文書の難読箇所のご指導をはじめ、筆者の浅学を助力し、ご協力下さいましたことを深く感謝申し上げます。

#### 参考文献

解題を書くにあたり、主に次の資料を参考にした。

『大阪府史』第四巻、第六巻、第七巻・『四條畷市史』第二巻・『豊中市史』第二巻・『箕面市史』第二巻・『図説北河内の歴史』・『大阪府全誌』第三巻・『近世農村経済史の研究』小林茂著・『銀札座覚書』吉田三右衛門編著・『新版郷土史辞典』大塚史学会編・『近世生活史年表』遠藤元男著

平成十一年三月

黒木 樹

